

令和4（2022）年度 学校評価

*新型コロナウイルスへの対応から、学校評価懇話会の開催は行われませんでした。

令和4年度 学校経営計画	1
令和4年度 F P T ・ S - T E A M取組一覧	3
令和4年度 大妻中野 Beyond School チャレンジ記録	6
内部評価アンケート結果（学年、教科、各部）	8
授業アンケート結果	30
「より良い学校づくりのために」保護者アンケート 及び 同自由記述まとめ	35

令和4年度重点課題(令和4年度事業計画)

【Ⅰ】 学習指導

- (1)新学習指導要領移行実施を機として教育課程改善の継続検討
- (2)生徒の発達段階に沿った体系化した探究型学習及び STEAM 学習プログラムを開発
- (3)授業の充実に向けた取り組みとして、「より良い授業」の冊子に基づく授業実践
- (4) ICT 機器の活用による学びの効率化及び一人ひとりの適性、課題に応じたサポート
- (5)FPT、S-TEAM などの生徒による先進的な取組を本校探究活動への寄与拡大
- (6)GLC の外国語授業、GIS を先進モデルとして、各学年の探究授業への寄与
- (7)SGH ネットワーク校として他校のアドバンスト・ラーニングを研究、本校の学習指導に活用
- (8)各種学習サポートシステムの強化と改善
 - ①中学生の基礎基本の定着をはかるため、MMT の実施、不合格者への「妻中義塾」の実践
 - ②長期休業中の成績不振者を対象とした指名補習の実施
 - ③MMT や授業中の小テストの不合格者に対して、チューターを利用した追指導システム
 - ④意欲的な中学生や高校生を対象とした早朝や放課後の発展講習、多様な対応講習

【Ⅱ】 進路指導

- (1)キャリア教育の一環として、発達段階に沿った各学年のプログラムを改善実施
- (2)地球市民教育を実践する学校として、自分の将来設計に生かす支援環境の設定
- (3)取組んだ様々な活動について、生徒各自の PC 上に記録、保管の習慣化(振返り)推進
- (4)学力及び大学実績向上を目指したコアネットによる「教育データ活用支援」の導入(2年間)
- (5)4月初めに進学・教科指導に特化した戦略職員会議の設定
- (6)卒業生を活用したチューターシステムによる進路実現支援、学習支援の充実
- (7)生徒及び保護者対象の進路ガイダンスの充実
- (8)高大連携、大妻女子大学出張授業、大学の公開授業参加、校内大学説明会等の充実
- (9)今後の進路指導について、さまざまな観点での研究、実践
 - ①日本の大学入試が欧米型の大学入試の形に変わりつつあることへの対応
 - ②英語 4 技能試験が、さらに大学入試の Key Competency になっていることへの対応
 - ③海外大学、国際併願進学指導、英語ネイティブ教員との協働、IELTS、TOFEL、SAT 対応

【Ⅲ】 生徒指導

- (1)他者への思いやりや規範意識の向上、地球的課題への視野拡大、生徒の自主的取組支援

- (2)学校と家庭が連携、生徒の自己肯定感を高め、自発的な考え方や行動ができる指導促進
- (3)日常的な生活の中で SDGs の基本理念を共有させる指導の実践
- (4)人が共に生きやすい環境をどのように構築していくべきかを学ばせる機会の増設
- (5)安全・安心教育としての重点
 - ①ネットリテラシー教育の定期的、継続的な実施
 - ②「いじめ」防止、早期発見、早期対応、全教員の問題意識の共有
 - ③登下校時の安全管理、交通ルールの遵守、秩序維持
 - ④道徳・情操教育の一環として、日本文化、いじめ防止、性教育、ボランティア活動等の実施
道徳シラバスの改善

【Ⅳ】 組織体制

- (1)目標達成に向けて柔軟に各部署が協働して課題対応可能な組織風土を醸成
- (2)日本語話者や日本の組織風土の価値観を持っている人だけではない前提の組織体制
- (3)英語で教育実務可能な人材育成及び外国人教員と校務を協働できる環境整備
- (4)多様な背景、専門性を持つ教職員の能力を学校全体の推進力として活用できる体制検討
- (5)管理職による経営目標に基づいた所管部署の目標設定及び達成に向けた進行管理体制
- (6)教員の能力開発を目指した授業相互見学、考查問題公開、授業評価、大学入試問題研究会
- (7)ユネスコ・スクールの加盟校であることを活用したグローバル教育教員研修
- (8)変形労働制、時差勤務等による教員のワークライフバランスの継続検討

【Ⅴ】 教育環境の充実

- (1) 教育環境のさらなる充実(快適性・安全性等)のため、各観点を含めた再点検実施
- (2) ICT 機器の充実のため、旧機器の見直しと更新スケジュールの策定及び生徒・教職員が確実に機器を利用できるための可用性の維持
- (3) ユネスコ・スクール・キャンディデートと SGH ネットワークとして、国際機関、大学、中等教育学校、企業、NPO など国内外の様々な機関・組織との連携、情報共有をより一層進め、その教育リソースを本校でも活用できるような教育環境の充実拡大

【Ⅵ】 広報活動

- (1)発展的で特色ある本校のグローバル教育のカリキュラム
- (2)本校の20年に及ぶ帰国生教育について、大妻中野ブランド・イメージのさらなる向上
- (3)特に、北米、ヨーロッパ在留の保護者への広報活動、働きかけに重点
- (4)優れた帰国生を個別に対応する編入試験の実施及び帰国小学生講座の実績の周知

第8期FPT取組一覧(2022年度)

学期	月	日	曜日	単元・学習項目	学習内容	備考	担当
1 学期 (8)	4	16	土	①FPTガイダンスと導入授業 ～心理的安全性を高めるワークショップ	チーム希望調査／新規メンバーのペアワーク 継続メンバーと新規メンバーのグループワーク	ガイダンス案内プリントは4/8(金)配布 参加申込書提出期限は4/14(木)まで	橋口・大西
		23	土	②チームメンバー発表とチーム企画の作成	Jamboardを活用して、チーム企画のブレインストーミング		橋口・大西
		30	土	授業なし(中高保護者会)			
	5	7	土	③チーム企画の発表 世界環境デーに向けた準備	チーム企画書の作成および発表		橋口・大西
		14	土	授業なし(宿泊研修のため)			
		21	土	授業なし(調査1週間前ため)			
		28	土	授業なし(中間調査日のため)			
	6	4	土	④ゴミ環境チームx世界環境デー FPTスポーツゴミ拾い	チーム戦で学校周辺のゴミ拾い競争をする	世界環境デー(6/5日)アクション 第1回学校説明会 第1回帰国生説明会	橋口・大西
		11	土	⑤復興庁 防災減災出前授業 13:30-15:00	「東日本大震災からの復興と風評」ワークショップ 復興庁 統括官付参事官(原子力災害復興班 福島総括) 上村昌博さん		上村昌博さん 橋口・大西
		18	土	⑥難民支援協会xFPTコラボ授業 13:30-15:00 難民の日に向けて共生社会チーム企画	「日本における難民支援の現状」 認定NPO法人 難民支援協会 赤阪むつみさん	国連難民の日(6/20日)アクション 一般生徒10名参加	赤阪むつみさん 橋口・大西
		25	土	⑦アロマx環境x自分を知る 13:30-15:00	ア・テール株式会社代表 アロマライフスタイリスト 川野菜穂さん		川野菜穂さん 橋口・大西
	7	2	土	授業なし(調査1週間前)			
		7	木	⑧服のチカラ出前授業 13:30-14:30	板倉真(いたくら まこと)さん UNIQLO中野サンモール店 店長	調査最終日	板倉真さん 橋口・大西
2 学期 (9)	9	3	土	⑨カスヤの森現代美術館コラボ授業 13:30-15:00 オンライン@図書室	アート鑑賞教育 講師:高橋淳子さん・伊賀先生 「作品からのメッセージを自由に読み取ろう～写真家中 村ハルコの作品を通して」 https://www.museum-haus-kasuya.com/about/	伊賀先生のご紹介	高橋淳子さん 伊賀先生 橋口・大西
		10	土	⑩チーム企画準備			橋口・大西
		17	土	⑪チーム企画準備&服のチカラ準備		第3回学校説明会 第3回帰国生説明会	橋口・大西
		24	土	授業なし(文化祭)			
	10	1	土	授業なし(都民の日)			
		8	土	⑫防災減災ワークショップ 13:30-15:00	防災減災チーム企画 防災実験ワークショップ	10/13(水)国際防災の日 アクション	橋口・大西
		15	土	授業なし(調査1週間前)		10/14(金)打越保育園・ピノキオ保育園 に回収箱を設置(共生チーム)	
		22	土	⑬服のチカラ準備 保育園への協力依頼、ポスター作成等		10/22(土)10/28(金)打越保育園の古 着回収(有志)	橋口・大西
	11	29	土	⑭発展途上国への教育支援 出前授業 13:30-15:00	教育子どもチーム企画 講師:佐藤崎さん(教育と探究社) 海外青年協力隊の方に途上国の子ども支援の実態を学ぶ	10/29(土)授業後にピノキオ保育園の回 収箱&古着回収(有志)	佐藤崎さん 橋口・大西
		5	土	授業なし(第1回帰国生入試)			
		12	土	⑮グローバル市民教育シンポジウム 14:00-16:00@アゴラ	11月7日(月)～11月14日(月)古着集め週間 シンポジウム前に保育園の古着を回収	数学検定校内実施(高1は原則受験)	大妻大学服部教授 橋口・大西
		19	土	⑯『Girls Rising』上映会準備	高校生が振替休業なので中学生だけで準備	高1・高2振替休業(TEAP) 11/20(日)世界子どもの日アクション	橋口・大西
	12	26	土	⑰服のチカラ 仕分け&発送作業	回収古着を段ボールに仕分け、服のチカラ事務局に発送 集まった子ども服は2,420着	オープンデー	橋口・大西
		23	金	⑱Plan International Japan 『Girls Rising～私が決める私の未来』上映会	女性ジェンダーチームによるオープン企画 中高生20名、社会人5名参加。募金額43,245円	12/16,20,23募金活動実施	橋口・大西
3 学期 (5)	1	14	土	⑲中野区タウンミーティング準備 13:30-14:30	チーム提案・チーム成果ポスター作成		橋口・大西
		21	土	⑳中野区タウンミーティング@アゴラ 13:30-15:00	酒井直人区長をお迎えして	有志参加6名 OG(高3・大学生)4名	水澤主幹 橋口・大西
		28	土	㉑模擬国連ワークショップ 13:30-15:30	ING同好会とのコラボ授業 議題:難民問題		橋口・大西
	2	4	土	授業なし(中学入試)			
		11	土	授業なし(建国記念日)		2/15(水)グローバル教育発表会	
		18	土	㉒チーム成果ポスター発表 13:30-15:00		数検校内実施	橋口・大西
		25	土	㉓中野区ごみ探検隊Ⅱ 13:30-15:00	ゴミ環境チームゴミ拾いオープン企画 FPT活動修了証授与		橋口・大西
	3	4	土	授業なし(調査1週間前)		3/8(水)国際女性デー アクション	

令和4年2022年度 S-TEAM 活動一覧

月	日	曜日	内容	場所	指導講師／講演者	対象
4	14	木	班ごとの活動	EMセンター	平野恵・高村亮	S-TEAM 3期生
4	16	土	班ごとの活動	EMセンター	平野恵・高村亮	S-TEAM 3期生
4	18	月	班ごとの活動	EMセンター	平野恵・高村亮	S-TEAM 3期生
4	21	木	班ごとの活動	EMセンター	平野恵・高村亮	S-TEAM 3期生
4	23	土	班ごとの活動	EMセンター	平野恵・高村亮	S-TEAM 3期生
4	25	月	班ごとの活動	EMセンター	平野恵・高村亮	S-TEAM 3期生
4	28	木	班ごとの活動	EMセンター	平野恵・高村亮	S-TEAM 3期生
4	30	土	班ごとの活動	EMセンター	平野恵・高村亮	S-TEAM 3期生
5	2	月	班ごとの活動	EMセンター	平野恵・高村亮	S-TEAM 3期生
5	7	土	班ごとの活動	EMセンター	平野恵・高村亮	S-TEAM 3期生
5	16	月	班ごとの活動	EMセンター	平野恵・高村亮	S-TEAM 3期生
5	30	月	班ごとの活動	EMセンター	平野恵・高村亮	S-TEAM 3期生
6	2	木	班ごとの活動	EMセンター	平野恵・高村亮	S-TEAM 3期生
6	4	土	班ごとの活動	EMセンター	平野恵・高村亮	S-TEAM 3期生
6	6	月	班ごとの活動	EMセンター	平野恵・高村亮	S-TEAM 3期生
6	9	木	班ごとの活動	EMセンター	平野恵・高村亮	S-TEAM 3期生
6	11	土	班ごとの活動	EMセンター	平野恵・高村亮	S-TEAM 3期生
6	16	木	班ごとの活動	EMセンター	平野恵・高村亮	S-TEAM 3期生
6	18	土	班ごとの活動	EMセンター	平野恵・高村亮	S-TEAM 3期生
6	20	月	班ごとの活動	EMセンター	平野恵・高村亮	S-TEAM 3期生
6	23	木	班ごとの活動	EMセンター	平野恵・高村亮	S-TEAM 3期生
6	25	土	班ごとの活動	EMセンター	平野恵・高村亮	S-TEAM 3期生
6	25	土	NICTオープンハウス2022参加	国立研究開発法人情報通信研究機構(小金井市)	平野恵	S-TEAM 3期生
7	12	火	班ごとの活動	EMセンター	平野恵・高村亮	S-TEAM 3期生
7	19	火	班ごとの活動	EMセンター	平野恵・高村亮	S-TEAM 4期生
7	21	木	班ごとの活動	EMセンター	平野恵・高村亮	S-TEAM 4期生
7	23	土	班ごとの活動	EMセンター	平野恵・高村亮	S-TEAM 4期生
7	25	月	班ごとの活動	EMセンター	平野恵・高村亮	S-TEAM 4期生
7	26	火	班ごとの活動	EMセンター	平野恵・高村亮	S-TEAM 4期生
7	30	土	班ごとの活動	EMセンター	平野恵・高村亮	S-TEAM 4期生
8	1	月	班ごとの活動	EMセンター	平野恵・高村亮	S-TEAM 4期生
8	6	土	班ごとの活動	EMセンター	平野恵・高村亮	S-TEAM 4期生
8	16	火	合宿	幕張	高村亮	S-TEAM 4期生
8	17	水	合宿	幕張	高村亮	S-TEAM 4期生
8	18	木	合宿	幕張	高村亮	S-TEAM 4期生
8	22	月	班ごとの活動	EMセンター	平野恵・高村亮	S-TEAM 4期生
8	23	火	班ごとの活動	EMセンター	平野恵・高村亮	S-TEAM 4期生
8	25	木	班ごとの活動	EMセンター	平野恵・高村亮	S-TEAM 4期生
8	27	土	班ごとの活動	EMセンター	平野恵・高村亮	S-TEAM 4期生
8	29	月	班ごとの活動	EMセンター	平野恵・高村亮	S-TEAM 4期生
9	3	土	班ごとの活動	EMセンター	平野恵・高村亮	S-TEAM 4期生
9	5	月	班ごとの活動	EMセンター	平野恵・高村亮	S-TEAM 4期生
9	8	木	班ごとの活動	EMセンター	平野恵・高村亮	S-TEAM 4期生

9	10	土	班ごとの活動	EMセンター	平野恵・高村亮	S-TEAM 4期生
9	12	月	班ごとの活動	EMセンター	平野恵・高村亮	S-TEAM 4期生
9	15	木	班ごとの活動	EMセンター	平野恵・高村亮	S-TEAM 4期生
9	17	土	班ごとの活動	EMセンター	平野恵・高村亮	S-TEAM 4期生
9	22	木	班ごとの活動	EMセンター	平野恵・高村亮	S-TEAM 4期生
9	23	金	班ごとの活動(文化祭準備)	EMセンター	平野恵・高村亮	S-TEAM 4期生
9	24	土	Glocbal Arts Festival文化の部	505教室	平野恵・高村亮	S-TEAM 4期生
9	25	日	Glocbal Arts Festival文化の部	505教室	平野恵・高村亮	S-TEAM 4期生
9	29	木	班ごとの活動	EMセンター	平野恵・高村亮	S-TEAM 4期生
10	3	月	班ごとの活動	EMセンター	平野恵・高村亮	S-TEAM 4期生
10	6	木	班ごとの活動	EMセンター	平野恵・高村亮	S-TEAM 4期生
10	8	土	班ごとの活動	EMセンター	平野恵・高村亮	S-TEAM 4期生
10	22	土	班ごとの活動	EMセンター	平野恵・高村亮	S-TEAM 4期生
10	24	月	班ごとの活動	EMセンター	平野恵・高村亮	S-TEAM 4期生
10	27	木	班ごとの活動	EMセンター	平野恵・高村亮	S-TEAM 4期生
10	29	土	班ごとの活動	EMセンター	平野恵・高村亮	S-TEAM 4期生
11	7	月	班ごとの活動	EMセンター	平野恵・高村亮	S-TEAM 4期生
11	10	木	班ごとの活動	EMセンター	平野恵・高村亮	S-TEAM 4期生
11	14	月	班ごとの活動	EMセンター	平野恵・高村亮	S-TEAM 4期生
11	17	木	班ごとの活動	EMセンター	平野恵・高村亮	S-TEAM 4期生
11	21	月	班ごとの活動	EMセンター	平野恵・高村亮	S-TEAM 4期生
11	24	木	班ごとの活動	EMセンター	平野恵・高村亮	S-TEAM 4期生
11	26	土	オープンデー	EMセンター	平野恵・高村亮	S-TEAM 4期生
11	28	月	班ごとの活動	EMセンター	平野恵・高村亮	S-TEAM 4期生
12	15	木	会社見学	富士通テクノロジーホール(川崎)	平野恵・高村亮	S-TEAM 4期生
12	24	土	研究発表会	コスモスアゴラ	平野恵・高村亮	S-TEAM 4期生
1	14	土	班ごとの活動	EMセンター	平野恵・高村亮	S-TEAM 4期生
1	16	月	班ごとの活動	EMセンター	平野恵・高村亮	S-TEAM 4期生
1	19	木	班ごとの活動	EMセンター	平野恵・高村亮	S-TEAM 4期生
1	21	土	班ごとの活動	EMセンター	平野恵・高村亮	S-TEAM 4期生
1	23	月	班ごとの活動	EMセンター	平野恵・高村亮	S-TEAM 4期生
1	26	木	班ごとの活動	EMセンター	平野恵・高村亮	S-TEAM 4期生
1	28	土	班ごとの活動	EMセンター	平野恵・高村亮	S-TEAM 4期生
1	30	月	班ごとの活動	EMセンター	平野恵・高村亮	S-TEAM 4期生
2	6	月	班ごとの活動	EMセンター	平野恵・高村亮	S-TEAM 4期生
2	9	木	班ごとの活動	EMセンター	平野恵・高村亮	S-TEAM 4期生
2	13	月	班ごとの活動	EMセンター	平野恵・高村亮	S-TEAM 4期生
2	15	水	グローバル教育発表会	なかのZeroホール	平野恵・高村亮	S-TEAM 4期生
2	16	木	班ごとの活動	EMセンター	平野恵・高村亮	S-TEAM 4期生
2	18	土	班ごとの活動	EMセンター	平野恵・高村亮	S-TEAM 4期生
2	20	月	班ごとの活動	EMセンター	平野恵・高村亮	S-TEAM 4期生
2	25	土	班ごとの活動	EMセンター	平野恵・高村亮	S-TEAM 4期生
2	27	月	班ごとの活動	EMセンター	平野恵・高村亮	S-TEAM 4期生
3	17	金	施設見学	よみうりランド(稲城)	平野恵・高村亮	S-TEAM 4期生
3	27	月	会社見学	芝公園(Vmware)	平野恵・高村亮	S-TEAM 4期生

2022年度 大妻中野 Beyond School チャレンジ記録 -

学校通信 2022年度掲載 - 掲載は日順 - Students' Challenge & Achievement 2022

日付Date	ユニット Unit	大会名 Competition/Program	賞 Award	受賞者/Winners or Participants
2023. 2. 5.	合唱部	東京 春のコーラスコンテスト2023 中学校の部(中1, 2出演)	同声部門 金賞・第1位	
2023. 2. 5.	合唱部	東京 春のコーラスコンテスト2023 高等学校の部(中3, 高1出演)	女声部門 金賞	
2023. 1. 29.	Global Center	第12回 HPDU連盟杯 東京都大会	Participation	5-6 Wakana Tsuruta, 5-6 Megumi Tokoi, 5-6 Ami Nakahara
2023.1.15.		第43回中野区民スキー大会 菅平高原スキー場 回転競技	中学生の部 第1位	1-3 茂田七菜子
2023. 1. 14.	生徒会	中野区非行を生まない社会づくり連絡会主催 第34回 中学生意見発表会	出場	3-4 村瀬 まひろ
2023. 1. 6.		脱炭素チャレンジカップ2023 アイデア賞「自分専用のスーパーを手に」	アイデア賞	4-5 千場友利花、森ほなみ、4-6 北原かれん、酒井雪菜
2023. 1月	芸術科(美術)	第82回全国教育美術展 東京都	特選	2-2 安藤緋奈乃
2022. 12月		第42回千葉県ジュニアスキー選手権大会 大回転	第1位	1-3 茂田七菜子
2022.12.26-27	模擬国連	大妻中学・高等学校 大妻模擬国連 冬大会	Participation	4-4 高村晏那・征矢野楓佳、5-6 中原亜美・床井愛実 4-5 井手伶美花・3-6 陸 碧彩、5-2 若尾七海・5-4 渡邊莉衣
2022.12.24	中学硬式 テニス部	2022年度東京都中学校テニス第3ブロック 新進テニス選手権大会	優勝(第1位)	2-2 山村姫菜・2-4 戸屋心ペア
2022.12.19-20	模擬国連	立命館宇治中学校・高等学校 模擬国連大会 Ritsumeikan Uji MUNs at Biwako Campus	Participation	2-6 大前凜、佐々木くるみ、3-6 水上莉緒、3-7 松下紗都 2-6 Rin Omae, Kurumi Sasaki, 3-6 Rio Mizukami, 3-7 Sato Matsushita
2022.12.18.	GIS	文部科学省・筑波大学主催 WWL/SGH 全国高校生フォーラム 2022	Participation	5-4 伊藤凜華、小川瑠音、グリーン芽愛梨、原口舞千
2022. 12. 14.		第20回「金融と経済を考える」 高校生小論文コンクール	金融担当大臣賞	4-4 佐々木ことみ
2022.11.24	国語科	第72回全国小・中学校作文コンクール	中学校の部 佳作	1-3 茂田七菜子
2022.11.23	ダンス部	ミスダンスドリル秋季大会 関東大会	リリカル部門 2位	池本 奈央、上野 雪月花、川島 夏来、吉田 莉実、明石 つばき、 南部 百花、山本 樹、伊藤 瑠音、金子 聖南、小林 優愛、 五月女 花音、原田 瑠音、新井 理乃、安藤 花露、櫻村 知美、 清水 彩輝、富永 美羽、中井 芽衣、中満 心優、宗川 莉子、 志村 若夏、杉永 聖、宇津木 愛音、大上 杏奈、世倉 明恵、 貫久 めぐ、竹村 心春、中森 彩日香
2022.11.21	数学科	第70回東京都統計グラフコンクール パソコン統計グラフの部	東京私立中学高等学校協 会会長賞	3-6 木村葵
2022.11.19	FLD	上智大学全国高校生英語弁論大会ジョンニッセル杯	本選 Finalist	5-6 Rise Yokoe
2022.11.13		令和4 年度 Tokyo サイエンスフェア 科学の甲子園東京都大会	Participation	4-2 亀井 萌々花 4-4 征矢野 楓佳 高村 晏那、 4-6 石綱 彩乃
2022.11.12 & 11. 13	Beyond School	立命館宇治 FOCUS 2022 第5回全国高校生サミット	Participation	1-6 柿坂 優花 垣尾 彩葉 戸田 純可 山本 結貴、 2-2 落合 瑞希 喜多川 和 杉森 千咲 山村 姫菜 劉 思源 2-3 藤治 あず花 平田 芽以 水庭 凜 宮下 愛彩
2022.11.12.	FPT, FLD Global Center	科研「民主的文化を含む新しいグローバル市民教育の指標と教育モ デルの構築」シンポジウム @大妻中野	Appreciation	H1 佐久間 結里 Yuki Sakuma、H2 金子 珠莉 Juri Kaneko、池端 心裕 Miyu Ikehata、H2 近藤 哩史 Rio Kondo、渡辺 奏野美 Sonomi Watanabe、関根 舞 Mai Sekine H1 高松 こころ Kokoro Takamatsu J2 大前 凜 Rin Omae J3 大石 圭夏 Keina Onisi H2 伊藤 凜華 Rinka Ito H2 千葉 麻子 Mako Chiba H2 千葉 玲子 Reiko Chiba H2 井口 遥 葉 Haruna Iguchi、山田 美緒莉 Miori Yamada、上川 瑠月 Mizuki Kamikawa H2 小川 瑠音 Koto Osawa H2 横江 莉世 Rise Yokoe
2022.11.12	Global Center	渋谷教育学園渋谷 SOLA International Debate Tournament	Participation	5-4 Miku Usui, Meari Green, Machi Haraguchi 5-6 Megumi Tokoi, Ami Nakahara
2022. 10. 8	高校合唱部	第89回NHK全国学校音楽コンクール 全国大会	金賞 内閣総理大臣賞	
2022.10.31	FLD	関西学院大学・青山学院大学 チャーテル杯 全国高等学校英語スピーチコンテスト All Japan Inter Senior High School English Oratorical Contest for the Churchill Trophy	Final 6th award	H2 Wakana Tsuruta
2022. 10. 10	中学合唱部	第89回NHK全国学校音楽コンクール 全国大会	金賞 内閣総理大臣賞	
2022.10.1.	FLD	青山学院大学 チャーテル杯英語スピーチコンテスト Churchill Trophy Eastern Preliminaries	Finalists & 3rd award	Finalists: H2 Meari Green, H2 Rise Yokoe 3rd award winner: H2 Wakana Tsuruta
2022. 10.	中学硬式 テニス部	杉並区秋季新人テニス大会	第2位	団体メンバー 山村姫菜、吉見華、高杉優華、富樫明日花、戸屋心、深井実咲、松尾理央、 駒村彩乃、 平田芽以、山田美羽
2022. 10.	バドミントン部	第59回東村山市民体育大会 バドミントン女子ダブルス 3部	準優勝	宮下 愛彩
2022.9.6.	芸術科(美術)	中野区明るい選挙推進協議会	会長賞	4-3 落合香帆
2022.9.6.	芸術科(美術)	中野区明るい選挙推進協議会	入選	4-3 橋本明空、4-5 大澤蒼乃
2022.9.6.	芸術科(美術)	中野区明るい選挙推進協議会	佳作	4-5 松本朋佳
2022.9.4.	中学硬式テニス部	第9支部総合競技大会中学女子硬式テニスの部	優勝	中学硬式テニス部
2022. 9. 3.	中学合唱部	第77回東京都合唱コンクール 金賞	金賞	
2022.9.3	高校合唱部	第77回東京都合唱コンクール 金賞	金賞	

2022.9.25.	国語科	第36回 全国書写書道展覧会 全国書教研連盟主催	書研会長賞	高2 波多野 吉香
2022.9.25.	芸術科 美術	第6回全国こども絵画コンクールinかさま	文星芸術大学賞	中2 中島 陽葵
2022.9.25.	芸術科 美術	第6回全国こども絵画コンクールinかさま	審査員特別賞	中2 山崎 小夏
2022.9.25.	芸術科 美術	第6回全国こども絵画コンクールinかさま	入選	中2 松田 奈々、佐野 薫、佐藤 明衣
2022.9.23	書道部	第11回東京都の児童・生徒による“江戸”書道展	コレド日本橋賞	高2 宮井友香
2022. 9. 11.	中学合唱部	第89回NHK全国学校音楽コンクール 関東甲信越大会	金賞	
2022. 9. 10.	高校合唱部	第89回NHK全国学校音楽コンクール 関東甲信越大会	金賞	
2022. 8. 9.	中学合唱部	第89回NHK全国学校音楽コンクール 東京都大会	金賞	
2022. 8. 8.	高校合唱部	第89回NHK全国学校音楽コンクール 東京都大会	金賞	
2022.8.30.	高校硬式テニス部	令和4年度東京私立中学高等学校協会第9支部総合競技大会 高校女子硬式テニス	第2位	高2：山田美緒莉、萩原優衣、宇津木美涼、浦上ふう花、杉本陽南、今井咲希、井内晶子、市川桃子、田村美優 高1：西巻悠、藤巻うらら、長尾朋美、池田奈央、原悠奈
2022.8.28.	高校ソフトテニス部	令和4年度第9支部大会 高校女子ソフトテニス	第3位	高2：渡邊 莉衣・千葉 玲子、高1：松本 遥音・小池 優香、中川 愛理・齋藤 真央、片山 菜里・小川 紗和
2022.8.28.	バドミントン部	令和4年度第9支部大会 中学女子バドミントン	第3位	中3：羽島美咲、武川遥香・半澤那奈子・井上紗那・下山真央、中2：勝野彩夏
2022.8.28.	卓球部	令和4年度第9支部大会 中学女子卓球	第3位	中2：阿部睦美、奈良柚花 中1：福島理桜、上木美緒、山北楓果、小杉芽亜
2022.8.28.	卓球部	令和4年度第9支部大会 高校女子卓球	第3位	高2：荒木奈々 高1：伊藤春乃、小日向環、鳥居佳歩、江草里実、都倉夕佳
2022.8.28	書道部	第38回高円宮杯日本武道館書写書道大展覧会	日本武道館賞	中2 石垣沙綾・田口京香 、
2022.8.28	書道部	第38回高円宮杯日本武道館書写書道大展覧会	大会奨励賞	高1 渡辺美怜、
2022.8.28	書道部	第38回高円宮杯日本武道館書写書道大展覧会	特選	高1 宇治明瑠・大堀遥・間藤樹里
2022.8.25.	中学硬式テニス部	東京都中学校新人テニス選手権大会第三ブロック都大会女子ダブルス代表認定	第7位	山村姫菜・吉見華ベア
2022.8.24.	中学硬式テニス部	東京都中学校新人テニス選手権大会第三ブロック都大会女子シングルス代表認定	第9位	山村姫菜
2022.8.2.-8.23.	Global Center	University College London Japan Youth Challenge 2022	Participation	高1：北原かれん、高2：木岡友、近藤理央、中原亜美
2022. 8. 18.	Global Center	渋谷教育学園渋谷中 SOLA 2022	Participation	中2：大前凜、高1：松田璃奈、高2：下條愛実、千葉玲子
2022.8.15.	中学ソフトテニス部	第61回東京私立中学校選手権大会	第5位	小松瑞歩・伊勢みゆベア
2022.8.11.- 8.22.	Global Center	HLAB Summer School 2022	Participation	高1：佐久間結里(宮城・女川)、高2：床井愛実(東京)、下條愛実(群馬)、田村ののか(宮城・女川)、佐藤未悠(東京)
2022.8.11.	高校ソフトテニス部	令和4年度東京都高等学校女子ソフトテニス城西地区大会	第5位	高1 松本 遥音・前田 紗英ベア
2022.8.11.	Global Center	ICU国際基督教大学 グローバル・チャレンジ・フォーラム 2022	最優秀賞	高1 近藤美琴
2022. 7. 30.	中学合唱部	第89回NHK全国学校音楽コンクール 東京都予選	金賞	
2022.7.30.	Global Center	立教大学GLAP Trial Lesson 2022	Participation	高2： 原口舞千、高3： 塚本有梨、遠山凜果
2022. 7. 26.	高校合唱部	第89回NHK全国学校音楽コンクール 東京都予選	金賞	
2022.7.18.	中学硬式テニス部	杉並区中学校総合体育大会	優勝	中3： 湯浅美玲、鈴木環、小林凜子、古川夏光、磯貝彩佳、坂本ナヤナ、関根曜夏、小杉優亜、中2： 山村姫菜、吉見華
2022.7.13.	Global Center	ICU国際基督教大学 Science Café リベラルアーツ数学	Participation	中1： 懸樋志麻、高1： 浅井美典
2022.7.8月	Global Center	University of Toronto Global Citizenship Program	Participation	H2 Megumi Tokoi
2022.6.24.	FLD	獨協大学主催 第10回全国高校生英語プレゼンテーションコンテスト The 10th All Japan High School English Presentation Contest By Dokkyo University	Participation	H2 小川瑚音、グリーン芽愛梨、原口舞千
2022.6.19.	部活動	全国高校生花いけバトル関東大会	出場 Participation	H1 佐藤優衣 H1 田鍋佳歩
2022.6.19.	Global Center	APU 立命館アジア太平洋大学 国際学生 英語ディスカッション English Discussion with International Students of APU	Participation	H1 星くるみ、陳欣瑜、高田さおり
2022.6.18.	Global Center	立命館宇治 + Inspire High 平和な世界を実現するには online session Peace Talk	Participation	H1 陳欣瑜、高田さおり、松田璃奈
2022.6.18.	Global Center	2022年度五井平和財団国際ユース作文コンテスト Goi Peace Foundation International Essay Contest	Participation	J2 藤田茉緒、長濱屋桃子、大前凜、清水結愛
2022.5月・7月	FLD Global Center	Stanford e-Entrepreneurship Program.	honorable for most growth.	H2 Meari Green
2022.5.29.	Global Center	TED x Youth @ OtsumaNakanoHS	TED 公式プログラム	J2 大前凜、H1 陳欣瑜、高田さおり、北原かれん、H2 金子芽生、H3 村田美咲、鶴岡伶奈、塚本有梨、作岡未来、増田愛
2022.3.29.	Global Center	東京都立多摩科学技術高等学校(SSH) - オーストラリア・グリフィス大学 連携授業	Certificate of Participation	(参加時はJ3) H1-6 北原 かれん (Karen Kitahara)

令和4(2022)年度 学校経営計画 各部署重点目標と達成方法

重要度 [4]大変に重要 [3]やや重要 [2]あまり重要でない [1]重要でない 達成度 [4]75～100% (ほぼ達成した) [3]50～74% (まあまあ達成した) [2]25～49% (あまり達成できなかった) [1]0～24% (ほとんど達成できていない)		中学1年 2022年度重点目標															
		項目1		①「学力向上に向けて」													
				目標	自ら学びを楽しむことのできる生徒を育成する。自分の意見を言語化し、表現することができる生徒を育てる。												
					基本的な学習習慣を身につけ、自ら考え、行動できる生徒を育てる。												
		達成方法	グローバル人材の育成を進めていく。実践的な英語力を育成するための土台として、英語・国語を中心に取り組ませる。														
			「学ぶ」ということの意義を考え、「学び」から得られたもので周囲に貢献する喜びを体感させる。														
		項目2	目標	スコラ手帳(学習手帳)の書き方を定着させ、日常的にPDR(Prep・Do・Review)サイクルを意識させる。													
				授業だけでなく、MMT・朝学習でもしっかり目標を意識して取り組みせ、学年全体として基礎力向上の機会を用意する。													
				②「生きる力育成に向けて」													
			目標	社会の一員として生きていくために必要である基本的な作法・礼儀を身につける。													
基本的な生活習慣を身につけ、心身の健やかな成長を促す。																	
自分自身を大切にするとともに、周囲にも寄り添うことのできる心を育てる。																	
達成方法	礼法や茶華道などの授業を通して、社会生活を円滑に送ることのできるスキルを学ぶとともに、日本の文化への深い理解と誇りを育む。																
	挨拶、「日常の五心」、時間厳守、係や清掃等には責任を持って取り組むなどの姿勢が、対人関係において重要な役割を担っていることを日常生活で体感させる。																
項目3	目標	道徳教育やピア・サポート教育を通して学んだ知識を活かせるような機会を作り、豊かな心を育む。活動後には振り返りを行うことで自分の経験として蓄積させていく。															
		③「学校教育環境整備と質向上に向けて」															
	達成方法	ICTリテラシーを理解し、ICTを適切に活用する力を養う。															
		manabaを活用して保護者と学校とが連携し、両方で生徒の成長をともに見守れるような信頼関係を築く。															
ICT使用のルールを知り、SNSのリスク等も理解しながら、効果的な活用方法を体感させる。																	
学校評価を実施し、取り組みについての改善・改革を行い、教育活動の向上を図っていく。																	
学年・学級通信やお知らせなどでmanabaを積極的に活用し、活動報告・情報公開を進めていく。																	
		項目1		項目2		項目3											
		重要度	達成度	重要度	達成度	重要度	達成度										
部署コード/平均		3.91	3.18	3.82	3.09	3.55	3.36										
1		4	3	4	3	3	3										
2		4	3	4	3	3	3										
3		4	3	3	3	4	3										
4		3	3	3	3	3	3										
5		4	3	4	3	4	4										
6		4	4	4	3	4	4										
7		4	4	4	4	3	4										
8		4	2	4	2	4	3										
9		4	4	4	4	4	4										
10		4	3	4	3	4	3										
11		4	3	4	3	3	3										
<取組状況・次年度への課題など>																	
①「学力向上に向けて」という目標についてはまだ取り組み途中ではあるが、英語・国語力向上のため朝学習では特に時間を取り、新聞記事の音読や書き写し、キクタンの音読・思考力問題に学年で取り組んできた。学力推移調査においては目標の学年の三分の一がAゾーン以上とはならなかったため、次年度に向けて中上位と下位に分けての指導を検討していきたい。しかし、英検に関しては、9割以上4級を取得できたので、概ねクリアと言える。次年度も3級取得に向けて授業やキクタンなどの小テストをこぼさないよう進めていきたい。スタディサプリの取り組みについても、数学以外にも英語で定期的に活用することができた。																	
②「生きる力育成について」という目標については、社会や妻中生活としてのルールやマナーの重要性と厳守の徹底を促してきた。自分と周囲の双方にとって居心地のよい環境のために、すべきことを考えて行動すること、他者も尊重しお互いに譲り合うことの大切さを行事などを通して体感させてきた。特に3学期の地域貢献プロジェクトでは、クラスごとに地域の方への日頃の感謝の気持ちを行動に移すことができ、実際に清掃活動をすることで、自分自身の行動を振り返るターニングポイントにもなったように感じている。次年度には後輩も出来、カナダセミナーも控えているため、周囲にとってふさわしい行動が自主的にとれるよう指導していきたい。																	
③「学校教育環境整備と質向上に向けて」という目標については、学年通信を通して保護者の方に学校の様子を共有してきた。今年度はまず保護者の方と学校との信頼関係をつくることが非常に重要な年であると考え、manaba・ロイロ・スコラ手帳の活用法を保護者の方に周知するとともに、どの方法もしっかりと活用できたと感じている。特にSNSに関しては学年集会やLHRで折に触れ、ネットリテラシーに関する講座も実施し、危険性を説明してきた。次年度以降もSNSに振り回されず上手にツールとして活用していけるよう指導していきたい。																	

令和4(2022)年度 学校経営計画 各部署重点目標と達成方法

		中学2年 2022年度重点目標																
重要度 [4]大変に重要 [3]やや重要 [2]あまり重要でない [1]重要でない 達成度 [4]75～100% (ほぼ達成した) [3]50～74% (まあまあ達成した) [2]25～49% (あまり達成できなかった) [1]0～24% (ほとんど達成できていない)	①「学力向上に向けて」		目標	自ら学びを楽しむことのできる生徒を育成する。あらゆる場面で自己肯定感を育み、自ら考え、行動し、判断できる生徒を育てる。														
				基本的な学習習慣、生活サイクルを定着させる。教科学習と部活動を両輪として、何事に対しても高いモチベーションの生徒を育てる。														
				具体的な検定などの目標を設定して、特に英語・数学・国語の3教科の基礎学力を、誰一人取り残すことなく定着させる。														
	達成方法	各教科の授業や各種行事において「なぜ学ぶのか」ということを意識して伝え、探究的な思考、主体的に学ぶ姿勢を養成する。																
		大中小の目標を設定してスコラ手帳で見える化し、自分を高める日常的なPDCAサイクルを意識させる。自分の学びをメタ認知させる。																
		英数国のMMTにしっかりと取り組ませて3教科の基礎学力を定着させ、一定の「知識・技能」ラインに到達するまで継続して取り組ませる。 * MMT:マンデイ・モーニング・テスト 月曜日の朝に実施する小テスト																
	②「生きる力育成に向けて」		目標	元気で明るくさわやかな学年・クラスを1年次から引き続きめざす。何事にもポジティブにアクティブに取り組めるマインドセットを育む。														
				「べき」よりも「したい」で動けるような人になることをめざし、「なりたい自分」と「それに近づく努力」を日常的にできるように意識づける。														
				自分のことを大切にしながらも、周囲への思いやりや奉仕・公德心を育む。Society5.0 for SDGsを意識した教育活動を展開する。														
			達成方法	元氣な挨拶、ポジティブな「PEP TALK」の推進を学年会、保護者会で周知し、生徒に関わる指導者・大人側の意識を統一する。														
社会の規範を「恥を知れ」という校訓や「Be・・・」という行動指針を設定して定着させ、こうありたい自分像を日常的にイメージさせる。																		
「日常の五心」や「SDGs」を定期的に提示して意識させることで「身体化」し、見返りを求めずに動ける「おせっかい」マインドを育む。																		
③「学校教育環境整備と質向上に向けて」		目標	探究型授業を強く意識しながら、学力の三要素のうち「思考力・判断力・表現力」「主体的に学ぶ姿勢」を育める授業を展開する。															
			manabaを活用した学校と保護者の連携を継続して密に行い、両者で生徒の成長をともに見守れるような信頼関係を保つ。															
		達成方法	自ら考え、調べ、まとめ、発信するなど、「教えられる」学びから「もぎとる」学びへとシフトできるような授業構成をする。 manabaで毎週末にコースニュースを発信して学校での学びの様子を保護者とシェアし、学年全体の課題を見る化して改善していく。															
		項目1		項目2		項目3												
		重要度	達成度	重要度	達成度	重要度	達成度											
部署コード/平均		3.82	2.82	3.82	3.27	4.00	3.55											
1		4	2	4	4	4	3											
2		4	3	4	3	4	4											
3		4	3	4	4	4	4											
4		3	3	4	3	4	3											
5		4	3	3	3	4	3											
6		3	3	4	3	4	4											
7		4	3	4	4	4	4											
8		4	3	4	4	4	3											
9		4	2	4	3	4	4											
10		4	3	4	3	4	4											
11		4	3	3	2	4	3											
<取組状況・次年度への課題など>																		
①「学力向上に向けて」についてはもっとも達成度が低い結果となっており、学年としてのエネルギーを上げることを優先して、確かに学力を上げるような取り組みについてはあまり具体的にはできていないのが現状である。事実として受け止めなければならないのは以下の点である。成績上位の生徒達が「ある程度」でおさまってしまっていることと、学習についてより積極的に取り組んでほしい生徒たちの「D言葉(でも、だって、どうせ)」を放置してしまっていること。次年度に向けては、学年のエネルギーを自分の「未来」に向けて、学力向上に自ら「駆動」できるようなしなかけを全生徒に対して実施していく。																		
②「生きる力育成について」という目標については、学年目標を「元気に明るくさわやかに」と継続して言い続け、学年の先生方にも「ポジティブに」「生徒のやる気をモチベートする」ということを意識していただいているため、比較的ポイントは高い。清掃点検等でも評価されるクラスも多く、担任団のおかげで日常的に教室環境を整えることができてきている。挨拶や服装、言葉遣いなど、徐々にパブリックスペースでの振舞いも身につけてきている気がする。これをベースに次のSTEPで学校外との連携や共生ができるようにしていきたい。																		
③「学校教育環境整備と質向上に向けて」については、もっともポイントが高く、毎週末のコースニュースを2年目としても欠かさず、保護者に向けても学校の様子を共有してきたからだと考えられる。FOCUSやライトニングトークなど、外部へのアプローチも少しずつ挑戦する生徒がでてきたのは素晴らしいことである。																		
次年度の課題としては、「BEYOND SCHOOLへの挑戦」「学びの軸と未来志向(大学を意識)」「元気に明るくさわやかに」を継続して指導していきたい。																		

令和4(2022)年度 学校経営計画 各部署重点目標と達成方法

重要度 [4]大変に重要 [3]やや重要 [2]あまり重要でない [1]重要でない 達成度 [4]75～100% (ほぼ達成した) [3]50～74% (まあまあ達成した) [2]25～49% (あまり達成できなかった) [1]0～24% (ほとんど達成できていない)	中学3年 2022年度重点目標																		
	項目1	①「学力向上に向けて」																	
		目標	①グローバル人材の育成を進めていく。昨年度に引き続き、基礎学力の向上に加え、大学受験を見据えた応用力の育成の努める。																
			②生徒が「今からできること」に目を向けて自ら学ぶ姿勢、自分の意見を表現する姿勢を定着できる授業を展開していく。																
			③自らの意欲を高めていくために、各種検定に目標値を設定し、取得させていく。																
		達成方法	①「スコラ手帳」を活用し、昨年度から「一歩進んだ」形の学習のスケジュール管理ができるように指導していく。学年通信や学級通信(学年ガイダンス)や授業を通して学習法について積極的にアドバイスを行う。各種小テストや補習などの取り組みを可能な限り行い、基礎学力の定着化を進めていく。(オンライン授業や講習も含む)応用力UPに向けた講習開講。																
	②授業内でタブレットPCを積極的に活用し、思考・意見交換の機会を積極的に設定する。また、manaba・スタディサプリ・ロイロノートの活用や各教員が作成した教材(オンライン教材)等を活用し、自ら学習する習慣の定着を図るようにしていく。																		
	③進路実現のために主軸となる「英語」の習得の目標となる英検3級の90%合格を目標とし、数検や漢検、その他個人の興味のある検定にも積極的に取り組む姿勢を育てる。																		
	項目2	②「生きる力育成に向けて」																	
		目標	①「日常の五心」を実践させ、基本的な生活習慣の基礎をしっかりと身につけさせることを継続させる。																
②社会人に必要な生活の基礎となる「けじめのある生活の構築」「自主・自律の精神の構築」を目指し、学力と人間力の繋がりを意識できるように指導していく。また、自らのキャリアを意識させるような進路指導も並行して行っていく。																			
③道徳や礼法、ピアサポートを通して、豊かな心を養っていく。																			
達成方法		①元氣な挨拶・時間厳守・整理整頓・日々感謝の心を持つ等の、基本的習慣の指導をしていく。																	
	②ガイダンスや集会、日々のLHRやHR、各種式典でメモを取ることを身体化させ、「聞く」姿勢を身に着けさせる。また、その振り返りを行うことで意識づけをしながら実践に繋げていく。その他、職場体験に替わるものとして、卒業生(大学生・社会人)を招いての講演会の開催実施も考えていきたい。																		
	③道徳やピアサポートなどのプログラムに積極的に参加させ、「振り返り」にしっかり取り組ませていくことで、豊かな心を養うように努める。																		
項目3	③「学校教育環境整備と質向上に向けて」																		
	目標	①学校評価を実施することにより、改善・改革と教育活動の向上を図っていく。																	
		②開かれた学校を目指し、情報公開を進めていく。																	
達成方法		①昨年度と同様に、コロナ禍においても可能な限りの教育活動の視覚化を進めていき、保護者からの意見を検討していく。(学年manabaや学年通信、学校だよりを利用し、適宜、情報公開を進めていく) ②昨年度と同様に、定期的な学校だより・学年通信・学級通信・生徒部通信・進路部通信等を通して、積極的に活動報告や情報公開を進めていく。																	
		項目1		項目2		項目3													
		重要度	達成度	重要度	達成度	重要度	達成度												
部署コード/平均		3.73	2.91	4.00	3.00	3.36	2.91												
1		3	3	4	3	3	3												
2		4	1	4	1	1	1												
3		4	3	4	2	3	3												
4		4	3	4	4	4	4												
5		4	3	4	3	4	3												
6		3	3	4	3	3	2												
7		4	3	4	4	3	3												
8		4	3	4	3	4	3												
9		4	4	4	4	4	3												
10		4	3	4	4	4	3												
11		3	3	4	2	4	4												

<取組状況・次年度への課題など>

・項目1・2ともに重要度が高く、特に担任はLHRや毎日のSHRの時間を利用して生徒と向き合い、語りかけ、指導した。②については卒業生を招いての講演会の実施(中止になった職場体験の代替行事)、毎回のピアサポートや道徳の時間において昨年度より一歩進んだアドバイスができたのではないかと考える。

・今後においては項目3における改善が必要であると考えられる。「学級通信を頻繁に発行すること」は難しいことだと考えるが、それぞれのタイミングをみて効果的な発行ができるよう「教育の可視化」に繋がり、保護者との連携もより強くなるのではないかと、と思う。学級通信は基本的に学期ごと(保護者会に合わせ)の発行であったが、月ごとの発行を目指して取り組んでいたクラスもあった。学年通信も折に合わせて発行しているが、一昨年・昨年に比べると、発行回数が増えたことも事実である。これは教育現場の正常化が進む中、直接生徒へ伝えられる機会が増えたことも理由の一つではあるが、生徒への動機付けの一環としてももう少し頻繁に活用すべきであったと考える。

・進路通信も同様に、学期ごと(保護者会時に学力推移調査の結果データとして配布)の発行だったが、直接保護者へ渡して学年保護者会で説明できたので、その点については良かったのではないかと考える。

令和4(2022)年度 学校経営計画 各部署重点目標と達成方法

		高校1年 2022年度重点目標															
重要度 [4]大変に重要 [3]やや重要 [2]あまり重要でない [1]重要でない 達成度 [4]75～100% (ほぼ達成した) [3]50～74% (まあまあ達成した) [2]25～49% (あまり達成できなかった) [1]0～24% (ほとんど達成できていない)		項目1	①「学力向上に向けて」														
			目標	(1)「自ら学ぶ姿勢」を持たせるために教員はファシリテーターの役割を認識し、探究課題学習などの工夫を行う。また「協働して学ぶ姿勢」を持てるようなグループ課題学習などの工夫を行い、大学入試改革の方向性に沿うかたちで、自ら育つ生徒の育成を目指す。													
				(2) 大学入試に必要な学力に関して、模試や検定を通して自ら客観的に分析し、工夫して獲得する姿勢を身につけられるように、振り返りの中で、「見通しを立てた行動」となるように助言する。また、英語4技能の向上のために、朝学習や帰りの15分学習などを有効に活用していく。													
				(3) 文系・理系選択や志望校選択に向けて進路情報を提供しながら前向きな選択ができるようにする。また、自己の取り組みを客観的に振り返り、何をすべきかを考え行動できるようにまとめる手段を提供していく。													
		達成方法	自ら学ぶという意欲が持てるように、教員と生徒がそれぞれ修正しながらよりよい授業を構成していく。「基礎学力向上」「受験学力向上」に関しては、授業と授業外の取り組みの双方の連携によって取り組んでいく。具体的には、朝学習と週2回の放課後15分学習の時間を活用する。また、放課後延長学習の時間を可能な限り早く設けることにより、学習習慣の定着をはかっている。														
			模擬試験に関しては、「基礎学力」「受験学力」「大学入試共通テスト対策」という形でそれぞれの目的を明確にし、過去問などを通して自ら立てた目標を達成できるように、準備して臨む体制をつくっていく。また、検定に関しては「大学受験」への1つの指標にもなっているので、取得を促すとともに、ただ資格をとるにとどまらない学習を行わせたい。														
			OGや業者を用いた生徒向け進路ガイダンスを実施し、「夢ナビ」や諸資料を通した大学調べなどを行い、文理選択に対して広い視野で検討できるような機会を用意していく。また、メモする習慣を促し、様々な活動に対してどう感じたかなどの記録を行わせる。教員とのやり取りの中で、生徒が自ら学びのデータとできるように指導を行っていく。														
		項目2	②「生きる力育成に向けて」														
			目標	(1)「校則」「生徒指導方針」を通して、社会で堂々と活躍できるような自立心・自律心を育成する。													
				(2) Global Study Tour に向けたプログラムを通して、自己のキャリア育成について考える機会を設ける。													
達成方法	ルールの中から重点的に課題を設定し、ガイダンスやクラスでの指導を通して身につけさせていく。それとともに、校外や対外行事でも主体的活動ができるように社会でのマナーやモラルについても指導していく。																
	SDGsプログラムやCASプログラムを通して、グローバル 이슈及びキャリア形成に関して学ばせる。これらを通して、自分の将来をいかに考えるか、行動目標の設定を促していく。																
項目3	③「学校教育環境整備と質向上に向けて」																
	目標	(1) 保護者向けのガイダンスに関して、時期や内容を精査しながら効果的に情報提供できるように取り組む。															
		(2) 開かれた学校を目指すための情報発信を行っていくとともに、保護者会・面談・学校評価アンケートの結果を今後もフィードバックしていく。															
	達成方法	年間で開催される保護者ガイダンスに関して、その目的を明確にした上で教員が全体指導と個別指導を効果的に行えるように整理していく。また、時期や情報量に応じて保護者ガイダンスの内容を整理し、重要事項を伝えられるように工夫する。															
学年通信・学級通信・進路部通信によって情報発信を進めるとともに、保護者会では学校評価アンケートの結果をもとにしたフィードバックを行っていく。																	
		項目1		項目2		項目3											
		重要度	達成度	重要度	達成度	重要度	達成度										
部署コード/平均		3.91	2.91	3.82	2.82	3.73	3.00										
1		4	4	4	3	4	3										
2		4	3	4	3	4	3										
3		4	3	4	3	3	3										
4		4	3	4	3	4	3										
5		4	2	4	2	4	2										
6		4	3	3	2	3	2										
7		4	3	4	2	3	3										
8		4	2	4	3	4	4										
9		3	3	3	3	4	3										
10		4	3	4	4	4	3										
11		4	3	4	3	4	4										
<取組状況・次年度への課題など> 『学年通信』(紙ベースとともにmanabaにも配信)やガイダンスを通じて、全体が今やるべきことを共有して進めてきました。ただmanabaへのアクセス数がなかなか伸びない(特に進路ガイダンスの動画)など、今一度、情報の共有のありかたを確認していきたいと考えています。高1学年の課題は「自分で課題を設定して取り組む」姿勢だと考えます。こちらから提供する課題は「自分ではなかなかできないことに取り組める」という利点がありますが、自分で学習する内容を見つめるという主体性をなくす可能性があります。今の時期としての適正量であってもテンションが張れていなければ、多く感じるのも道理で、保護者アンケートに課題量が多いなどのコメントも散見しました。3学期の2月からは「放課後15分学習」を自主学習に移し、15分という限られた時間をどう有効に使うかを考えてもらおうとしたが、「宿題以外で大学に進むために必要な学習」と働きかけたにもかかわらず、目先の宿題に手を伸ばそうとする姿が多く見られ、まだまだ進路への意識が薄いので、そこを強化していくことが課題だと感じます。またCASプログラムやOGの進路講演会、小浦先生のJICAの講演会など、キャリアを考える機会を設け、スタディサブリの活動メモを通じて考えさせてきましたが、まだまだ他人事の感が強い生徒もいるので、GSTを通して、昇華させ、その上で、進路指導も本格化させていきたいと考えています。																	

令和4(2022)年度 学校経営計画 各部署重点目標と達成方法

		高校2年 2022年度重点目標																
	項目1	①「学力向上に向けて」																
		目標	①進路実現のために必要な学力を養う															
			②将来を見据えて社会性・自立心を身に着けるための学習を実施する															
		達成方法	①与えられた課題をこなすことや、授業・講習に参加することで満足してしまうことなく、自らに課題を設定し解決するための学習を意識する。塾頼みや参考書類みの勉強から脱却するため、学校で自学自習の時間を増やすため、朝学習・放課後延長学習など学習機会の提供に努める。模試やTEAPなど、初見の問題で力を発揮できるよう、手先に頼る勉強ではなく芯のしっかりとした学力を身に付けられるような学習を習慣づける。□ ②答えの有る問いに答えるだけの学習から脱却し、「なぜ」を追究し考察する力を養えるよう、授業の在り方を工夫する。テストの点数だけでなく、各種コンテストへの応募や論文作成など、自らの興味関心を広げることを目標とする。キャリア教育や志望理由書の書き方など、進路の為の学習についても機会を積極的に設けていく。□															
	項目2	②「生きる力育成に向けて」																
		目標	①他者を理解する力と社会への関心を育む															
			②自己理解、自己表現する力を涵養する															
		達成方法	①GSTや様々な機会を通じて、自分だけでなく周囲の人間がどのような環境にあるか想像できる人間になる。社会の動静に関心を持ち、自らの進路に結び付けた社会学習を強く意識する。環境・差別・戦争などSDGsに関する様々なテーマについて偏らずに客観的かつ冷静な意見を持つ。 * GST:グローバル・スタディ・ツアー ②社会の中の自分というものを意識し、自分が何者となるかを表現できるような練習をする。大学入試で使う使わないに関わらず、志望理由書や自己PR文を書くことで自分を見つめ直し、どのように自己を他者に伝えるかということを考えさせる。															
	項目3	③「学校教育環境整備と質向上に向けて」																
		目標	①生徒・保護者と緊密な連携を図る															
			②ネットリテラシーの習熟を目指す															
		達成方法	①学年通信や各種ガイダンスの実施により、大学入試に関する情報や学校生活についての情報を定期的に公開し、細やかに連携をとる。 ②SNSの危険性や功罪を理解し、「正しく使う」ためのICT教育を実践する。															
		項目1		項目2		項目3												
		重要度	達成度	重要度	達成度	重要度	達成度											
部署コード/平均		3.82	2.91	3.55	3.18	3.45	3.00											
1		3	3	3	4	3	3											
2		4	2	3	2	3	3											
3		4	4	4	4	4	4											
4		4	3	4	2	3	2											
5		3	3	4	3	4	3											
6		4	3	4	3	4	3											
7		4	3	3	4	3	4											
8		4	3	3	3	3	2											
9		4	4	4	4	4	4											
10		4	2	3	3	3	2											
11		4	2	4	3	4	3											
＜取組状況・次年度への課題など＞																		
①「学力向上に向けて」は重要度が最も高いが達成率が最も低いという結果になってしまった。教員視点として「学力向上を達成した」とは思えないのが当然とも言えるので、決して達成に向けて努力していないということでは無いが、引き続き更なる学力向上に向けて尽力していかなければならない。方策としては、これから本格的に受験生となる生徒に対して何かを教え込むというやり方ではなく、生徒それぞれが進路実現に向けて自学自習に取り組むための仕掛けを作っていく必要がある。具体的には、学年進路ガイダンスや面談などで受験形態に応じた学習計画を共有する。授業はもちろん、放課後学習や平常講習など一般入試に対応できる学力育成の場を作る。																		
②「生きる力育成に向けて」進路に向けて考える機会が増えたことにより、外の世界を意識することができるようになっている。大学で何を学ぶかという自分の問題と、その先にどのような仕事があるか、そしてそれがどのように社会に還元されるかという他者理解とが結び付けられる生徒が増えてきている。今後も自己実現と外の世界との関わりを考えられるよう、卒業生や外部の方の力も借りてガイダンスや講演を行いたい。																		
③「学校教育環境整備と質向上に向けて」SNSとの接し方については中学から折に触れて話している効果もあり、大きな問題なくここまで来ている。高校生活の締めくくりとなる一年を、自分の自己実現のために集中できる環境整備を心がける。																		

令和4(2022)年度 学校経営計画 各部署重点目標と達成方法

		高校3年 2022年度重点目標															
	項目1	①「学力向上に向けて」															
		目標	(1)希望進路実現に向けたモチベーションの維持・向上と、主体的な学びによる実力の養成														
			(2)ICT機器の活用により、オンライン教材の提供や個別最適化されたサポートができるよう体制を整え、生徒の学習面・進路面・生活面のサポートを進めていく。														
			(3)大学受験をサポートするためのシステムを学年から発信し、学校全体で受験生を支えていく体制を構築する。														
		達成方法	(1)毎月の進路ガイダンスや模試受験を通して、大学受験に向けた望ましいベースメイクをしていく。大学への訪問や大学の入試担当者を本校に招集する企画などを実施し、モチベーションを維持・向上させる。授業では主体的に学べるような授業を実施することで実力の養成を図る。SHRIにおいて英語の基礎力向上を図り、放課後・長期休業中の補習・講習を実施していく他、放課後延長学習など、学習習慣定着のための自習環境を整備する。														
	(2)manabaでの情報発信やロイロノートでの個別対応を進めるとともに、どちらのツールでも自主的に取り組むことができるオンライン教材を提供し、能動的な学習を促進する。また、COVID-19の影響によりオンライン化が進んでいる大学受験に対応できるようオンライン化に関する情報提供を意識して行う。																
	(3)生徒の進路実現のために、学年の情報を学年教員や学年の授業担当教員に狭めることなく、学校全体で共有し、受験生を支えていく。また、グローバルセンターとも連携を図り、外部検定利用入試や海外入試などもサポートしていく。																
	項目2	②「生きる力育成に向けて」															
		目標	(1)何事にも一生懸命に取り組み、全ての取り組みを両立させる人材を育成する。														
			(2)インターネットやSNS等との適切な付き合い方を指導し、生徒が受験勉強中も卒業後も適切な使い方ができるようになることを目指す。														
達成方法	(1)受験学年は決して特別なものではないことを伝えつつ、生徒指導方針に準拠した指導をこれまでと変わらず実施する。大学受験に向けて抱えることが増えても「遅れ」や「忘れ」を生じさせず、全てを両立させることを諦めない姿勢を維持できるように生徒たちを支え、総合力の向上を図る。																
	(2)成人となったことでより多くの情報を受信・理解する必要性が生じていることを認識させるとともに、情報の授業や学年としての情報モラル教育を通してインターネットやSNS等との適切な付き合い方を自ら考え、卒業後も適切な使い方ができることを目指す。ご家庭の協力も不可欠であるため、保護者への情報提供も併せて行う。																
	項目3	③「学校教育環境整備と質向上に向けて」															
目標		(1)保護者の方々への情報発信について、対面のガイダンスやオンラインツールを併用し、密な情報共有を行うことで、ご家庭と学校が両輪となって生徒の成長を支える体制を構築する。															
		(2)進路ガイダンスの細分化・充実化を図る。															
達成方法	(1)予定されているガイダンスのみならず、学年通信の発行やmanabaでの配信の頻度をあげることで密な情報共有を行う。また、進路指導通信や学習・進路に関するオンライン動画を定期的に配信する。																
	(2)学年全体、選抜方式ごと、志望分野ごと、などガイダンスを細分化し、進路主幹・学年・担任などの発信方法を工夫する。また、校内のみならず、校外プログラムや講師講演を導入し、進路指導の充実化を図る。																
		項目1		項目2		項目3											
		重要度	達成度	重要度	達成度	重要度	達成度										
部署コード/平均		4.00	3.33	3.67	2.92	3.75	3.75										
1		4	3	3	2	3	4										
2		4	3	4	4	4	4										
3		4	3	4	3	3	3										
4		4	3	3	2	4	4										
5		4	3	4	4	4	4										
6		4	4	4	4	4	4										
7		4	3	4	3	4	4										
8		4	4	4	2	4	4										
9		4	4	3	3	4	4										
10		4	3	4	2	3	3										
11		4	3	3	2	4	3										
12		4	4	4	4	4	4										
<取組状況・次年度への課題など>																	
①について																	
感染状況の変化によって実施できなかった試みもあるが、学年の先生方の協力もあり、学年全体で行う予定であった進路・学習指導を一通り実施することができた。生徒たちは大学入試に向けて主体的に且つ能動的に学習していたが、学びに対する自主性の養成については十分ではなかったと考える。また、多くの先生方に受験指導をお手伝い頂くことができたが、学年の情報を学校全体に共有することが十分にはできておらず、学校全体の支援体制を構築できていたとは言い難い。																	
②について																	
重要度が比較的低かったことについては、学年内で十分に重要性を共有できていなかったと反省している。また、(1)については進路ガイダンスや学年通信を通してたびたび指導してきたが、(2)については進路決定者への指導のみとなってしまうために達成度が低くなっていると考えられる。実施した指導については有効なものであったので、年間を通して、指導内容を細分化しながら小出しに指導をするべきであった。																	
③について																	
manabaへの情報発信は常に心がけたが、閲覧して頂く機会が決して多くはなく、昨年度同様、発信をチェックして頂く仕掛けが不足していた。また、校外プログラムや講師講演は実施することができたが、進路指導の発信については学年主任が自らの発信に手一杯になってしまい、関係各署との連携や役割分担が不十分であった。																	

令和4(2022)年度 学校経営計画 各部署重点目標と達成方法

		国語科 2022年度重点目標																
重要度 [4]大変に重要 [3]やや重要 [2]あまり重要でない [1]重要でない 達成度 [4]75～100% (ほぼ達成した) [3]50～74% (まあまあ達成した) [2]25～49% (あまり達成できなかった) [1]0～24% (ほとんど達成できていない)	項目1	目標	① 各学年または到達段階に応じた国語の力を生徒に身につけさせる。 ・漢字テストや単語テスト、文法テストなどの小テストを定期的実践する。また、読書や副教材、プリント等を用いた課題(宿題)を理解度に応じて提供し、活用することで、家庭学習においても自発的に国語の学習に取り組めるようにする。 ・中学段階では「総合」の時間や、読書指導、古典作品(百人一首)の暗唱などの活動を通じて文章や言葉に常に関心を持たせていく。高校段階では、小論文指導を通して文章の表現力を身につける。 ・中学段階から国語に対する関心興味を持ち、論理的に物事を考え、理解するための言葉や文章を身につけ、基礎力の充実を図る。高校段階では、現代文を通して現代のさまざまな問題に対して多角的な見方や考え方がることを知り、広い視野のもと、物事を考えられるようにするとともに、自分の考えを筋道立てて表現できるようにする。 ・古典を通じて歴史や文化の特色を理解するとともに、文法や句法の分析を通じて読解を深め、問題を解決できる力を養成する。															
		達成方法	・授業では、音読の機会、発問の機会、発表や発信の機会をできるだけ多く増やし、受け身ではなく主体的に授業に参加させていく。 ・多種多様な文章を多く取り上げて扱うことで、読解力や表現力の基本となる多くの語彙やさまざまなものの考え方や感じ方に触れさせ、習得させていく。 ・妻中サクセス(学習の身体化・高速化)と、「スタディサプリ」などの自習教材アプリを活用し、能動的な学習を習慣化させる。 ・特に中学では学年内の他教科と連携して、課題量を生徒の負担になりすぎないよう勘案し、生徒が取り組みやすい環境をつくる。															
			目標	② 生徒が積極的に国語の学習に取り組める授業を実践する。 ・授業では、音読の機会、発問の機会、発表や発信の機会をできるだけ多く増やし、受け身ではなく主体的に授業に参加させていく。 ・多種多様な文章を多く取り上げて扱うことで、読解力や表現力の基本となる多くの語彙やさまざまなものの考え方や感じ方に触れさせ、習得させていく。														
			達成方法	・妻中サクセス(学習の身体化・高速化)と、「スタディサプリ」などの自習教材アプリを活用し、能動的な学習を習慣化させる。 ・特に中学では学年内の他教科と連携して、課題量を生徒の負担になりすぎないよう勘案し、生徒が取り組みやすい環境をつくる。														
	項目3	目標	③ タブレットや電子黒板を用いて、音声教材、映像教材を取り入れた五感を刺激する授業を実践する。 ・教員間で密に連携しながら、授業研究を深める。授業見学なども積極的に行う。本文掲載や板書補助、映像や音声資料を自宅学習生徒にはzoom、Youtube、manaba、loiloで、対面学習生徒には電子黒板で積極的に活用する。タブレットの活用により、意見、発言のアウトプットを促す。															
		達成方法	・教員間で密に連携しながら、授業研究を深める。授業見学なども積極的に行う。本文掲載や板書補助、映像や音声資料を自宅学習生徒にはzoom、Youtube、manaba、loiloで、対面学習生徒には電子黒板で積極的に活用する。タブレットの活用により、意見、発言のアウトプットを促す。															
	項目4	目標	④ 生徒の進路実現のために、個別に親身になって生徒に対応する。 ・定期考査や小テストにおいて成績が伸び悩んでいる生徒には放課後や長期休業中に課題や補習を課して伸長をはかるとともに、生徒のニーズに応じ、授業や放課後講習などで積極的に演習(入試問題演習)を実践して、能力を伸ばしていく。															
		達成方法	・定期考査や小テストにおいて成績が伸び悩んでいる生徒には放課後や長期休業中に課題や補習を課して伸長をはかるとともに、生徒のニーズに応じ、授業や放課後講習などで積極的に演習(入試問題演習)を実践して、能力を伸ばしていく。															
			項目1		項目2		項目3		項目4									
			重要度	達成度	重要度	達成度	重要度	達成度	重要度	達成度								
部署コード/平均		3.90	3.20	3.70	2.70	3.10	3.00	3.50	3.10									
1		4	2	3	1	4	2	2	1									
2		4	3	3	2	2	4	3	3									
3		4	3	3	3	3	3	3	3									
4		4	2	4	2	2	2	3	2									
5		4	4	4	3	3	3	4	3									
6		4	4	4	4	4	3	4	4									
7		3	4	4	4	3	4	4	4									
8		4	3	4	3	3	4	4	3									
9		4	4	4	3	3	3	4	4									
10		4	3	4	2	4	2	4	4									
＜取組状況・次年度への課題など＞																		
目標項目1・3・4については、おおよその達成ができた。 項目2については、まだ達成域に届いていない。 自主的に学習に向かう姿勢が身に付いている生徒もいる一方、取り組みが遅く学習の優先順序を理解できずに、立ち往生している生徒中にもいる。 授業研究を重ね、情報を教科内で共有し、スピードを保ちつつも、生徒が理解しやすい授業を目指していきたい。																		

重要度 [4]大変に重要 [3]やや重要 [2]あまり重要でない [1]重要でない 達成度 [4]75～100% (ほぼ達成した) [3]50～74% (まあまあ達成した) [2]25～49% (あまり達成できなかった) [1]0～24% (ほとんど達成できていない)	地歴公民科 2022年度重点目標																		
	項目1	目標	探究型授業の実践とそのノウハウの蓄積・共有																
		達成方法	探究型授業を通じて身に着ける力を教科内で設定し、その教科全体での方向性を共有する。																
			学年・科目を問わず参加型授業を実施し、生徒が主体的に取り組むシステムを構築する。																
			教科内で実施した参加型授業の取り組みやその成果について随時共有し、教科全体での向上を図る。																
	項目2	目標	新カリキュラムにおける実践・研究																
		達成方法	今年度より新たに始まる科目の取り組みやその成果について、教科内で共有する。																
			来年度以降に始まる科目について、円滑に開始できるよう準備をすすめる。																
			新たな科目による入試問題の対策、学習方法を検討する。																
	項目3	目標	教科内における評価の整合性を確立するためのルーブリックの作成																
達成方法		社会科として身に着けたい力を達成できる「達成のためのルーブリック」を作成する。																	
		各科目でルーブリックに基づいた論述問題を出题し、教科内で共有する。																	
		項目1		項目2		項目3													
		重要度	達成度	重要度	達成度	重要度	達成度												
部署コード/平均		3.63	2.50	3.75	2.50	3.63	2.13												
1		3	2	4	3	3	1												
2		4	2	4	2	4	2												
3		4	3	3	2	4	3												
4		4	3	4	3	4	2												
5		3	2	4	2	3	2												
6		4	2	4	3	3	2												
7		4	3	4	3	4	3												
8		3	3	3	2	4	2												
9																			
＜取組状況・次年度への課題など＞																			
全体的に重要度は高く出ているものの、達成度は低い状態が続いている。 しかし、現時点でカリキュラムが過渡期であることに加え、一朝一夕で達成できるものではないことを鑑みると、これらの達成にはまだ時間が必要であると考えられる。 来年度からはより上記の3項目においては積極的に取り組む予定であるので、進展が出せるように取り組んでいく。																			

		数学科 2022年度重点目標																	
重要度 [4]大変に重要 [3]やや重要 [2]あまり重要でない [1]重要でない 達成度 [4]75～100% (ほぼ達成した) [3]50～74% (まあまあ達成した) [2]25～49% (あまり達成できなかった) [1]0～24% (ほとんど達成できていない)	項目1	目標	授業の質の向上																
		達成方法	①反転授業により演習量を増やすと共に、生徒の主体的かつ協働的な活動を促す。																
			②研究授業による振り返りを行う。また積極的な授業見学を行い、意見交換をし、科としてのスキルアップを図る。																
	項目2	目標	ICTの活用の推進																
		達成方法	①タブレットを使った授業の実践。スタディサプリを用いて予習など自学自習を促したり、自分の作った解答を交換し合い、自らの学習姿勢を整える。																
			②ロイロノートやZoomを活用し、自宅からの質問にも対応し、自宅学習のサポートを行う。																
			③模試や、大学入試問題の解説をビデオに撮り、インターネット上でいつでも自学自習できる環境を整える。																
	項目3	目標	基礎学力の定着および応用力・探究力の育成																
		達成方法	①MMTや小テスト等のこまめな実施。合格点を設け、合格するまで丁寧指導していく。																
			②外部模試を検証し、弱点を随時把握し、講習等を用いて補強していく。																
			③参考書や模試や定期考査などを講習に活用し、「テスト→振り返り→類題」などさまざまな方法で応用力育成を目指す。																
			④自らテーマを決め、答えのない課題に対して周囲を納得へと導く「納得解」を探究しアウトプットできる力を養う。																
			⑤中学3年生、高校1年生は数学検定を全員受検。他学年においても推奨していく。																
	項目4	目標	変わりゆく大学入試への適切な対応																
		達成方法	①大学の入試問題を解き、教科で研究し情報共有する。また、その入試問題の特徴をシートにまとめ、生徒へ情報還元する。																
			②全教員で各定期テストを研究し、変わりゆく大学入試に適しているかどうかなど、質の向上を行う。																
			③研修などに参加し、教科で情報共有する。																
		項目1	項目2	項目3	項目4														
		重要度	達成度	重要度	達成度	重要度	達成度	重要度	達成度										
部署コード/平均		3.69	2.92	3.69	3.00	3.62	3.15	3.77	3.15										
1		3	3	3	3	3	4	3	3										
2		3	2	3	2	3	2	4	3										
3		4	2	3	2	3	2	4	2										
4		4	3	4	4	4	4	3	3										
5		4	3	4	3	4	2	4	3										
6		4	3	4	3	4	3	4	3										
7		4	3	4	3	4	3	4	3										
8		4	4	4	3	3	4	4	4										
9		3	2	3	2	4	3	3	3										
10		4	4	4	4	4	4	4	3										
11		3	2	4	3	3	3	4	4										
12		4	4	4	3	4	3	4	4										
13		4	3	4	4	4	4	4	3										
＜取組状況・次年度への課題など＞																			
概ね、重要性が高く数学科として共通認識ができている。あとは、達成するためにどのように取り組むかである。 項目3,4に関しては、達成度も高く充実した結果となった。 項目1,2に関しては、まだまだ達成度が低い。特に項目1をどのように達成していくのか。研究授業は実施できたが、各自個人的にも授業見学などを行い、更なる研究授業発展へと繋げていく。そして研究授業後に振り返りを行い、各個人の授業に還元していく。大学入試問題については、各自解き個人のスキルアップには繋がっているが、その情報の教科内共有や生徒への還元がうまく機能していない。入試問題シートのマイナーチェンジや問題解説動画の作成、またそれらの生徒への発信方法などmanabaなどをうまく使って行っていく。																			

		理科 2022年度重点目標															
重要度 [4]大変に重要 [3]やや重要 [2]あまり重要でない [1]重要でない 達成度 [4]75～100% (ほぼ達成した) [3]50～74% (まあまあ達成した) [2]25～49% (あまり達成できなかった) [1]0～24% (ほとんど達成できていない)	項目1	目標	①生徒が理科に興味関心を抱き、主体的に学習するような授業を計画し、基礎学力の定着および成績向上をはかる。														
			②高校の生徒が大学受験に対応できるような環境を整える。														
		達成方法	①授業中は、生徒が主体的に学習活動を行えるように、実験や実習を多く取り入れる。														
			実験や観察が困難な単元では、講義型の授業だけにならないように、書く・考える・話し合うなどの活動を多く取り入れる。														
			授業内に小テストや振り返りを行うことにより、生徒自身が知識の定着を図れるような授業展開をする。														
			②知識の定着とともに、問題演習を行うことにより、より発展的な知識理解ができるような授業展開および考查を実施する。														
			科目ごとにロイロで質問箱を作成し、全教員が高3生徒の質問に対応できるようにする。														
	項目2	目標	高2の研究論文を中心に、探究的な活動を計画・実践する。														
		達成方法	①学年や科目の実態に合わせ、自ら課題を探究する活動を取り入れ、活動内容を教員間で共有する。														
			②高2の研究論文は、教科の全教員で添削を行い、大学での学びにつながる探究心を刺激する。														
	項目3	目標	学年・クラス・コースごとに目的をもった教科指導を行う。														
		達成方法	①高校3年生は、受験生指導として幅広い成績層の中で志望校別・レベル別に対応する。														
			②高校2年生は、3年生から受験演習にスムーズに入れるように基礎学力の定着を図り、演習問題への着手を目指す。														
			③高校1年生以下は、興味・関心を引き出すため、実験や視覚に訴える授業展開を意識する。また、基礎基本の定着を、問題演習や小テストを通して徹底する。														
			項目1		項目2		項目3										
		重要度	達成度	重要度	達成度	重要度	達成度										
部署コード/平均		3.86	3.14	3.14	2.57	3.57	3.14										
1		4	4	3	2	3	3										
2		4	3	3	3	4	3										
3		4	3	4	3	3	3										
4		3	2	3	2	4	3										
5		4	3	2	2	4	3										
6		4	3	3	2	3	3										
7		4	4	4	4	4	4										
<取組状況・次年度への課題など> 項目1：実験も予定どおりできるようになり、学年によって興味・関心を引き出す工夫はできていたと思う。一方で、基礎学力が不十分な学年・科目が見られ、どのように身につけさせるべきか、今後に向けて検討や工夫が必要と言える。 項目2：高2の研究論文を教科としてスタートさせたが、まだ手探り状態で、到着点が不明瞭であった。全体としてのゴールを明確にし、指導方針を確立させる必要性を感じる。他学年の取り組みについても、引き続き工夫や共有をしていくべきである。 項目3：それぞれの学年・科目で工夫はできていると思うが、現状維持ともいえ、教員個々の力量任せな部分も感じる。次年度新しい教員を迎えたときに、新たな工夫を取り入れ共有していくことで、全体のレベルアップをはかりたい。																	

		保健体育科 2022年度重点目標															
重要度 [4]大変に重要 [3]やや重要 [2]あまり重要でない [1]重要でない 達成度 [4]75～100% (ほぼ達成した) [3]50～74% (まあまあ達成した) [2]25～49% (あまり達成できなかった) [1]0～24% (ほとんど達成できていない)	項目1	目標	実技授業のオンライン対応														
		達成方法	視聴しやすいカメラ位置など、生徒の意見を聞きながら、改善して生徒の不安要素を取り除く。														
			年間を通じて、不足している動画を作成する。														
	項目2	目標	探究型授業をより意識した授業を実施														
		達成方法	高校保健の授業に於いて、既習事項を深め・発展させるとともに学んだことや調べたことを発表する機会を設ける。														
			授業では、メモを取ることを意識させ、そこから主体的な学びにつながるように促していく。														
	項目3	目標	安全管理・感染症対策の徹底														
		達成方法	密にならない授業展開を工夫するだけでなく、環境に応じた水分補給や授業後の手洗いの徹底など、安全対策を強化する。														
		項目1	項目2		項目3												
		重要度	達成度	重要度	達成度	重要度	達成度										
部署コード/平均		3.20	2.80	3.80	3.40	4.00	3.60										
1		3	3	4	3	4	2										
2		3	3	4	3	4	4										
3		3	2	4	4	4	4										
4		3	4	4	3	4	4										
5		4	2	3	4	4	4										

<取組状況・次年度への課題など>
 ①オンライン授業に関しては、予想していたZoom授業が実施されず、対面授業が主になりオンライン授業対応の必要がほぼなかったため、対面授業への対応を優先した。そのため、達成度は低くなったが、急な補講などの時に対応できる教材を増やすことができた。
 ②探究型授業に関しては、高校保健での探究学習の発表、実技授業での教え合い(学び合い)の時間を増やすなど、自ら学ぶ取り組みを意識して授業展開した。
 ③安全管理に関しては、特に「感染症対策:手指消毒や授業後の手洗い」と、「熱中症対策:休憩時間を作り、こまめに水分補給、運動量の調整、室内温度管理」を重点的に指導することができた。
 来年度への課題として、授業アンケートで数値の低かった。①チャイム開始・終了の徹底②授業の振り返り(意識付け)③発表の機会を増やす 3点の改善に取り組む

		芸術科 2022年度重点目標																	
重要度 [4]大変に重要 [3]やや重要 [2]あまり重要でない [1]重要でない 達成度 [4]75～100% (ほぼ達成した) [3]50～74% (まあまあ達成した) [2]25～49% (あまり達成できなかった) [1]0～24% (ほとんど達成できていない)	項目1	目標	①より丁寧な対面教育を心掛け、生活習慣の基礎を身に付け、生徒本人の主体的な取り組みを促す。																
			②芸術活動方法、技能の解説をタブレットなどのICTを使い、より深くわかりやすい授業を展開していく。																
		達成方法	①生徒間・生徒教員間の自由な意見交換を促すと共に、主体的な芸術の構築に努め、より高いレベルの演奏・作品を目指す。																
			②授業の内容に応じてタブレットなどのICTを使って、課題の理解を深めさせる。																
	項目2	目標	芸術活動を通じて、目標に向かって諦めずに努力する姿勢を養い、達成感を通して豊かな心を養う。																
			①挨拶、姿勢、授業態度に留意し、芸術に取り組む基本的な心構えを習得させる。																
		達成方法	②音楽・美術・書道それぞれの科目の中で課題に真摯に取り組む、目標に向かって最後まで諦めずに努力する姿勢を養う。																
			③高い目標を設定し、目標を達成するために仲間と協力し、その過程で生じる様々な問題を自ら解決していく力を育てる。																
	項目3	目標	芸術が人々の生活にどのような効果をもたらしているかを探究し、生涯にわたって芸術を愛好する心情を育てる。																
			芸術のすばらしさと力強さを考え、芸術が自分と周囲の人々の心を豊かにすると共に、生きる力を与えることができることを実例を集めて考えさせる。																
		項目1	項目2		項目3														
		重要度	達成度	重要度	達成度	重要度	達成度												
部署コード/平均		3.67	3.33	4.00	3.67	3.67	3.00												
1		4	4	4	4	4	3												
2		4	3	4	4	4	3												
3		3	3	4	3	3	3												
<取組状況・次年度への課題など> 科目により実施内容に大きな違いはあるものの、それぞれの教員間で達成目標の重要度は共有できていると思われる。 おおむね達成度は高いが、項目3に関しては、全員が達成度3と、自分の生活の中で芸術を活かし愛好していくことにまで繋げて考えていけるように指導していくことの難しさを感じる。 今後も引き続き指導方法の検討を重ねていきたい。																			

外国語科 2022年度重点目標			
重要度 [4] 大いに重要 [3] やや重要 [2] あまり重要でない [1] 重要でない 達成度 [4] 75～100% (ほぼ達成した) [3] 50～74% (まあまあ達成した) [2] 25～49% (あまり達成できなかった) [1] 0～24% (ほとんど達成できていない)	項目1	目 標	①言葉の技能に焦点を当てた授業の充実を目指す。また、授業を通じて生徒の探究的な姿勢を育成する。
			②英語やフランス語などの外国語を積極的に使ってコミュニケーションをはかるスキルとマインドセットを養う。
			③外国語学習のあらゆる要素が最終的に言葉の持つ機能の習得に繋がるということを常に生徒と共に確認する。
		達成方法	①生徒による外国語での多様な言語活動を授業に取り入れる。
			②中学生はオンライン英会話を家庭で積極的に行うことで、英語での実践的な会話を養う。高校生はエッセイライティングや担当教員とのスピーキングによるコミュニケーションを促進する。
			③アクティブラーニングを意識し、ロイロノート等のツールを必要に応じて活用しながら生徒の能動的な授業参加を促す。
			④グループワークや英語プレゼンテーションなどの活動を授業に取り入れる。
			⑤プレゼンテーションコンテストの指導等を通して、生徒が自分の意見を英語で効果的に発表し、英語でのやりとりをできるようにする。
			⑥授業の中で探究的学習の要素(調べ、発表し、深める)を可能な限り取り入れる。
	項目2	目 標	①所属学年問わず、目標の進路にふさわしい外国語の技能向上を推進する。
			②進路実現に向け、生徒の英検・TEAP・IELTS・仏検・DELF等の4技能スコアのバランスよい向上を図る。
		達成方法	①ICTを活用する。教科書本文の解説、英文法や英語構文の分析・解説をビジュアル的にわかりやすく行う。
			②中学生はNew Treasureのアプリ、高校生はスタディサブリを活用し自宅学習時間を確保する。
			③知識・技能の習得と、表現力の習熟を両輪とし、4技能を総合したタスクに取り組む。
			④早朝・放課後・長期休業の補習を積極的に開講する。大学受験に向けた検定対応に教科全体で取り組む。
	項目3	目 標	①カリキュラム内容を精査・整理し、6カ年を通じた指導内容や指導方法について必要に応じて改善を行う。
			②教科内の活動や授業方法について、常に改善・改革の視点を持ち点検を続ける。役割分担に基づき業務を遂行する。
			③第二外国語としてのフランス語を含め、多言語教育の普及を促進する。
		達成方法	①NES教員と日本人教員の協力を進め、コミュニケーションを密にする。
			②互いの授業をカジュアルな形で参観し、意見交換する。
			③他教科の教員と連携を深める。
			④海外提携校との連携を深める。留学帰国生徒や編入生徒を積極的に支援する。
			⑤フランス語に加え、他の外国語についても生徒に学習機会を提供し、その学習を支援する。

		項目1		項目2		項目3												
		重要度	達成度	重要度	達成度	重要度	達成度											
部署コード/平均		3.88	3.19	3.88	3.31	3.88	3.13											
1		4	3	3	2	3	2											
2		4	3	4	3	4	3											
3		3	2	4	3	3	2											
4		4	4	4	4	4	3											
5		4	4	4	3	4	3											
6		4	3	4	3	4	2											
7		4	4	4	3	4	3											
8		4	2	4	3	4	3											
9		3	3	3	3	4	4											
10		4	3	4	3	4	3											
11		4	3	4	4	4	4											
12		4	3	4	4	4	4											
13		4	3	4	4	4	3											
14		4	3	4	4	4	3											
15		4	4	4	4	4	4											
16		4	4	4	3	4	4											
<取組状況・次年度への課題など> 各項目の重要度が軒並み3.8を超えていることから、現在教科が向かっている方向性についてはその重要性を理解した上で一致して取り組んでいる状況だと言える。達成度は3～4を中心として2が散見される状況で、即ち各項目の達成に向けてそれぞれの教員が試行錯誤を重ねている段階であると見ることができる。今後は各個人の進捗状況を必要に応じて教科内共有しながら、引き続きその達成に向けて研鑽を重ねていくことが必要であり、迷いなく現在の取り組みを継続することが重要であると言える。																		

重要度 [4] 大いに重要 [3] やや重要 [2] あまり重要でない [1] 重要でない 達成度 [4] 75～100% (ほぼ達成した) [3] 50～74% (まあまあ達成した) [2] 25～49% (あまり達成できなかった) [1] 0～24% (ほとんど達成できていない)		家庭科 2022年度重点目標															
		項目1	目標	さまざまな人々と協働し、よりよい社会を構築するため、生活の課題解決を生徒自らが実践していき、地域社会に参画できるように導く授業を展開できるようにする。													
			達成方法	各自の生活に応じた方法を探究できるように、基礎的・基本的な知識や実技をしっかり定着させる。													
				振り返りとしても活用できるように、実習が取り組みやすいような動画等の作成に取り組む。													
		項目2	目標	社会生活の中で、知識だけでなく生活力も兼ね備えた人物に育てる													
			達成方法	学習の中で、自ら生活環境を整えることの大切さを知り、心身ともに健康が維持できるよう多くの実践の場を持たせる。													
				学力は、知識のみでなく実践を伴ってこそ生かされることを、日々の生活の中で自ら気づき、理解できるように指導する。													
		項目3	目標	「目標に向かって最後まで諦めず努力する姿勢」を培える場面を多様に配置する。													
			達成方法	実習・課題、検定等を通して、成功体験を重ね、最後まで諦めず努力し、やり遂げたときの達成感を体感させ、自らの行動に自信と誇りを持つことができるようにする。													
		項目1	項目2	項目3													
		重要度	達成度	重要度	達成度	重要度	達成度										
部署コード/平均		4.00	3.33	4.00	3.00	3.67	2.67										
1		4	3	4	3	4	3										
2		4	4	4	4	4	3										
3		4	3	4	2	3	2										

<取組状況・次年度への課題など>
 項目1・2においては、概ね取り組みが来ている。来年度も、基礎基本の定着に重点を置いていきたい。その方法の1つとして、動画教材の製作などは、今後も続けていきたい。動画教材は、制作には時間と手間を要し大変であるが、実習がまだ学校で通常通りに実施できないことや、もしもオンライン授業となった時に、実習を実施したのと同等の対応ができるようにするためや、生徒が家庭で復習しやすいようにするためにも大変役に立つものである。
 項目3においては、最後まで取り組ませたいが、生徒の行動が遅く、一段と時間が足りなくなってきた。
 家庭での課題にするのは、各家庭のマシンやオープンなどの設備の保有の有無などの事情により実施が困難な場合があることや、他教科の課題との兼ね合いを考えると、あまり実施は適当でない。そのため今後はさらに座学の内容の検討をしていかなければならない。

		情報科 2022年度重点目標																
重要度 [4] 大変に重要 [3] やや重要 [2] あまり重要でない [1] 重要でない 達成度 [4] 75～100% (ほぼ達成した) [3] 50～74% (まあまあ達成した) [2] 25～49% (あまり達成できなかった) [1] 0～24% (ほとんど達成できていない)	項目1	目標	ICTを活用する授業の実践															
		達成方法	・既存のロイノート・スクールやmanaba、Google Workspace(旧G Suite)などのクラウドシステムを活用した授業を検討・実践する。															
			・情報活用委員会と連携し、システムトラブルやアプリケーションのアップデートに対応しつつ、授業を円滑にすすめられるよう校内のICT環境の整備に努める。															
			・動画や検定の活用など、休校等になった場合をふまえ、オンライン授業へのシームレスな移行を念頭に置いた授業展開を行う。															
	項目2	目標	生徒が積極的に参加する授業の実践															
		達成方法	・オフィスソフトについて、基本的な操作方法の習得だけでなく、実践的に活用できるように、演習を中心にして、生徒が自ら学び考えて効率の良い操作方法を身につけるように促す。															
			・ICTの知識習得だけでなく、問題意識を持ち主体的に考えて行動できるようにする。															
			・オンラインの共有ツールを活用し、さまざまな活動に活かす。															
	項目3	目標	社会の変化や最新のICT技術に対応する															
		達成方法	・最新のICT技術の動向を常に注視し、外部研修会や展示会等に積極的に参加し教員間での情報共有に努める。それらを授業に還元できるよう努める。															
・外部資格試験やCBTを効果的に取り入れる。																		
		項目1		項目2		項目3												
		重要度	達成度	重要度	達成度	重要度	達成度											
部署コード/平均		3.00	3.00	4.00	3.00	3.00	3.00											
1		3	3	4	3	3	3											
2																		
<取組状況・次年度への課題など>																		
項目1: 今年度は、オンライン授業対応がほぼない状態で、年間を通して通常の授業を実施することとなり、コロナ禍でのオンライン対応をうまく活用し、通常授業の中に効果的に取り入れていく方法を探る1年となった。昨年度から導入した高校生対象のGoogleアカウントの活用は、他のツールとの使い分け等含め、次年度も継続して検証していきたい。																		
項目2: オンラインツールは積極的に活用することができたが、生徒の主体性を引き出すという点においては、まだ改善の余地があるように感じた。機器やツールの操作に頼りきらない主体性の引き出し方を引き続き検証していきたい。																		
項目3: 外部資格試験(P検・プログラミング能力試験など)については、授業や課外での効果的な活用を行った。大学入学共通テストについては、少しずつ情報が公表されてきているので、引き続き情報収集を行ってきたい。																		

令和4(2022)年度 学校経営計画 各部署重点目標と達成方法

		教務部 2022年度重点目標															
重要度 [4]大変に重要 [3]やや重要 [2]あまり重要でない [1]重要でない 達成度 [4]75～100% (ほぼ達成した) [3]50～74% (まあまあ達成した) [2]25～49% (あまり達成できなかった) [1]0～24% (ほとんど達成できていない)	項目1	目標	これまでのオンライン授業・対面授業を振り返り、授業・考査・評価に関して検討を進める。														
		達成方法	①オンライン授業により考査が中止になるケースにおいて評価方法を工夫した経験をもとに、評価のあり方について検討をしながら、生徒の評価のあり方を整理する。また、評価のフィードバック方法を検討する中で、通知表の内容についても検討する。														
			②定期考査に関するルールを整理するとともに、大学入試に求められる力の変化に対応できるような考査のあり方を検討、実施する。														
	項目2	目標	現在の本校の状況に対応できるよう、教務規定の見直しを進める。														
		達成方法	①令和3年度は、COVID-19対応の中で出席・欠課、考査、オンライン授業の扱いについて対応を進めた。今後また対応が必要な場合に備え、オンライン授業におけるこれらの扱いについて整理を図る。														
	項目3	目標	新学習指導要領に伴う評価システムをはじめとする教務システムへの対応を進める。														
		達成方法	①本年度から高校1年生に適用される新学習指導要領において、高校生でも観点別学習評価が開始となる。教科主任と連携を取りながら、観点別学習評価の付け方および処理方法について対応を進める。														
			②教務システムの整理を進めながら、問題点や疑問点を整理し、教員がスムーズに成績処理を進められるよう対応を進める。														
			項目1		項目2		項目3										
		重要度	達成度	重要度	達成度	重要度	達成度										
部署コード/平均		3.69	3.08	3.69	2.69	3.69	2.92										
1		3	3	3	2	4	2										
2		3	4	3	2	3	3										
3		4	3	4	3	3	3										
4		4	3	4	3	4	3										
5		4	2	4	2	4	2										
6		4	4	4	3	3	3										
7		4	3	4	3	3	4										
8		4	3	4	2	4	3										
9		3	3	4	3	4	3										
10		4	3	4	3	4	3										
11		3	3	3	3	4	3										
12		4	3	4	3	4	3										
13		4	3	3	3	4	3										
＜取組状況・次年度への課題など＞																	
項目1: 追試や追認定試験のあり方に関して、本年度は教務部の提案のもとで教科・学年でも検討を進め、令和5年度から一部変更して進めることとなった。それに伴い、次年度以降も引き続き評価のあり方を考えるとともに、学力向上・内的調整能力向上という観点からも考査を始めとする様々な評価材料について調整を進めていく。また、2学期から開始された通知表受領書のオンライン化についても引き続き運営をしていく。																	
項目2: 留学に関する内容は学年と調整した上で整理を行い、規定部分についてまとめることができた。実際の担任の運用についてまだ検討すべき内容が残っているので、引き続き取り組みを進めていく。教務規定の整理が途中段階なので、早急に進めたい。																	
項目3: 高校生の観点別学習評価は年度末に作業することになるので、その状況を踏まえて検討を進めていきたい。																	

令和4(2022)年度 学校経営計画 各部署重点目標と達成方法

重要度 [4]大変に重要 [3]やや重要 [2]あまり重要でない [1]重要でない 達成度 [4]75～100% (ほぼ達成した) [3]50～74% (まあまあ達成した) [2]25～49% (あまり達成できなかった) [1]0～24% (ほとんど達成できていない)	進路部 2022年度重点目標(学力向上に向けて)																	
	項目1	目標	生徒が自ら学ぶ授業及び探究的な活動を意識した授業の実践															
		達成方法	妻中サクセスの身体化をすべての教育活動で図る。															
			タブレットや電子黒板などのICT機器の有効利用を図り、学び合いの機会を設ける。反転学習を実践し研究する。															
			授業の6要素「ねらい、メモ、反応、発表、質問、振り返り」の学習姿勢を身体化し、思考を伴う能動的な活動ができる授業を実践する。															
	項目2	目標	生徒の進路意識改革															
		達成方法	建学の精神や校訓を身体化し、学ぶ意味をすべての教育活動で考えさせる。															
			生徒及び保護者を対象とした進路ガイダンスを計画的に実施する。															
			各種検定試験の積極受検を奨励する。															
	項目3	目標	中学における学習内容の基礎基本事項の定着															
		達成方法	MMT(Monday Morning Test)を継続して実施し、成績不良者への指導を徹底する。															
			基礎基本事項を精選し、その定着に教科担当者だけでなく学年団全体で取り組む。															
	項目4	目標	大学受験への支援態勢															
		達成方法	平常日の放課後及び長期休業中に実施する受験対策講座を充実させる。															
			大学入試に対応した講習を充実させる。															
	項目5	目標	教師の受験指導力アップ															
		達成方法	各種研究会や研修に参加して、最新情報を収集する。															
			大学入試問題の解き合いと、検討会を実施する。															
		項目1		項目2		項目3		項目4		項目5								
		重要度	達成度	重要度	達成度	重要度	達成度	重要度	達成度	重要度	達成度							
部署コード/平均		3.58	3.08	3.50	3.08	3.33	2.83	3.67	3.33	3.75	3.17							
1		3	3	3	3	3	2	3	3	4	4							
2		3	3	3	3	3	3	3	3	3	4							
3		3	2	3	2	2	2	3	3	3	2							
4		4	3	3	3	3	3	4	3	4	2							
5		4	4	4	4	4	4	4	4	4	4							
6		4	3	4	3	4	3	4	3	4	3							
7		4	3	4	4	4	4	4	4	4	3							
8		4	3	4	4	4	3	4	4	4	4							
9		4	3	4	3	4	4	4	3	4	3							
10		4	3	4	3	3	2	4	4	4	4							
11		3	3	3	2	3	2	3	2	3	2							
12		3	4	3	3	3	2	4	4	4	3							
<取組状況・次年度への課題など>																		
項目3については、来年度から見直しを行い、MMTの枠は残すものの、内容については学年裁量とし、使い勝手を良くする改革を行う。																		
項目5については、達成度の平均値は低くないが、他の項目に比べて分散が大きい。アンケートを回答した教員によって、達成度の個人差が大きい結果だと考えられる。																		
進路部の目標としては、来年度もこの5つの項目を中心に考えていきたい。																		

令和4(2022)年度 学校経営計画 各部署重点目標と達成方法

重要度 [4]大変に重要 [3]やや重要 [2]あまり重要でない [1]重要でない 達成度 [4]75～100% (ほぼ達成した) [3]50～74% (まあまあ達成した) [2]25～49% (あまり達成できなかった) [1]10～24% (ほとんど達成できていない)	生徒部 2022年度重点目標(生きる力育成に向けて)																	
	項目1	目標	グローバル社会へ対応できる力を涵養する															
		達成方法	①学校生活のあらゆる場面で、異文化や多様性を理解し、共存できる人間性を養う															
			②多量の情報が充溢する社会において、適格な判断力、行動力を養うために、探究的学びを深め、自分で考える力と習慣を身につけるよう指導する															
	項目2	目標	校訓「恥を知れ」を生活指導の基本的理念とし、正しい生活習慣を定着させる															
		達成方法	①登下校の現場指導・HR・各種集会等を通じ、挨拶・マナー・モラル並びにルールを遵守することの意義と重要性を理解させ、習慣化する															
			②自己肯定感を高め、自主的に好ましい生活習慣を身に付け、自ら進んで学ぶ姿勢を定着させる															
	項目3	目標	豊かな人間性を養い、周りから共感を得られる人間関係を構築できる人に成長させる															
		達成方法	①道徳・LHR・集会などあらゆる機会を利用し、「思いやり」「寛容」の心をもつ、心豊かな生徒を育てる															
			②教科の学習だけでは得られない多様な学びの場として「部活動」を位置づけ、生活全般の中でバランスのとれた体制の下での活動に努める															
	項目4	目標	困難・逆境に強い意思をもって立ち向かい、対応できる精神力・ストレス耐性を養う															
		達成方法	①新型コロナ禍での体験などを事例として、様々な困難・逆境に強い意思をもって対応できる精神力を身につけさせる															
			②学園祭・合唱コンクール・生徒会活動等を通じて、他者との「協調」「連帯」「共感」が好ましい人間関係の構築を可能にし、そのことが生きる力となることを理解させ、実践させる															
		項目1	項目2		項目3		項目4											
		重要度	達成度	重要度	達成度	重要度	達成度	重要度	達成度									
部署コード/平均		3.80	3.07	3.93	3.20	3.80	3.20	3.80	3.07									
1		4	3	4	3	4	3	4	2									
2		3	3	4	3	3	3	3	3									
3		4	3	4	3	4	3	3	3									
4		3	3	4	3	3	3	4	3									
5		4	3	4	3	4	4	4	4									
6		4	3	4	4	3	4	4	3									
7		4	3	4	3	4	3	4	3									
8		4	4	4	4	4	4	4	3									
9		4	3	4	3	4	3	4	3									
10		4	4	4	4	4	4	4	4									
11		4	3	4	3	4	3	4	3									
12		4	3	4	4	4	3	4	3									
13		4	3	4	2	4	3	4	3									
14		3	2	3	2	4	2	3	2									
15		4	3	4	4	4	3	4	4									
＜取組状況・次年度への課題など＞																		
(項目1)文化祭のテーマをグローバル社会を意識して設定するとともに、学校の各行事において実行委員会が企画・立案・設置するなど、極力生徒の自主性を尊重した運営に努めた。																		
(項目2)最も重要な項目として位置づけ、人として自らを省み、恥ずかしくない思考・行動をするよう機会あるごとに指導。また家庭とも連携し、生徒の自己肯定感を高めるよう尽力。相対的に高い達成度と評価する。																		
(項目3)とくに、好ましい友人関係の確立に重点を置いた指導を実施。また、部活もコロナ感染防止に留意しつつ、正常に近い活動を展開し、多様な学びの場として活用。																		
(項目4)いろいろな期間をとらえて困難や逆境にくじけない強い精神力を養うことの重要性を指導。また、各種学校行事、生徒会活動などにおいて、他者を意識し、共感できることの大切さを強調した指導を実施。																		

令和4(2022)年度 学校経営計画 各部署重点目標と達成方法

重要度 [4]大変に重要 [3]やや重要 [2]あまり重要でない [1]重要でない 達成度 [4]75～100% (ほぼ達成した) [3]50～74% (まあまあ達成した) [2]25～49% (あまり達成できなかった) [1]0～24% (ほとんど達成できていない)	入試広報部 2022年度重点目標																	
	項目1	目標	本校の実践・取り組みを広く、正確に外部に伝える。															
		達成方法	COVID-19に柔軟に対応しつつ、オンサイト・オンラインを併用したイベントを運営していく。															
			教員全員による塾訪問を継続し、訪問のタイミングで伝えるべき内容を明確にする。															
			生徒からAdmission Staffを募集し、生徒の良さを直接知ってもらう機会を作る															
			合同相談会等で、学校案内だけでなく学校の様子をより具体的に伝えるリーフレットを作成、配布する。															
	項目2	目標	Webサイト、ネットを利用した情報発信を効果的に使い、より多くの受験生とその保護者に学校を知ってもらう。															
		達成方法	ホームページの情報updateを定期的かつ細やかに行う。															
			ホームページ「妻中だより」を通じて、学校の取り組みを知ってもらう機会を増やす。															
			WEBサイトやアプリ等のネット媒体を使った広報ツールを活用する。															
		項目3	目標	海外帰国生およびGLC生の受験者増、入学者増を目指す。														
	達成方法		COVID-19の影響を考慮し、海外在留中の受験者を対象としたオンライン入試を実施する。															
			GLCのブランド化とともに、英語学習歴がある国内小学生に対する広報戦略を進める。															
			国外の広報活動において、海外塾とのネットワークをより一層、有効に活用する。															
	項目4		目標	中学入試について柔軟に対応しつつ、定員確保を継続する。														
		達成方法	アドミッション・ポリシーと募集要項の遵守を第一に、必要に応じてCOVID-19への対応を盛り込んだ入試運営を行う。															
入試に関して、受験生に不安を与えないような情報発信をし、受験生の確保に努める。																		
		項目1		項目2		項目3		項目4										
		重要度	達成度	重要度	達成度	重要度	達成度	重要度	達成度									
部署コード/平均		3.64	3.36	3.73	2.82	3.64	2.82	3.73	3.45									
1		3	3	3	2	3	2	3	3									
2		4	2	4	2	3	1	4	3									
3		3	3	4	3	3	3	4	3									
4		4	3	4	3	4	3	4	4									
5		4	3	4	3	4	3	4	4									
6		4	4	3	4	4	3	4	3									
7		4	4	4	3	4	3	4	3									
8		4	4	4	3	4	4	3	4									
9		3	4	3	3	3	2	4	4									
10		4	4	4	3	4	4	4	4									
11		3	3	4	2	4	3	3	3									
<取組状況・次年度への課題など>																		
項目1、4については一定の達成がなされたと判断できる。学校説明会関連では、前年度比15%増の参加者を得ることができた。また、学校案内も前年度より約2000部多く配布した計算になる。																		
入試においては、コロナ対応も含め本校の入試運営について直前にオンライン説明会の形で情報発信をするなどの対応を行い、前年度比18%増の応募となった。一方で項目2、3については校内での達成評価が低い結果となった。実際には、HPのアップデートや情報発信は前年度以上に多く、またタイミングを見て行ったので、認知されるまで浸透させることができなかったことに原因があると考ええる。なお、項目3については海外広報の再開をはじめ、説明会への参加者も多く好調であり、実際に海外帰国生入試の総受験者数は過去最多となった。受験者層も総じて上がってきており、特に英語の資格試験の取得レベルが高い受験生が目立った。ただし、結果として入学者増までには結びつけることができなかった。																		

令和4(2022)年度 学校経営計画 各部署重点目標と達成方法

		グローバル・センター 2022年度重点目標 Global Center - The Goals to achieve for 2021																
重要度 [4]大変に重要 [3]やや重要 [2]あまり重要でない [1]重要でない 達成度 [4]75～100% (ほぼ達成した) [3]50～74% (まあまあ達成した) [2]25～49% (あまり達成できなかった) [1]0～24% (ほとんど達成できていない)	項目1	G o a l s	地球市民性を培い、異文化間能力、共生のためのコンピテンシーの体得を目指し、カリキュラム内外での教育活動(授業と課外プロジェクトなど)のより一層の充実を図る。 To further enhance our educational activities (classes in curriculum and extracurricular projects) for global context to cultivate students' global citizenship and acquire intercultural competence and mindset for coexistence in global diversity.															
			S t r a t e g y	ユネスコ・スクール+SGHネットワーク校として、国内外の様々な機関、学校、大学と協働し、様々なプログラム、コンテストに生徒と一緒に取り組む。具体的には、Model UN, HLAB, Henda, WISH, TEDx, SGH Forum などのプログラムの情報提供や参加、企画、実施を進め、その進行状況を校務運営会議を始め、TEAMSなどで、報告、共有する。参加生徒のフィードバックも共有して、成果物とする。 外国語科、地歴公民社会科などを中心に教科との連携を進め、プログラムへ参加する生徒と一緒にファシリテイトしていく。特に、GLCの外国語教育、GIS、フロンティアプロジェクトを更に充実させ、生徒によるfeedback、学んだことの言語化をはかり、成果を目に見える形にして、より一層の共有を進める。 As a UNESCO School + SGH Network School, work with students on various programs and contests in collaboration with various domestic and international organizations, schools, and universities, including Model UN, HLAB, HENda, WISH, TEDx, SGH Forum, etc. We encourage students to participate in these various programs, and share their achievements via TEAMS, etc with all. To promote collaboration with the foreign language department, the social studies department, and to encourage students to participate in programs together. In particular, we will further enhance GLC's foreign language education, GIS, and Frontier Project Team. Along with that, their achievement and feedback by students will be promoted to make their achievements visible and shared even more.														
		G o a l s		生徒のグローバル・キャリア実現のために、日本の大学受験やカリキュラムが欧米型にシフトしていくことを踏まえ、留学や国内外の大学への受験サポートをより一層、進めていく。 In order to help students realize global careers, we will provide more support for studying abroad and applying to universities in Japan and abroad, in light of the shift in Japanese university entrance examinations and curricula toward a Western approach.														
				S t r a t e g y	海外大学やSGUに進学した卒業生を積極的に活用し、その経験を在校生に共有できるようにする。また、英語ネイティブ教員との協働による様々な国際プログラム企画、参加指導、国内大学(English Track)、海外大進学ガイダンスや相談、留学相談などをonlineと対面のハイブリッドで行う。また、IELTS、TOFEL等のサポートもグローバルチューターを活用し、さらに進めていく。 「トビタテ! 留学JAPAN」、「HLAB」、「アメリカ大使館」、「ブリティッシュ・カウンシル」、「オーストラリア各州政府」、「フランス大使館」、「コリブリ」などと連携し、それぞれの留学や進学プログラムへのチャレンジをさらに積極的に生徒に薦め、そのための説明会、報告会などをonlineで積極的に実施していく。 Actively utilize alumni to share their experiences with current students. In addition, to collaborate with native English faculty to plan various international programs, and offer guidance and counseling for students who wish to study at domestic and foreign universities as well as study abroad counseling. Additionally, support for IELTS, TOFEL, etc. will be further promoted through the use of global tutors. By collaboration with Tobitate! Study Abroad JAPAN", "HLAB", "American Embassy", "British Council", "Australian State Governments", "French Embassy", "Colibri", etc., we will actively encourage students to take on the challenge of studying abroad and entering higher education programs, and will hold briefing sessions and debriefing sessions for these programs online.													
	項目2	G o a l s	本校のGLCや20年に及ぶ帰国生教育をさらに内外にアピールし、広報活動に繋がるような取り組みをグローバルセンターの教職員の特性を活かして進めていく。 Efforts will be made to further promote our GLC and 20 years of returnee education both inside and outside the school, and to utilize the characteristics of the Global Center faculty and staff to promote public relations activities.															
			S t r a t e g y		編入試験での面接対応や帰国小学生英語講座などをより一層充実させ、北米、ヨーロッパ、アジアと世界規模で本校の取り組みとその成果を普及させる。その際、日本人教員だけではなく、様々な国籍を持つ教職員の特性をより活かせるようにする。 大妻女子大学、及び同国際センター、英語教育研究所、玉川大学教育学部ユネスコクラブ、日本国際連合協会、文科省グローバル化に対応した外国語教育推進事業研究校(慶應義塾大学、早稲田大学、大東文化大学など)との連携をより一層進め、その成果を校内外に発信する。 To further enhance our efforts and results on a global scale in North America, Europe, and Asia by providing interview support for transfer exams and English classes for returning elementary school students. In doing so, we will make the best use of not only Japanese teachers but also teachers and staff of various nationalities. To Further promote collaboration with Otsuma Women's University, its International Center, the Institute for English Education, the UNESCO Club of Tamagawa University's Faculty of Education, the United Nations Association of Japan, MEXT and some faculty of Keio University, Waseda University, Daito Bunka University, we will disseminate its benefits both inside and outside the school.													
		項目1		項目2		項目3												
					重要度	達成度	重要度	達成度	重要度	達成度								
	部署コード/平均		3.88	3.75	3.88	3.38	3.88	3.50										
	1		3	3	3	2	3	2										
	2		4	3	4	3	4	3										
	3		4	4	4	4	4	4										
4		4	4	4	4	4	4											
5		4	4	4	4	4	4											
6		4	4	4	3	4	4											
7		4	4	4	3	4	3											
8		4	4	4	4	4	4											

令和4(2022)年度 学校経営計画 各部署重点目標と達成方法

<取組状況・次年度への課題など>

1. 項目1について。2022年度、SGHネットワーク校として2年目の活動。今年も様々な校外プログラムに生徒が挑戦し、その成果を振り返りレポートでフィードバックして、全体へのシェアを進めることができた。立命館宇治中高の高校生全国サミットFOCUS、APU国際学生ディスカッション、立命館宇治模擬国連、渋谷教育学園渋谷SOLA、文部科学省WWL・SGH高校生全国フォーラム、イギリス、University College London Japan Youth Challenge など、多数のチャレンジを行った。その中では、上智大学 John Nissel Cup や 関西学院大学、青山学院大学のチャーターロフイーなどのプログラムで、全国決勝に出場することができた。また、これらのチャレンジが、上級生から下級生へ、生徒同士でその成果や実績の継承がなされつつある。ユネスコ・スクール活動では、玉川大学と協働して、第3回ユネスコ・スクール関東大会で、中高大が連携して地球規模の課題について、ディスカッションを進め、大会で披露することができた。また、中野区とも連携し、区長を本校に招いて、地域の課題と解決を生徒と一緒にディスカッションをするタウンミーティングも行った。Beyond School へ取り組む生徒もさらに増え、その成果の報告や共有もなされるようになった。次年度も継続して進める。

2. 項目2について。タム留学、年間留学について、コロナ前の世界8か国での留学実施を実現することができたのは、大きな成果である。また、新トビタテ！留学JAPANでは、26名の生徒が、新しい留学の枠組みである「探究留学」にチャレンジすることができたのは素晴らしい実績である。また、留学から帰国した生徒たち、卒業生が、自主的にその成果を継続的に普及させる動きが活発になったことが大きな変化と進歩である。今後の留学ガイダンスは、留学経験生徒や卒業生を中心に、留学相談的な形で実施していきたい。また、海外大学進学は、チャレンジ生徒が3名とコロナ禍の中で思うように増えていない。ただ、文科省の学位取得型海外大学奨学金、柳井財団の海外大学進学奨学金、Grew Bancroft奨学金など、量産型の海外大奨学金プログラムへチャレンジする生徒が出てきたのは大きな進歩と考えている。大学進学時の留学相談なども増えており、生徒のレベルの向上、留学を自分の将来のキャリアに役立てていこうという意識が高まっている。オンラインでの大学進学ガイダンスをこまめに実施をして、多様性のある進学をサポートしていきたい。

3. 項目3の本校のこれまで様々な取り組みを一層進め、帰国生生徒募集、GLC生徒募集に繋げる目標については、第9回グローバル教育発表会のオンライン配信の継続や帰国小学生講座の周知、大妻女子大学英語教育研究所所長、服部孝彦教授との連携(12年目、のべ198回の実施)をさらに進めた。留学経験生徒、帰国生、編入生の大学受験では大きな実績を上げることができた。帰国生入試受験者数も過去最高となったが、美人学者数が少なく、GLC全体の新入生が少なくなっていることが課題で、喫緊に対応していきたい。

令和4(2022)年度

授業アンケート結果

2022 授業アンケート 教科別分析

アンケートは授業担当者ごとに回答
受験を控える高校3年生は実施していません

回答方法と評価値

- タブレットを利用して授業中に実施(12月上旬)
- 5段階回答
 - 5=そう思う
 - 4=ややそう思う
 - 3=普通
 - 2=あまりそう思わない
 - 1=そう思わない
- 評価値 = (5の% × 2) + (4の%)
– (2の%) – (1の% × 2)

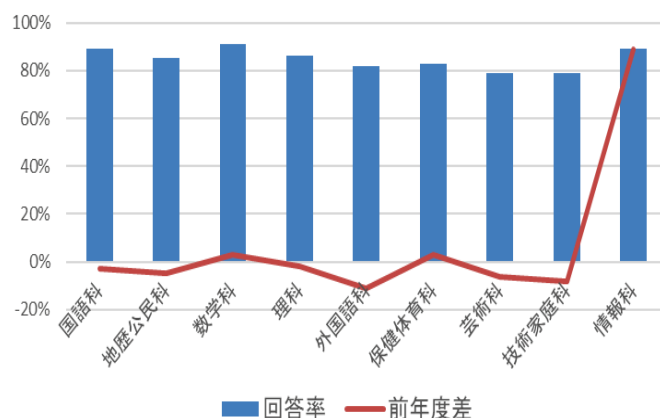
値が100を超えたり、マイナスとなることも
-200 ≤ 評価値 ≤ 200

Q1

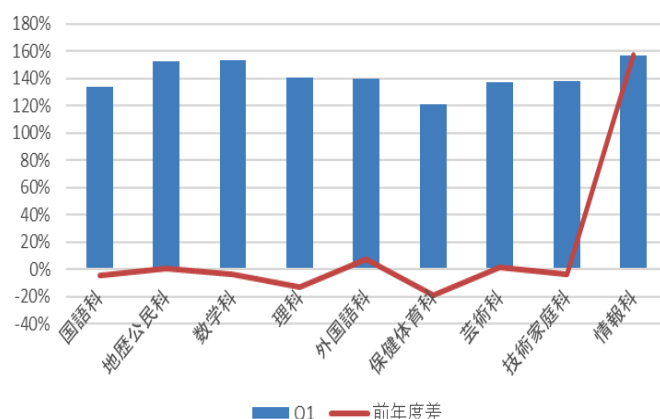
時間を守ることはとても大切なことです。

先生はチャイムと同時に授業をスタートし、チャイムと同時に授業を終えるようにしていますか。

回答率



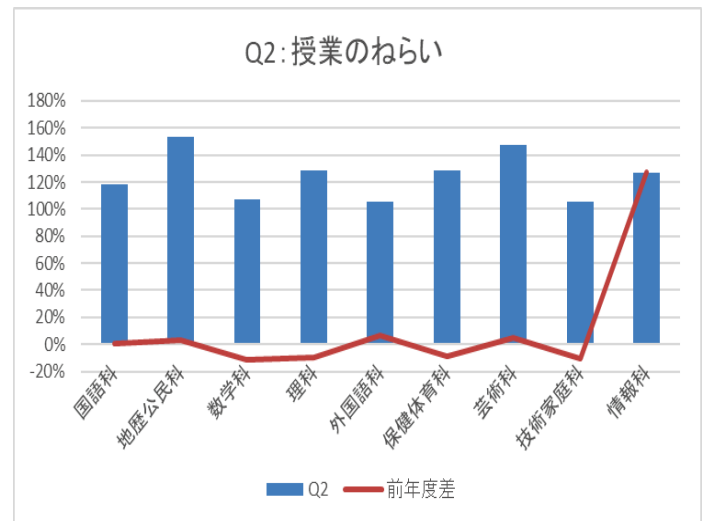
Q1:チャイムスタート



Q2

大切な授業で何を学ぶのかを明らかにすることは重要です。

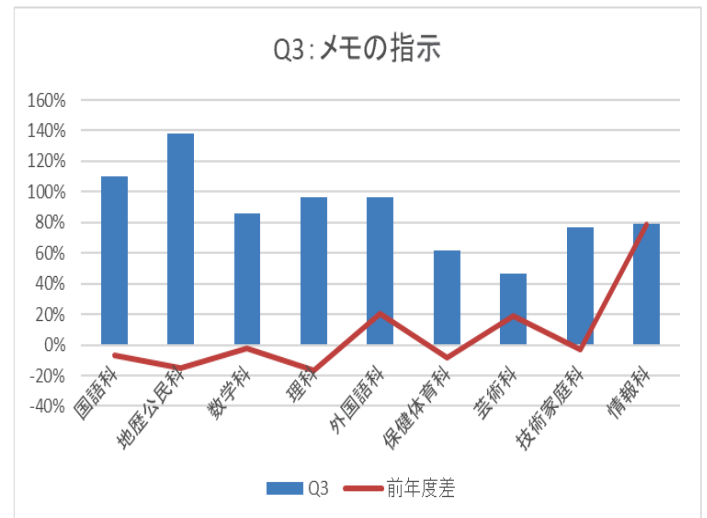
先生は毎時間の授業の目標である「ねらい」をはっきりと伝えていますか。



Q3

情報にあふれた社会の中で必要な情報をもぎとるには、日頃からたくさんメモをとり、重要事項を感じ取る訓練が大切です。

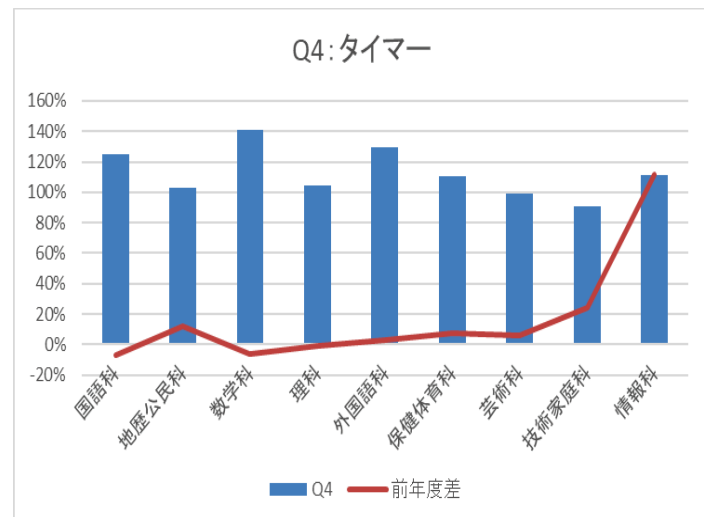
先生は授業中に板書以外のこともメモを取るように指示していますか。



Q4

脳を高速回転させる習慣を身につけることが集中力を養うことにつながります。

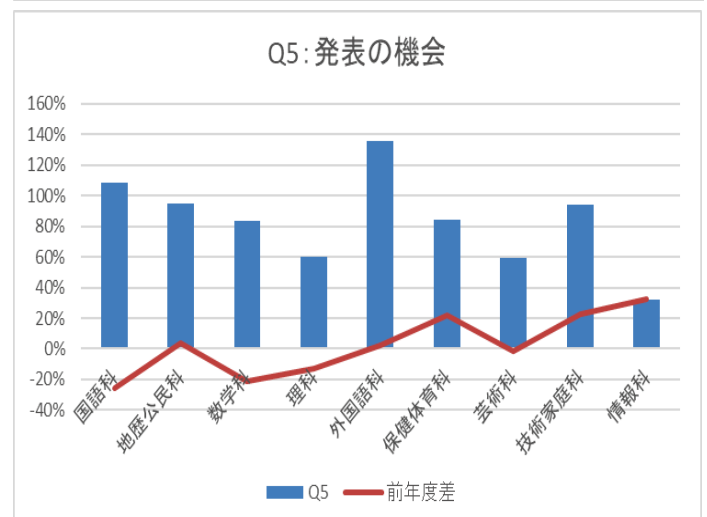
先生は授業中にタイマーなどで時間制限をもうけるなど、素早く行動するように指示していますか。



Q5

他者の意見を聞くことは、自分勝手になりがちな考えを改められるとともに、視野を広げられるよい機会です。また、自分の意見を述べることは思考力や表現力が鍛えられます。

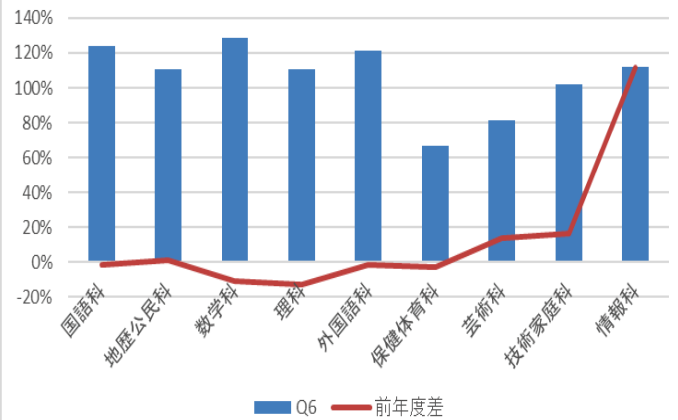
先生は授業中生徒に発言する機会を与えていますか。



Q6

ただ知識を丸暗記しているだけでは、これからの人工知能社会で生き残ることはできません。これからの社会では持っている知識や技能を活かせる思考力や的確な判断力が必要です。先生は授業中にじっくりと考えさせる質問及び時間を設けていますか。

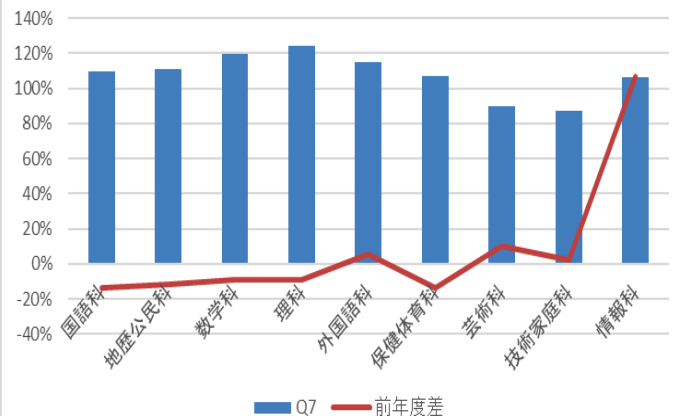
Q6: 思考力質問



Q7

何事も復習することは大切です。先生は授業で学習した基本事項を振り返る時間をときどき設け、学習内容が定着しているかどうかの確認をしていますか。

Q7: 振り返り

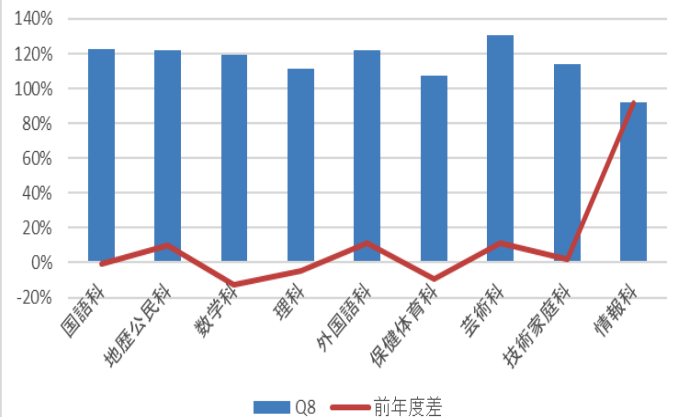


Q8

授業中のおしゃべりは、まじめに勉強したい生徒のやる気や学習権利を奪う行為です。

先生は授業中に授業とは関係ないおしゃべりをしている生徒を注意していますか。

Q8: 私語注意

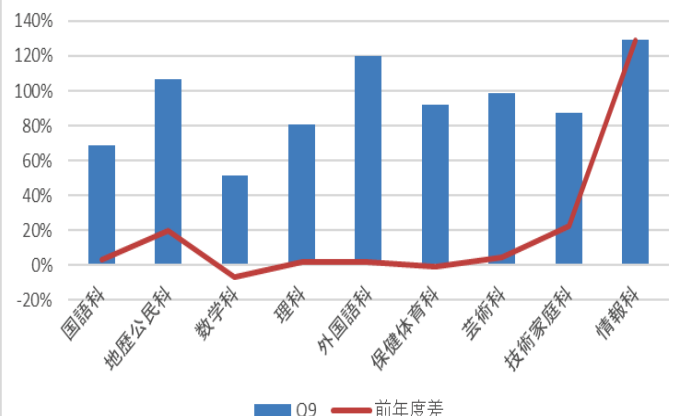


Q9

先生の話を一方向的に聞くより、お互いに教え合ったり、意見交換するなどのグループ学習が学習内容の定着によいことがわかっています。

先生の授業には実験や実習などのグループで活動する授業が一部でも取り入れられていますか。

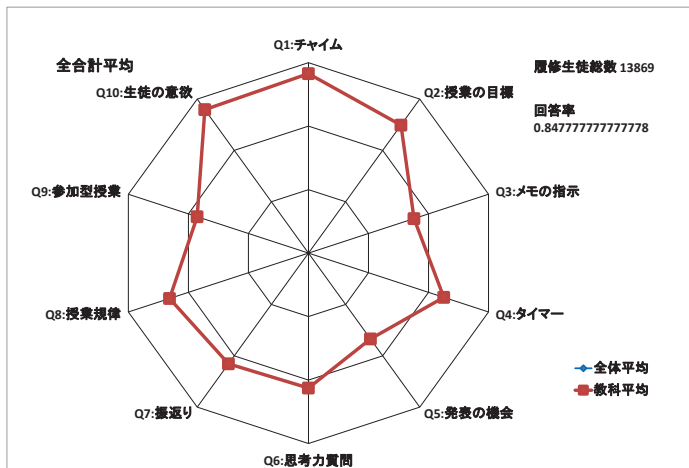
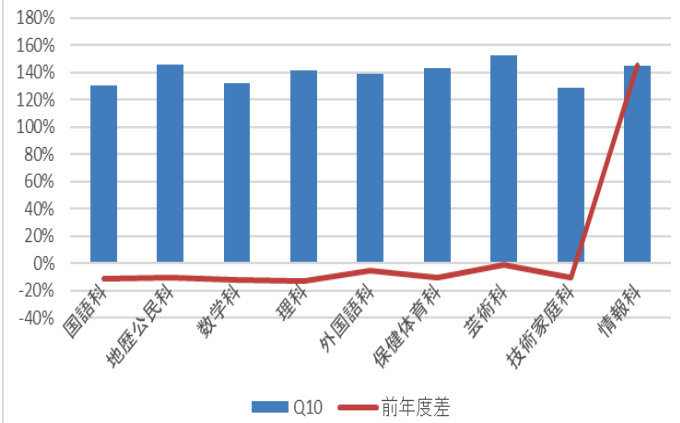
Q9: 参加型



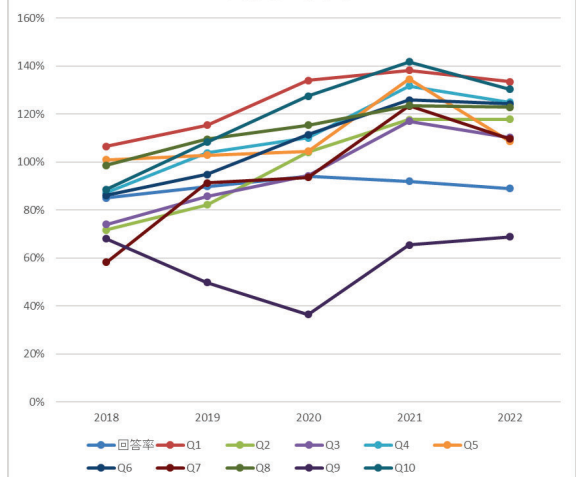
Q10

最後の項目は、あなた自身の自己評価です。やる気を持って授業を受けることが一番大切なことです。あなたはこの授業をやる気を持って受けていますか。

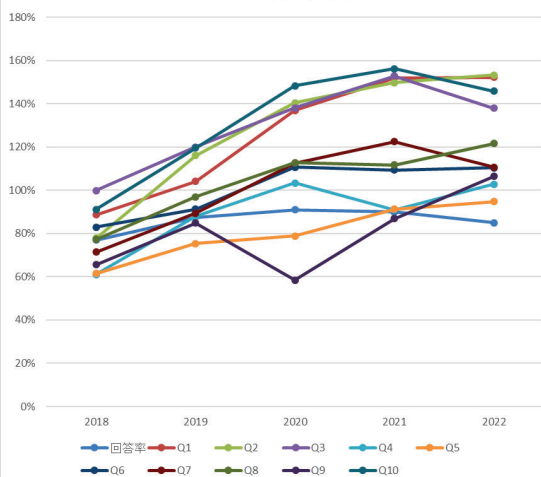
Q10: 本人のやる気



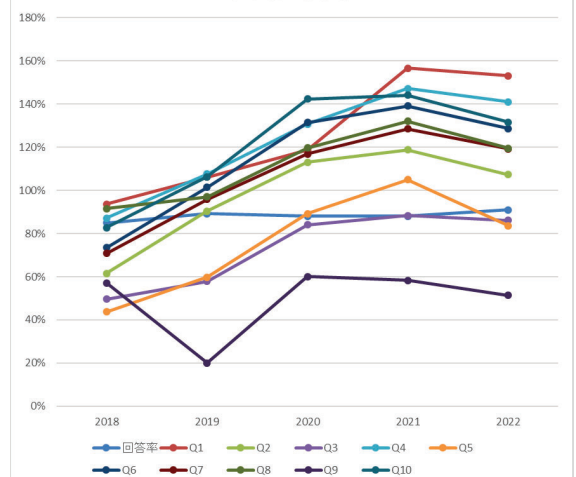
国語科全体推移



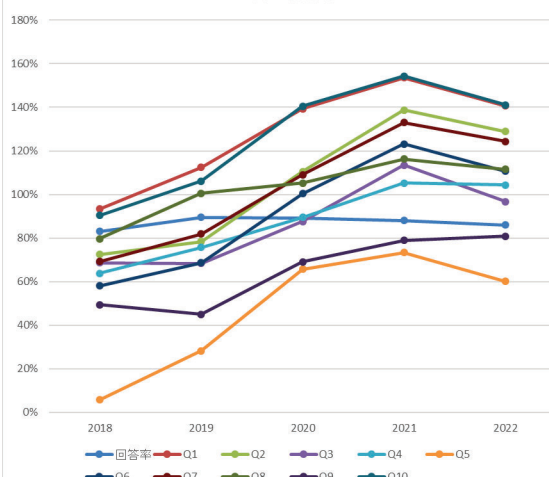
地歴公民科全体推移



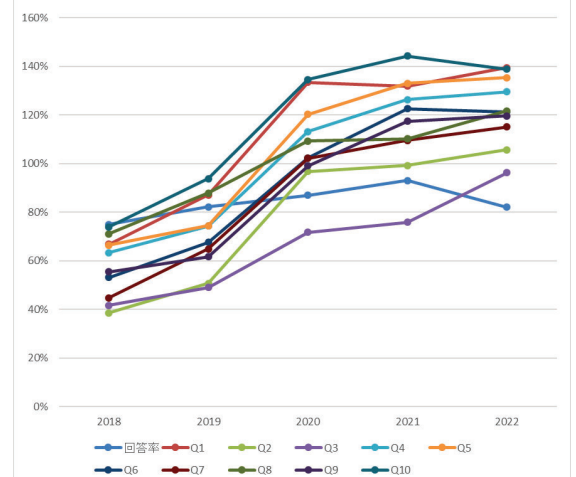
数学科全体推移

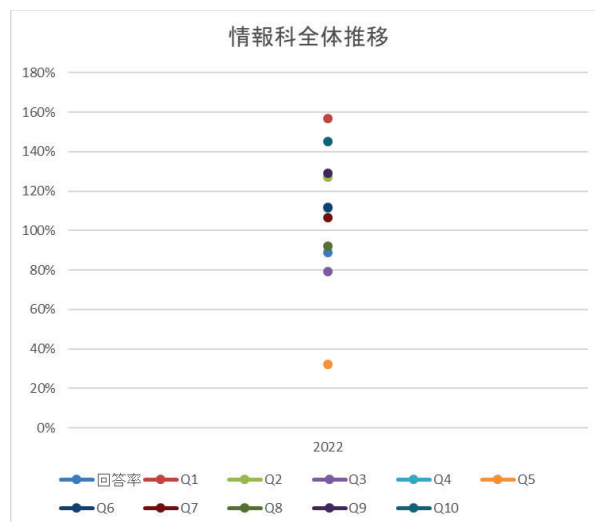
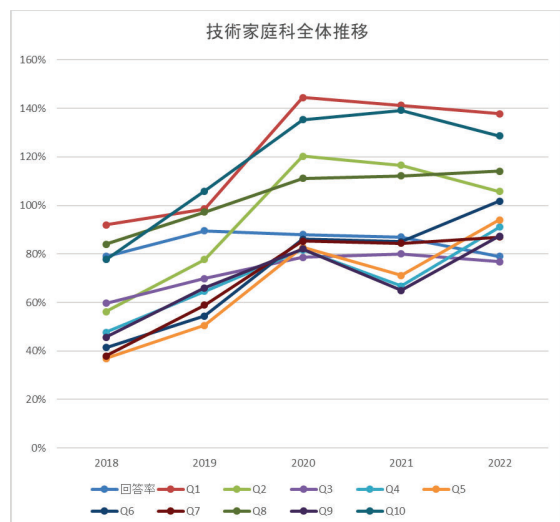
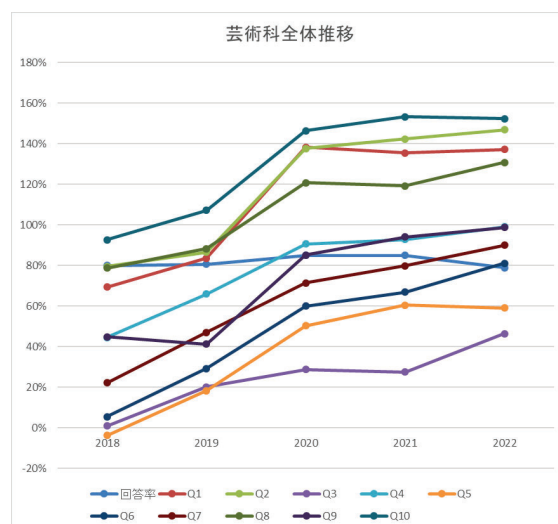
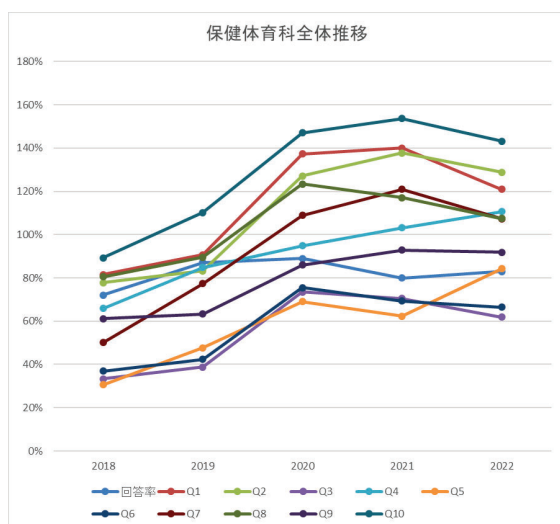


理科全体推移



外国語科全体推移





学校の教育活動の中心である授業の改善のため、今後も継続して授業アンケートを実施し、教員一丸となって授業力向上に取り組んでまいります。

「よりよい学校づくりのために」
令和4年度 学校評価アンケート
(中1保護者による5段階評価)

*1 下記数字の5段階表記以外は%を示す。
*2 優先度指数＝(重要度平均評価)－(達成度平均評価)

学年	中1	中2	中3	高1	高2	中1～高2 合計	高3
在籍数(留学除く)	243	221	255	192	219	1130	199
回答数	181	163	169	124	98	735	75
回答率(%)	74.5	73.8	66.3	64.6	44.7	65.0	37.7

★「重要度」の評価 ★「達成度」の評価		重要度					重要度 平均 評価	達成度					達成度 平均 評価	優先度 指数 (※2)
[5]…大変重要 [4]…やや重要 [3]…普通 [2]…あまり重要でない [1]…重要でない [5]…ほぼ達成 [4]…おおそ達成 [3]…普通 [2]…あまり達成していない [1]…ほとんど達成していない		重 要 ←	普 通	→ 非重要				達 成 ←	普 通	→ 未達成				
項目	教育方針と大妻中野生について	5	4	3	2	1		5	4	3	2	1		
1	学校の年間達成目標を策定し、学校経営計画として毎年5月保護者に配付し、HPに公開し、その達成のために全職員で取り組み、検証・改善を行うこと	56.4	33.7	9.4	0.0	0.6	4.45	11.6	43.6	40.9	3.3	0.6	3.82	0.83
3	生徒・保護者に冊子「保護者シラバス(はばたき)」「学習シラバス」「わかば」「よりよい学校生活のために」を作成し指導すること、保護者との連携を深めること	47.0	37.6	13.8	1.1	0.6	4.29	11.6	39.2	44.2	3.9	1.1	3.56	0.73
5	大妻コタカ先生の教え(校訓「恥を知れ」)に基づく教育を行うこと	32.6	39.8	22.7	5.0	0.0	4.00	6.6	36.5	50.3	6.1	0.6	3.43	0.57
7	「自分の子供が大妻中野に入学してよかった」と思うこと	76.2	19.3	3.3	1.1	0.0	4.71	21.1	42.2	26.1	9.4	1.1	3.73	0.98
9	生徒がクラブ活動や文化祭・体育祭などの学校行事に楽しく参加し、積極的に活動すること	75.1	23.2	1.7	0.0	0.0	4.73	33.1	41.4	21.5	3.9	0.0	4.04	0.70
項目	生徒指導について	5	4	3	2	1		5	4	3	2	1		
11	学校が「いじめ」に対して厳しく対応すること、生徒が毎日楽しい学校生活を送ること	92.8	6.6	0.6	0.0	0.0	4.92	27.6	37.6	27.1	7.2	0.6	3.85	1.08
13	生徒が学校の校則を守り、交通ルールなど社会のきまりを守ること	63.5	30.9	5.0	0.6	0.0	4.57	28.7	40.9	25.4	5.0	0.0	3.93	0.64
15	模教育の一環として清掃指導が行われ、校舎内がいつも綺麗であること	72.4	23.8	3.9	0.0	0.0	4.69	44.8	39.8	13.8	1.1	0.6	4.27	0.41
17	生徒が他人(ひと)に対して尊重する言動ができること	89.5	9.9	0.6	0.0	0.0	4.89	17.1	37.0	33.7	11.6	0.6	3.59	1.30
19	生徒が礼儀正しく、目上の人を敬うこと	73.3	22.8	3.9	0.0	0.0	4.69	14.9	42.5	36.5	6.1	0.0	3.66	1.03
21	先生が親身になって、生徒の相談に応じること	82.3	16.6	1.1	0.0	0.0	4.81	24.3	33.1	33.7	8.8	0.0	3.73	1.08
23	先生が生徒に対して同じ基準で、平等に注意や指導をすること	76.2	15.5	7.7	0.6	0.0	4.67	18.8	37.6	34.3	8.3	1.1	3.85	1.03
項目	進路指導について	5	4	3	2	1		5	4	3	2	1		
25	生徒が進路を考える上で役立つ進路ガイダンスや進路に関する行事を行うこと	80.1	17.1	2.8	0.0	0.0	4.77	15.6	37.2	40.0	5.0	2.2	3.59	1.18
27	生徒が自分の将来の夢や目標を実現するために積極的に学習すること	86.2	12.2	1.7	0.0	0.0	4.85	7.2	28.2	45.9	16.0	2.8	3.21	1.64
29	生徒が家族の人と将来(進路)についてしっかり話し合うこと	76.8	20.4	2.8	0.0	0.0	4.74	7.7	21.5	42.5	23.2	5.0	3.04	1.70
31	学校は、大学受験対応のカリキュラムや補習・講習などの進学指導体制を整えること	79.6	17.1	3.3	0.0	0.0	4.76	11.6	29.3	49.7	7.7	1.7	3.41	1.35
項目	学習指導について	5	4	3	2	1		5	4	3	2	1		
33	毎日の授業について、生徒が興味や喜びを感じて、取り組むこと	79.6	19.3	1.1	0.0	0.0	4.78	10.5	32.0	42.5	13.3	1.7	3.36	1.42
35	学校が授業時数を十分に確保していること	64.1	28.2	7.7	0.0	0.0	4.56	27.6	41.4	26.5	4.4	0.0	3.92	0.64
37	生徒が家庭で自主的に学習をする習慣が身に付くこと	87.3	11.0	1.7	0.0	0.0	4.86	10.5	31.5	28.2	22.7	7.2	3.15	1.70
39	先生が教科指導に熱心であること、質問に対して丁寧に対応すること	80.6	17.8	1.7	0.0	0.0	4.79	18.2	39.8	37.0	5.0	0.0	3.71	1.08
41	学校がコース別のクラス編成を行うこと	25.4	50.8	19.9	3.9	0.0	3.98	16.0	36.5	42.5	4.4	0.6	3.83	0.35
43	学習の評価が、考査・単元テスト・実習・作品・レポート・発表など多角的な評価資料に基づき、総合的かつ公平に「目標到達度」として、10点法で数値化されること	46.4	38.7	13.8	1.1	0.0	4.30	23.2	41.4	33.1	2.2	0.0	3.86	0.45
45	学校が考査・科目説明・履修と修得・進級と卒業などに関する説明が充実すること	63.5	28.2	8.3	0.0	0.0	4.55	17.7	38.7	38.1	4.4	1.1	3.87	0.88

自由記述欄

・アンケートの質問内容をもう少し回答しやすいようにお願いします。達成のために取り組んだ内容を項目別に記載していただいた方が、保護者も学校の対応内容をまとめて把握する機会となるのではないですか。 ・保護者会の案内などもマナバで連絡いただければ幸いです。 ・年間行事予定表もマナバに掲載していただけると助かります。 ・大妻中野の学校内に椅子席の講堂?大ホールの建設予定はありませんか?発表会や行事でかなり使用されると思うのですが。
1.今の生徒にわかりやすく学びやすい授業、自ら学びたくなる授業を展開しているのかどうか、生徒に直接アンケート調査して授業改善を常に行ってほしい。何年と同じ授業展開、同じ教材を使った授業を行うことが生徒の学習意欲向上にはつながらないと思えない。 2.再テストなどを行う時間帯を検討してほしい。生徒の休息時間はしっかり確保してほしい。3.コロナウイルス感染症の感染者数を公表する必要はない。学校側が把握して出席停止措置を行えばよい。
MMTやキクタンを真剣に取り組まず、再試を受けている状態です。もっと単語が書ければ成績も伸びるよ。と伝えますがやりません。理由を聞くと書けなくても英検に受かるから。と返答がありました。何故やるのか。納得してくれないとやらないのかな。と感じています。
あまりどんな学校なのか、校風もよく分からないまま入学しましたが、恵まれたチャンスが沢山あり、さすが私立ならではの経験をさせて頂けているなと思っています。
いつもお世話になり有難うございます。おかげ様で学校生活も楽しんでるようです。一点お願いとしては、学習と共に旅行などを通じた様々な経験も大事だと考えており、スケジュールを組まれる中で、なるべく連休や休みを有効に使えるようにご配慮を頂けるようであれば大変ありがたいです。引き続きよろしくご指導ありがとうございます。本当に、よい仲間にも恵まれ、毎日充実した学校生活を送っています。
いつも大変お世話になっております。まずは体調を崩すことなく楽しく行事にも参加し、学校生活をおくれていることをとても嬉しく思います。一方で受験が終わって気が抜けて、勉強内容も難しくなり授業が疎かになっているのが心配です。生徒本人の学習意欲をどうやったら引き出せるか親としていつも試行錯誤をしています。本人は本人なりに頑張っているそうですが、もう少し意欲的に要領よくできないものかと思います。気持ちを新たに、できることを少しでも多く積み重ねて、充実した中学生生活を送ってほしいです。
いつも熱心にご指導いただき感謝しております。 まだ1学年なので保護者の勉強不足な点があるのですが、よく御校でグローバルクラスの生徒や卒業生のお話は聞かせる機会があるのですが、しかし半数以上の生徒が普通クラスに在籍しているかと思うので、普通クラスの先輩方や卒業生の進学先や学校生活のお話もお聞きしてみたいです。どうぞ今後とも宜しく願ひ申し上げます。
お昼休憩時、お弁当を温めるレンジを、各クラスに1台設けてほしい。そのための費用が必要であれば、喜んで寄付したい。(子供達に、暖かいお弁当を食べてほしい、と母親会から、とてもお願いします。)また、ファミリーマートの食品販売機の台数を、もっと増やしてほしい。毎日長蛇の列が出来て、食事時間が5分しか取れなかったというような話を聞きます。食堂がない分、お弁当・軽食の販売機を増やす必要があると思われます。もしくは、中学生と高校生のお昼休み時間をずらすなど、工夫して頂きたいです。
クラス担任の先生が、欠席をした時や、保護者に伝えたい事があるときに電話を下さり細やかな対応をしてくださる事に大変感謝しております。また、子どもの性格を把握して助言を下さり、我が子も励まされ気持ちをたてなおしたり、頑張れています。大妻中野を入学できたことを、とても良かったと思っています。いつも、ありがとうございます。
しっかり学習させてもらい、補講や追試も手厚く、部活動や行事も充実しているので、親子共々大妻中野に入学して良かったと思っています。
チューターさんを利用してみたいけど1人では不安だったり、行きづらい状況があるようです。積極的な子供ばかりではないので、もう少し利用しやすい環境を作ってほしいです。
まだ中1なので、どのくらい達成したのか細かいことは分からないことばかりですが、アンケートに解答させていただきました。学校にはいつも感謝しています。娘が大妻中野に入学できて本当に良かったと、いつも夫と話しています。先生方、いつもありがとうございます。
マナバなどを通して、毎回こまめに学校の情報を送ってくださるのはありがたい。ただ量が多くて、全部には目が通せていない状態。学校と保護者との関係が近い。
英検は学校で団体受験ができるようにしてもらえるとありがたいです。
夏期講習や冬期講習について、英語や数学は1日のみで終了ではなく、3～4日くらいしっかりやっていただけると嬉しいです。
箇条書き失礼します ・聞く授業はつまらない。欧米のように議論したり、発表したりする授業にしてほしい ・髪型の校則が厳しすぎる ・評価の10段階の手前、それぞれのスケールを知りたい ・校則と社会ルールを守ることを同列にしないでほしい(校則厳しすぎるしエレベーターも使わせてほしい。 ・1時間だけで帰らせるのをやめてほしい ・学校の年間達成目標についてもっと情報を保護者に伝えるべき ・部活の顧問のやる気がない ・バスの遅延を遅刻として認めてほしい 電車遅延の影響があるのに何故認められない? ・栄養のある食べ物構内で買えるようにしてほしい。
各項目についてはほぼすべて重要だと思っていますが、それを達成しているかどうかはわからないことの方が多いです。
学校のお友達との関わりで悩んでいた娘について担任の先生にご相談したら、たくさんのアドバイスをいただいてとても心の支えとなり感謝しています。娘は先生方が近くにいることにより笑顔が増え、私も嬉しく大妻中野に入学できたことを嬉しく思います。引き続きよろしく願いいたします。
学校説明会で校訓「恥を知れ」に感銘。日頃から生徒に指導してほしい。 落ち着いて授業に取り組めるよう指導してほしい。チャイム着席、黒板清掃等も基本的な学習に取り組む態度になっていないと感じ、大変残念。学校は特にスタディサブリのウェイトが高いようで、生徒の興味を引くような先生の授業を行っていただけのように希望する。 立派な図書室があるにも関わらず、有効活用されていないように感じる。読書活動にもっと力を入れてほしい。
行事の時の服装など、まだ一年目の子供には、学校側も説明が不足していることが子供達にはあったことがあり、戸惑い何回かありました。子供たちにとって、もう少し丁寧な対応が必要なのにも感じました。これだけ英語には力を入れてもらっているのに、英検は学校で受けられるいいなと思います。
今後も明るく楽しい学校生活を送れるようご指導頂ますよう宜しくお願い致します。
子が落ち着いた学校生活を送れていることに安心しています。学校の体制が安定していることに加え、部活や先進的な教育の実践、対外的な発信等、学校のブランディングも効果が出てきていると感じます。引き続き、教職員の皆様の役割発揮に期待します。
受動的な行動ではなく、自発的、能動的に行動できるようになる教育に注力してもらうことを期待します。
習熟度別の英語の授業は充実していると思います。文、様々な行事のライブ配信、配布物などのペーパーレス化などIT化も進んでいて素晴らしいと思います。
信頼できる先生方に感謝しています。大妻中野に入学して良かったと思います。
成績の差はあるにせよ、成績が振るわなかった場合の未来について、具体的な説明・指導をお願いしたいです(各家庭での説明より効果が高いため)。また、礼儀作法については、もっともっと厳しくしてほしいです(厳しさを知ることも勉強)。
生徒のことを大切に思っ、学校側は様々なことを工夫して取り組んで頂いていると感じます。心より感謝を申し上げます。娘を御校で6年間をたくさん経験をして、今後の人生に生かして頂ければ心より願っております。生徒の自主性に任せるのはまだ難しい年ですので、自分の興味ある分野の行事に選択できるよう、できるだけたくさんのチャンスを作って頂きたいです。今後ともよろしくお願い致します。
全体的に授業時間数が少ないと感じます。AMのみ授業とか冬休み前はほとんど授業がなく、大学生並みに休みが多すぎる。本当に他の中学校以上に授業を行っているのか疑問(高い授業料の内容に見合っていない)
体育祭のリレーのバトン渡しが下手すぎて、酷かった。ダンスばかりでなく、リレーのバトン渡しの練習もきちんとしてほしい。あんなにひどいリレーは初めて見ました。残念です。
在学中に留学を考えているが、そういう話はどこに相談したら良いのかや、子どもの教科担任一覧などが欲しいです。 また希望者だけでいいので、3者面談の時期などで、教科担任と5分程度で話す機会などがあつたらいいなと思います。
体操着は、正装用しか使用していないため、紺の正装用に統一すべきである。白は透けるので、使用したくないとの意見が多い。
大妻中野に入学してもうすぐ一年になります。親子ともに大変満足している毎日です。困った時には先生がすぐに(保護者と)面談してくださり、学校・家庭の連携が取れていることが子供の安心に繋がっています。 また、学習面でも提出物や追試で生徒をどこまでも追いかけくださることが親としてありがたいです。いつもありがとうございます。来年度もどうぞよろしくお願い致します。

達成度について不明なことが多いです。
中1の保護者であり、まだ学校全体の事が見えていない。その中で、親が重要だと感じていることを学校側が達成できているかを5段階で評価する難しさを感じた。また、生徒それぞれによっても違うことであり、学校が全体的にできているということの評価するより、個々に対応できているかということが大切なのではないかと感じた。
中学生になり、反抗期もあるのですが、言動が荒々しくなっております。その事が人間関係を作り上げていく上で、友人同士で傷つけ合っていないか、誤解を生んでいないか心配です。皆が発言し、積極的に参加できる時間で、心の教育をしていただけたら嬉しいです。
日々宿題等も管理していただき、先生方もとても熱心に指導していただいておりますがそれに伴った結果がでていないように思えることがとても残念です。
入学して1年以内ですので質問に対して答えられる十分なデータを持っていません。子供が希望をもって楽しい学園生活ができればよいと考えています。現在のところその目標に向かって進むことができていると思っております。ご指導ありがとうございます。
入学後暫くは通学や環境に慣れるのに精一杯でしたが、最近では学校が楽しいという言葉を本人からよく聞くようになりました。親としてはそれが一番嬉しいです。学習面ではまだまだ本人の努力が足りない面がありますが、小テストや追試で取りこぼしのないよう手厚くサポートしていただける事に大変感謝しております。
熱心な教育指導等、総合的に大変満足しております。
保護者会開催のメリットですが、学校の様子を知る上で何よりの機会だと感じております。しかし、平日に実施されることが多いため、出席しづらく大変残念に思っております。 全回において、土曜日の開催を強く希望いたします。
毎日楽しく学校に通っています。この一年で、大きく成長することができました。先生方に深く感謝しています。これからも宜しくお願いします。
未だコロナ禍にある中で、いろいろな行事やクラブ活動ができたことに感謝しております。
娘から学校での話を聞くたびに、良い学校に通わせていただいていると感じております。楽しい授業を受けさせていただいていること。様々な体験をさせていただいていること。 学校での人間関係に気を配っていただき、楽しい毎日を過ごしていること。感謝しております。
娘が毎日忙しくとも、楽しそうに通学していることが何よりです。先生方の熱心なご指導にも日々感謝しております。 シラバス、よりよき等活字にしてご教示いただくのも大切かと思いますが、本人やはり中1とあって実際に学んでいるのは日々の実践の積み重ねかと。ゆえにQ3では「普通」と回答いたしました。教職員の皆様と、各家庭とで妻中学生の成長を支援できますよう、今後ともどうぞ宜しくお願いいたします。

「よりよい学校づくりのために」
令和4年度 学校評価アンケート
(中2保護者による5段階評価)

- *1 下記数字の5段階表記以外は%を示す。
*2 優先度指数＝(重要度平均評価)－(達成度平均評価)

学年	中1	中2	中3	高1	高2	中1～高2 合計	高3
在籍数(留学除く)	243	221	255	192	219	1130	199
回答数	181	163	169	124	98	735	75
回答率(%)	74.5	73.8	66.3	64.6	44.7	65.0	37.7

★「重要度」の評価 ★「達成度」の評価	項目	重要度					重要度 平均 評価	達成度					達成度 平均 評価	優先度 指数 (※2)
		重 要	←	普 通	→	非 重 要		達 成	←	普 通	→	未 達 成		
★「重要度」の評価 ★「達成度」の評価	項目	5	4	3	2	1	重要度 平均 評価	5	4	3	2	1	達成度 平均 評価	優先度 指数 (※2)
		5	4	3	2	1		5	4	3	2	1		
★「重要度」の評価 ★「達成度」の評価	教育方針と大赛中野生について													
	1 学校の年間達成目標を策定し、学校経営計画として毎年5月保護者に配付し、HPに公開し、その達成のために全職員で取り組み、検証・改善を行うこと	57.1	31.3	10.4	0.0	1.2	4.43	10.5	46.9	40.1	2.5	0.0	3.65	0.78
	3 生徒・保護者に冊子「保護者シラバス(はばたき)」「学習シラバス」「わかば」「よりよい学校生活のために」を作成し指導すること、保護者との連携を深めること	43.6	38.0	16.0	1.8	0.6	4.22	11.7	44.8	39.9	3.7	0.0	3.64	0.58
	5 大妻コタカ先生の教え(校則「恥を知れ」)に基づく教育を行うこと	43.6	30.7	20.9	4.3	0.6	4.12	14.7	38.0	41.7	4.9	0.6	3.61	0.51
	7 「自分の子供が大妻中野に入学してよかった」と思うこと	75.5	18.4	4.9	0.6	0.6	4.67	24.5	42.3	23.9	8.6	0.6	3.82	0.88
	9 生徒がクラブ活動や文化祭・体育祭などの学校行事に楽しに参加し、積極的に活動すること	75.5	21.5	2.5	0.0	0.6	4.71	33.7	43.6	16.6	2.5	3.7	4.01	0.70
★「重要度」の評価 ★「達成度」の評価	生徒指導について													
	11 学校が「いじめ」に対して厳しく対応すること、生徒が毎日楽しい学校生活を送ること	89.6	9.2	0.6	0.0	0.6	4.87	27.6	41.1	28.2	3.1	0.0	3.93	0.94
	13 生徒が学校の校則を守り、交通ルールなど社会のきまりを守ること	64.4	27.6	7.4	0.0	0.6	4.55	22.1	46.6	29.4	1.2	0.6	3.88	0.67
	15 読教育の一環として清指指導が行われ、校舎内がいつも綺麗であること	71.8	23.3	4.3	0.0	0.6	4.66	43.6	45.4	9.8	0.6	0.6	4.31	0.35
	17 生徒が他人(ひと)に対して尊重する言動ができること	89.0	9.8	0.6	0.0	0.6	4.87	18.4	44.8	33.1	3.7	0.0	3.78	1.09
	19 生徒が礼儀正しく、目上の人を敬うこと	76.1	20.9	2.5	0.0	0.6	4.72	19.6	44.2	31.3	4.9	0.0	3.79	0.93
	21 先生が親身になって、生徒の相談に応じること	84.7	14.1	0.6	0.0	0.6	4.82	26.4	35.6	31.3	6.1	0.6	3.81	1.01
	23 先生が生徒に対して同じ基準で、平等に注意や指導をすること	76.7	19.6	3.1	0.0	0.6	4.72	20.9	42.3	28.2	7.4	1.2	3.74	0.98
★「重要度」の評価 ★「達成度」の評価	進路指導について													
	25 生徒が進路を考える上で役立つ進路ガイダンスや進路に関する行事を行うこと	79.1	17.8	2.5	0.0	0.6	4.75	23.9	38.7	33.7	3.1	0.6	3.82	0.93
	27 生徒が自分の将来の夢や目標を実現するために積極的に学習すること	80.4	18.4	0.6	0.0	0.6	4.78	12.3	27.6	36.8	17.2	6.1	3.23	1.55
	29 生徒が家族の人と将来(進路)についてしっかり話し合うこと	68.7	26.4	3.7	0.6	0.6	4.62	9.8	33.1	39.3	15.3	2.5	3.33	1.29
	31 学校は、大学受験対応のカリキュラムや補習・講習などの進路指導体制を整えること	68.7	28.2	2.5	0.0	0.6	4.64	9.8	36.2	42.3	8.6	3.1	3.41	1.23
★「重要度」の評価 ★「達成度」の評価	学習指導について													
	33 毎日の授業について、生徒が興味や喜びを感じて、取り組むこと	82.2	16.6	0.0	0.6	0.6	4.79	11.0	30.1	43.6	13.5	1.8	3.35	1.44
	35 学校が授業時数を十分に確保していること	63.2	28.8	6.7	0.6	0.6	4.53	26.4	45.4	25.8	1.8	0.6	3.95	0.58
	37 生徒が家庭で自主的に学習をする習慣が身に付くこと	79.8	19.0	1.2	0.0	0.0	4.79	11.0	23.9	35.0	20.9	9.2	3.07	1.72
	39 先生が教科指導に熱心であること、質問に対して丁寧に対応すること	84.0	14.2	1.2	0.0	0.6	4.81	17.8	42.3	36.2	3.7	0.0	3.74	1.07
	41 学校がコース別のクラス編成を行うこと	33.7	46.0	15.3	4.9	0.0	4.09	14.7	42.9	39.9	1.2	1.2	3.69	0.40
	43 学習の評価が、考査・単元テスト・実習・作品・レポート・発表など多角的な評価資料に基づき、総合的かつ公平に「目標到達度」として、10点法で数値化されること	46.0	38.7	15.3	0.0	0.0	4.31	22.2	39.5	33.3	3.7	1.2	3.78	0.53
	45 学校が考査・科目説明・履修と修得・進級と卒業などに関する説明が充実すること	66.9	26.4	5.5	0.6	0.6	4.58	23.9	37.4	34.4	3.1	1.2	3.80	0.79

自由記述欄

娘が大変お世話になっております。 学校、先生方、とてもよくやってください、折にふれ「良い学校に入れてよかった」と親子で振り返っております。 Q14、Q18、Q20については学校へ伺った際等、思わず感心させられるとても礼儀正しい生徒さんいらっしゃれば、我が娘を含めまだまだ発展途上と思われる生徒さんいらっしゃり、個人差が大きく感じたので間を取って『普通』とさせていただきました。
平素細やかにご指導頂き、大変ありがとうございます。本人もやる気を持って学習に取り組んでいると感じています。 毎日の登下校においての荷物の重さには未だに慣れない様で、親としても少し心配しております。
提出についてもう少しわかりやすいシステムにしてほしい。提出期限後でも提出出来るために未提出の有無をはっきりとわかるようにしてほしい。 生徒と先生のやりとりで言った言わないということもはっきりと何かで残してほしい。
中1.2年と担任の先生に恵まれ、お友達ともトラブルなく楽しく学校に通っています。ありがとうございます。
大妻中野中学での活動を通じ我が子が日々成長していることに対し大変満足しており学校の取り組みに感謝しております。引き続きよろしくお願い致します。
大学進学実績があがるように、先生、チューターによる個別指導などをもっと充実いただけると良いとおもいます。
大学受験に向けて、もう少し早い時期からどんな資格をどのレベルまで取得すると良いのかを具体的に生徒、保護者に伝えていただけると助かります 高校からのコース選択に関して個別にもう少し早めに説明を頂けると助かります。よろしく願いいたします。 先生方の熱心なご指導、大変感謝しております。
多感な時期に、娘の悩みに寄り添ってご指導いただき、感謝しております。充実した毎日を過ごせているようで、家庭でも楽しそうに学校であったことを話してくれています。
全体的にとっても満足しています。授業がもっと楽しく、興味付け、関心持てるような内容になれば、なおいいと思います。
先生方は非常によくやって頂いております。娘本人が怠惰なので、親が多忙で十分に家庭でしどろでできず、申し訳なく思っております。
先生方が親身に子どもたちに教育していることを日々感じ、自主性を重んじていることが本当に素晴らしいことだと思います。ありがとうございます。 もし大変でなければクラスの様子を時々で構わないので少し配信していただくと嬉しいと思います。いつも感謝しております。
先生と生徒の距離が近いので見ていてくれる安心感から色々な事へのやる気に繋がっている事が良いと感じた。
生徒指導や学習指導、進路指導に関してはとても熱心に取り組んで頂いていると感じます。様々な分野の情報もたくさん発信して頂き、イベントも多く充実していますが、部活動に専門的な指導者が少なく、もう一歩部活を充実できると良いかと感じます。
生徒向けのガイダンスのアーカイブを後から見れると有難いです。大学進学以外の過去の実績や先輩のお話もあると有難いです。 普通以外レベルの生徒が身近に参考になる話、縁遠くはないお話もあると助かります。
身近でいじめなどもなく、毎日楽しく通わせてもらっていることに感謝しております。
親戚宅へ訪問している際または部活の大会で1日家にいない休日に課題が急に入ってくるようで、夜に何度か焦って宿題に取り組んでいました。 課題が出る可能性がある際は事前にお知らせを。そうでなければ期限をもう少し先にするなどの対応があればよいかと横から見て感じていました。もちろん進学学校なので、勉強に励まなければいけないのは理解しています。
重要度と達成度の落差の大きい設問以外にも目を向けて欲しい。
自主性に任せることも大切ですが、まだ自主性を育てる段階にある娘に対してどう接すべきか悩むこともあります。 家庭だけではできない、いろいろな体験や経験をつむことができる学校で、先生方はもちろん友達や卒業生含む先輩、時には外部の方々から刺激を受けて、興味や気づきが得られる機会を引き続き設けていただけたらと思いますので、よろしく願いいたします。
子供達の様子を見ていて、学校から動かされている感じがものすごくします。主体性にかけている、さらには拘束力の強い校則が多すぎるのも子供達の個性などが伸ばされない要因だと思います。子供達の意見や個性を大切にほしい。決まりきった生徒しか出来上がらないなあと思ってしまいます。そしてとにかく学校の拘束時間が長すぎ！テストなども終わったら速やかに下校。もっとコンパクトにしてもいいかと思っています。
校則について、目に見えるルールのチェックや注意だけではなく、PCの設定、SNSやLINE等の禁止にも、不定期に確認をしていただけると有難いです。 デスクトップをみるだけで、勉強のツールとして使用しているものとは思えない状況があります。
現状でも、学校全体で授業やイベントの工夫、努力をされているのを強く感じます。 保護者としては非常に興味深く納得していますが、当の本人がそこまで興味を持ってくれないことも多く、複雑な気持ちになる時があります。 子供が、いつか様々な素晴らしいイベントに積極的に参加してくれたらいいなと思っています。
現在、夏休みに三者面談をしていただき、その当時の状況や課題をお話頂いておりますが、その結果がどうなったのか親として知ることができません。 学年が変わる前にもう一度面談していただく機会があると良いなと思っております。芸術教室は高校進学後も(せめて高1まで)開催していただきたいです。 学内だけでは学べない事を経験して欲しいと思っています。
教科によって、先生の授業が面白くなく、寝ている生徒がいる授業があると聞きました。子どもの側にも原因があるとは思いますが、先生方の創意工夫を期待いたします。
学年主任、担任の先生方がとても、親身になり、指導して下さる様子が伝わり感謝しております。生活面では、とても楽しいいじめなどもなく過ごし学校が楽しく行って良かったと思っております。勉強に関して、心配になる点は、多数あります。学校主催のテストの点数とベネッセのテストに差がある事です。大学受験に対し本人が希望しているレベルに届いていない事、応用問題が全問不正解などの科目も多くありかなり不安があります。ベネッセが大学受験に重要であれば、学校の授業で反映されるような授業をして頂けたら有難いですし不可能であれば、補習などをして頂きたいです。それも不可能であれば、スタサプの利用など、上手く使えるものを使って頂きたいと感じています。もう一つは、冬期講習など、取るものが毎回2コマくらいしかない為、主要科目で、学べる項目を増やしてもらいたいです。また大学生が教えに来て頂いているシステムも今まで利用したことがなく、上手く利用できるように工夫して頂けると嬉しいです。 勉強に関してはうちの子が成績が良くないかもしれませんが、もしがいましたら申し訳ありません。今後も引き続きよろしくお願い致します。
学年主任、担任の先生をはじめ、先生方が熱心にご指導くださっている様子に感謝しております。穏やかな環境で学習できることをうれしく思います。 保護者会で教育方針やねらいをわかりやすく説明してください、学校に対して、安心、信頼しております。ありがとうございます。
学習カリキュラムは、とても良いと思うのですが、残念ながら各教科の課題提出が追いついていません。休日も含めて在宅時のほぼ全ての時間学習していますが、スピードが遅いようです。年明け以降、就寝時間も深夜0~1時ごろになっていて体調面で心配しています。私としては、健康を重視で時間内に提出できない課題は遅れて提出するかたちで、22時~23時には就寝して欲しいです。本人にも話しましたが、理解してもらえません。また、本人と話したいと考えています。
学校生活、先生方のご指導に満足しております。ありがとうございます。
学校の対応は充実して満足していますが、家庭学習の取り組みがうまくいかず、ついて行けてない状況が続きその都度苦言を呈するのですが改善には至らず……。難しい年頃のためどう接して良いのかわからず悩みもどかしい日々が続いております。
学校の指導に対してとても満足しております。引き続きのご指導よろしくお願い致します。
学校でパソコンの充電ができるようにして頂きたいです(充電忘れるのが良くないのですが、家庭で充電してからでないと登校できない、というのは少し違うように思います)
学校からたくさんの情報提供をいただき参加できそうな校外活動を知ることができてとても感謝しています。娘は、その中から自ら興味を持ち動き出すことに恥ずかしさもあり勇気も出ず参加できずにいるようです。もう親が無理に参加させる年齢ではないので自ら動き出せるように声掛けなどで少し働きかけつつ見守りたいと思っています。
英検を学校で団体受験ができるようにしていただけるとありがたいです。
英検の検定試験をぜひ本校でお願いしたいです。
英検などでSpeakingの出来が悪いです。そのため、英会話に重点をおいた教育を進めていただけると嬉しいです。 またGLCとアドバンスクラスの交流を深め、英語力の強化を望みます。
もう少し学習に時間を取らせたいと思いますが、なかなか親の言う事を聞かなくなってきました。
これ迄のご指導、ありがとうございます。今後もなお一層のご鞭撻のほど、お願い申し上げます。

うちの娘は家で学習しろと言っても「無理、できない」の一点張りでなかなか前に進むことができません。家でこの状況なので、学校でもさぞかしご迷惑をおかけしていると思います。高校はもう少しレベルを落として習熟度別、あるいはできない子へのサポートの厚い学校に行くことを感えています。
いつも熱心に指導して下さい、ありがとうございます。より良い学校生活を送れるよう努力して下さいに感謝申し上げますとともに、今後どうぞよろしくお願い申し上げます。
いつも大変お世話になっております。様々な困難の度に相談に乗っていただき、良い方向に導いてくださっていることにとても感謝しております。今後ともよろしくお願いいたします。
いつも細やかに見ていただき、ありがとうございます。楽しそうに通っているの、安心しております。これからも学校生活の中で、苦手なことも諦めずにコツコツと向上して行ってほしいです。
いつも細やかにご指導いただき、ありがとうございます。本人が楽しい学校生活を送り、安心して通わすことができていることです。
いつもご指導いただきありがとうございます。補習や講習があるのは大変ありがたいですが、テスト前にも、理解度を高めるためにも行っていただきたいなと思います。さらには、解けた、理解できたという自信をつけていく後押しをお願いできたらなと思います。
いつもご指導ありがとうございます。要望として2点、1道徳の様な倫理の様な心の学びの時間がもう少し増えたらと思っています。2昼食時、映像を親ながら食べられるのは楽しいと思うのですが、せっかく作ったお弁当を暗くした教室で食べていると聞き作った者としては少しさみしく思いました。暗くするタイミグ等、ご検討頂ければ幸いです。宜しくお願いします。
いつもきめ細かい丁寧なご指導をいただき感謝しております。一つだけ改善をお願いしたい点は、土曜日の帰宅が遅いことです。昼食なしで学校を出るのが午後1時過ぎ、帰宅が午後2時頃になりますと昼食が遅れ、夕食も遅くなり、生活リズムの乱れの原因にもなりますし、家族と過ごす時間も少なくなります。規則正しく健康な生活をするためにも、土曜日は休み時間やHRを短縮するなど、時間配分に工夫をお願いしたいと思っています。
いつもお世話になっております。本人のやる気と先生方のご協力、家族の寄り添いこれらが一つなってはじめて子供たちの気持ちに寄り添えて、本人の達成に一歩近づくと考えております。私たち保護者も協力させていただきますので、これからもご指導のほどよろしくお願いいたします。
いつもお世話になっております。大学受験や資格試験に向け、学校内で休職中講座や放課後講座がもっと充実するとありがたく思います。
いつもお世話になっております。先生方は、熱心に生徒の学力向上のために取り組んでくださっているとっております。生徒が自分たちの通う学校に誇りをもてると、もっと自発的に頑張れるかなと思います。今後とも、よろしくお願いいたします。
いつもお世話になっております。先生方のご指導のおかげで、学校生活を楽しくしており親としても安心して通わせることができいております。学習面につきましても、こまめに小テストや出来ていない時の再テストも行って下さることで、計画的に自宅学習をすることが少しずつ出来るようになってきました。今後共ご指導の程よろしくお願い致します。
SNSの怖さも承知しておりますが、禁止することで隠れて使用される方がもっと怖いです。教師、保護者が連携して正しい使い方を指導し、見守ることも大切だと思います。伝統を重んじることの大切さも解りますが、時代に合った柔軟な対応も必要ではないでしょうか。学習面に於いては、もっと授業や英検対策等の講習に工夫を凝らして大妻中野ならではのものを構築して頂きたいです。この先、塾なしでも大学入試に臨めることはもちろんのこと、日々の学習は授業内で理解できるようご指導を期待しております。
2年生になってから表情からわかるくらい、娘は笑顔が増えました。クラスの雰囲気も良く、信頼できる、気軽に相談できる先生に出会った事で、彼女のポジティブな一面を取り戻せたと感じています。担任の先生に出会えた事が彼女に自信ややる気をもたせてくれました。心から感謝しております。
●キクタン、MMTなど基礎学力向上に努め、先生方の熱意を感じる●反面、進度が早く課題の量が多い。成績中位程度以下の生徒が作業にならないように、底上げを目指して量や内容を調整できるように検討してほしい●勉強以外も良い経験となるので、課外活動や遠足など楽しいことももう少しほしい●PCよりも軽いタブレットを検討してほしい●楽しく通っており、ありがたく思っている。更に魅力ある学校になってほしい。

「よりよい学校づくりのために」
令和4年度 学校評価アンケート
(中3保護者による5段階評価)

- *1 下記数字の5段階表記以外は%を示す。
*2 優先度指数＝(重要度平均評価)－(達成度平均評価)

学年	中1	中2	中3	高1	高2	中1～高2 合計	高3
在籍数(算学除く)	243	221	255	192	219	1130	199
回答数	181	163	169	124	98	735	75
回答率(%)	74.5	73.8	66.3	64.6	44.7	65.0	37.7

★「重要度」の評価 [6]…大変重要 [4]…やや重要 [3]…普通 [2]…あまり重要でない [1]…重要でない		重要度					重要度 平均 評価	達成度					達成度 平均 評価	優先度 指数 (※2)
★「達成度」の評価 [5]…ほぼ達成 [4]…おおそ達成 [3]…普通 [2]…あまり達成していない [1]…ほとんど達成していない		重 要 ←	普 通	→ 非 重 要				達 成 ←	普 通	→ 未 達 成				
項目	教育方針と大妻中野生について	5	4	3	2	1		5	4	3	2	1		
1	学校の年間達成目標を策定し、学校経営計画として毎年5月保護者に配付し、HPに公開し、その達成のために全職員で取り組み、検証・改善を行うこと	56.8	32.5	10.1	0.0	0.6	4.45	14.8	45.6	36.1	3.6	0.0	3.72	0.73
3	生徒・保護者に冊子「保護者シラバス(はばたき)」「学習シラバス」「わかば」「よりよい学校生活のために」を作成し指導すること、保護者との連携を深めること	42.0	41.4	15.4	1.2	0.0	4.24	13.6	45.0	36.1	4.1	1.2	3.66	0.59
5	大妻コタカ先生の教え(校訓「恥を知れ」)に基づく教育を行うこと	30.8	44.4	20.7	3.6	0.6	4.01	10.1	43.8	40.2	4.7	1.2	3.57	0.44
7	「自分の子供が大妻中野に入学してよかった」ということ	74.6	21.3	4.1	0.0	0.0	4.70	26.0	45.6	20.1	5.3	3.0	3.86	0.84
9	生徒がクラブ活動や文化祭・体育祭などの学校行事に楽しく参加し、積極的に活動すること	75.7	20.1	3.6	0.6	0.0	4.71	27.2	48.5	16.6	5.3	2.4	3.93	0.78
項目	生徒指導について	5	4	3	2	1		5	4	3	2	1		
11	学校が「いじめ」に対して厳しく対応すること、生徒が毎日楽しい学校生活を送ること	87.6	10.7	1.8	0.0	0.0	4.86	32.5	44.4	18.9	3.0	1.2	4.04	0.82
13	生徒が学校の校則を守り、交通ルールなど社会のきまりを守ること	64.5	28.4	7.1	0.0	0.0	4.57	26.6	48.5	23.1	1.8	0.0	4.00	0.57
15	縦教育の一環として清掃指導が行われ、校舎内がいつも綺麗であること	68.6	23.1	7.1	1.2	0.0	4.59	52.7	38.5	7.7	1.2	0.0	4.43	0.17
17	生徒が他人(ひと)に対して尊重する言動ができること	85.8	11.8	2.4	0.0	0.0	4.83	24.3	49.1	24.3	2.4	0.0	3.95	0.88
19	生徒が礼儀正しく、目上の人を敬うこと	75.7	19.5	4.1	0.6	0.0	4.70	18.9	53.8	24.3	2.4	0.6	3.88	0.82
21	先生が親身になって、生徒の相談に応じること	85.8	14.2	0.0	0.0	0.0	4.86	26.6	41.4	22.5	7.7	1.8	3.83	1.02
23	先生が生徒に対して同じ基準で、平等に注意や指導をすること	77.5	18.9	3.6	0.0	0.0	4.74	18.3	45.0	27.2	5.9	3.6	3.69	1.05
項目	進路指導について	5	4	3	2	1		5	4	3	2	1		
25	生徒が進路を考える上で役立つ進路ガイダンスや進路に関する行事を行うこと	84.0	13.6	2.4	0.0	0.0	4.82	17.8	46.7	30.8	3.6	1.2	3.76	1.05
27	生徒が自分の将来の夢や目標を実現するために積極的に学習すること	89.9	8.9	1.2	0.0	0.0	4.89	10.1	33.1	40.8	14.2	1.8	3.36	1.53
29	生徒が家族の人と将来(進路)についてしっかり話し合うこと	82.2	15.4	2.4	0.0	0.0	4.80	14.2	39.1	36.1	10.1	0.6	3.56	1.24
31	学校は、大学受験対応のカリキュラムや補習・講習などの進路指導体制を整えること	79.9	15.4	4.7	0.0	0.0	4.75	8.9	34.9	47.3	8.3	0.6	3.43	1.32
項目	学習指導について	5	4	3	2	1		5	4	3	2	1		
33	毎日の授業について、生徒が興味や喜びを感じて、取り組むこと	81.1	16.0	3.0	0.0	0.0	4.78	9.5	40.2	40.2	9.5	0.6	3.49	1.30
35	学校が授業時数を十分に確保していること	65.7	27.2	7.1	0.0	0.0	4.59	23.7	47.9	23.7	3.6	1.2	3.89	0.69
37	生徒が家庭で自主的に学習をする習慣が身に付くこと	81.1	15.4	3.6	0.0	0.0	4.78	14.2	29.0	32.0	21.9	3.0	3.30	1.48
39	先生が教科指導に熱心であること、質問に対して丁寧に対応すること	82.8	14.8	2.4	0.0	0.0	4.80	15.4	42.0	40.2	1.2	1.2	3.69	1.11
41	学校がコース別のクラス編成を行うこと	37.9	43.2	15.4	3.6	0.0	4.15	17.2	43.8	36.7	2.4	0.0	3.76	0.40
43	学習の評価が、考査・単元テスト・実習・作品・レポート・発表など多角的な評価資料に基づき、総合的かつ公平に「目標到達度」として、10点法で数値化されること	47.9	37.9	12.4	1.8	0.0	4.32	21.9	43.2	32.0	3.0	0.0	3.84	0.48
45	学校が考査・科目説明・履修と修得・進級と卒業などに関する説明が充実すること	65.5	30.4	4.2	0.0	0.0	4.61	20.1	45.0	31.4	3.6	0.0	3.82	0.80

自由記述欄

連絡をもう少し余裕を持ってやってくれと嬉しいですよ。
理想はとってもいいと思いますが、あまり達成できていないと感じられません。コロナ禍でなかなか難しかったのですが、今後を期待いたします。
理系授業において実験を行う頻度が非常に少ないことを残念に思っています。コロナ影響があるのかもしれませんが、せっかく実験室も備わっているので十分に施設を活用し、活発な授業を期待したいです。
理系の教育を強化していただきたいです。
毎日楽しく登校来ていることに感謝致します。
本人はとても楽しく通っています。部活動以外の活動にも積極的に取り組み、色々な活動がありお友達もそれぞれ頑張っている話を聞きます。この学校に通わせて、本当に良かったと思っています。
保健室への電話が職員室経由は非常に不便である。直通の電話をひいてほしい。
文化祭などではSDGsをテーマにされていますが、普段の学校生活、備品などの用意、制服などにおいても、サステナビリティを満足するものとは思えません。文化祭などで、せっかく生徒に考えさせる機会を作っているのに、普段の生活を送る上で意識されないのはもったいないと思います。制服のスカーフは本当に2枚、種類が違うものが必要でしょうか？学校の体操服は本当に2種類必要でしょうか？中高一貫校であるのに、制服を大幅に変え買い直しが必要があるのでしょうか？
入学当時に説明された後にコース選択やカリキュラムなどにいろいろ変更が生じていると思いますが、そういった重要な変更については、学年、学級保護者会などの場で保護者に周知していただけると有難いと思います。特にS類、G類の選択などは子供には説明があったようですが、保護者では理解できていない人が多いように思いました。
担任の先生と学年付きの先生に親身になっていただき、難しい年頃の娘が自ら自分の進路を真剣に考えて少しずつ前向きに行動出来た一年でした。私共としても大変有り難く、このまま高校を卒業するまで同じ学年の先生として携わっていただけたらどれだけ保護者にとっても心強いことかと思えます。コロナ禍の中学生活だった娘達の為にもお二人の先生方には近くについて頂きたいです。
通知表の評価(ABC)のつけ方の基準が詳しくわかると、本人も次により取り組みやすくなるのではないかと思います。どのあたりが、C評価になってしまったのかなど。
通学と部活で疲れ、帰宅後勉強の習慣が定着できていません。試験前詰め込み勉強の傾向が多く、日頃の勉強時間を増やす工夫が必要です。宿題や小テストを増やすのも良案だと思います。補講も部活で参加できず、文武両道に至らず、時間配分の工夫も必要です。将来やりたいこともまだ見定まらないため、各分野で活躍される卒業生の講演があればありがたい仕事のイメージができると思います。
担任の先生だけでなく、学年主任の先生が子供たちの様子をしっかりと把握しており、万一の際はすぐに先生との連絡がとれる風通しの良さにすごく助けられました。この学校に入れて本当に良かったと満足しております。
担任に恵まれていないのが残念
大妻中野に入って本当に良かったと思っています。彼女の子供もまた、大妻中野に入りたい、という学校に繋げていく事が大切だと思っています。誇りを持って卒業出来る事を嬉しく思います。今後どうぞ宜しくお願い致します。
大学受験に向けた指導をしっかりと行って頂きたい。本人が自ら意識できるような働きかけをぜひお願いしたい。よろしくお願いします。
卒業生の方のセミナーが何度かありましたが、素晴らしい成績とやる気のある方ばかりで、わが家にとってはあまり参考にならず、逆に取り残されたような気持ちになりました。もう少し色々なタイプの方のお話を伺えると嬉しいです。
全体としてはとても良い学校だと感じています。少しテストの採点ミスが目立つ気がします。
先生方が、本当に一人一人の生徒の事を色々な方向からより良い状況を考えてながら対応してくださる姿勢に感謝しております。思春期でもある年齢で、これからの自分の将来をどうしたらと思い悩む時期でもあり、きっと沢山の方々のサポートが必要だと思います。親、友達、先生、環境は、本当に大切なんだと感じています。今後とも宜しくお願い致します。
生徒を信頼して物事を進める学校になってほしいです。どちらかというと強圧的な教育方針をとられている先生がいらっしゃる、教育の古さを感じることがあります。無条件に自分は認められているということを実感できる教育方針を実行してほしいです。
成果に対してフィードバックがあるので、本人のモチベーションが上がるようです。コタカ先生の、常に謙虚に己を見つめる姿勢を忘れずにいてほしいです。
授業によっては、私語等により集中力が欠けてしまうことがあるようです。
子供達が自信を持って社会へ飛び立てるよう、今しかできない学校ならではの様々な御指導をよろしくお願い申し上げます。
子供は概ね学校生活を満喫しているようで、先生方の弛まぬ努力に感謝申し上げます。しかし、小テストの日程を知らせてもらえてなかったり、それについて質問した生徒への謝罪もなく逆に知らない方がおかしい風の返答で子供を泣かせたという話を耳にし、驚き失望しました。特定の先生なので、生徒の嫌たる先生の発言態度とは思えません。1人の発言や態度が学校全体の評価を下げかねないと感じます。ご配慮願います。
姉妹でお世話になっています。充実した1年だったようです。いつもご指導をありがとうございます。姉妹で部活が違うのですが、長女の春公演と次女の大会が同じ日になってしまいました。幸い、次女は応援だけの参加でしたので今回は長女の公演を観ることができます。出来たら来年以降は日程が重ならないようにしていただけたら...と思います。我儘を言って申し訳ございません。
今年度も大変お世話になりました。コロナ禍で入学した娘も中学を卒業します。制限の中での学校生活も、中3では宿泊行事等で保護者も参観出来る事も多く、本来に近い楽しみを経験することが出来、思い出もたくさんできました。また、いつも暖かく見守りご指導くださいました先生方、ありがとうございます。四月からの高校生活も、充実した日々を過ごせる事を願っております。
高校生からのG類、S類の説明が生徒のみで保護者には無く、子供からの説明だけだったので、改善していただきたいです。また、保護者会での各家の様子を順番に話すのがとても苦痛です。時間もかかりますし、それがあって考えると学級保護者会に参加するのが気が重くなります。改善していただきたく存じます。
高校に入ると進路について本人も真剣に考えてくれると思っています、進路に関するガイダンスなど引き続き実施をお願いします。
校内の清掃が行き届いていて、それを生徒がやっていることは、誇れることだと思います。GLCや留学制度など、入学してから知りました。受験生に知ってもらえたら、学校の人気が上がると思います。
学習面のみならず進路や留学についても、学校に気軽に聞きに行ける担当の先生がいらっしゃることに大変ありがたき思います。
学校が子供達を愛情持ってとても大切に下さっている事が、いつも伝わってきます。そういった事は、子供の話や校長先生はじめ先生のお言葉の端々、頂くお手紙でも感じます。また、守衛さんがいつもしっかりお仕事してくださっている事や、学校の清潔さなどからも、愛情をいつも感じます。3年前叶わなかった入学式の時配布されたお手紙冒頭に「あなたが大切な生徒である事は何も変わりません」という事が書いてあり、この学校を選んで良かったと涙が出た思い出があります。翌年の入学式の時に2年生にも記念撮影できる様にして下さいました。3年間ありがとうございました。高校でもどうぞよろしくお願い致します。
学校からの積極的な情報発信はとても親として子供がどのような状況にいるのかなど、本人から取得出来ない場合もあるため助かりました。
チューターの方との勉強が楽しかったようなので、状況がよくなれば、早めに再開していただけると嬉しいです。
たくさん生徒が在籍する中、豊富なカリキュラム、多様性の教育は指導が多岐に渡り先生方には感謝しています。非認知能力、数値化できない個の良いところを子ども自身が気づき、肯定感を持って行動力のある人に成長してほしいです。先生方のご指導今後ともよろしくお願い致します。
コロナ禍に始まった中学生活でしたが、もうじき卒業を迎えます。先生方も色々ご苦労されたことと思いますが、高校生になってからも、どうぞよろしくお願い致します。
コロナ禍で入学し、入学してから体調を崩してしまい、中々、学校に登校が出来ずいますが、娘は頑張ってたと思います。先生方には、氣遣って頂き支えてもらって娘も先生には感謝しています。有り難うございます。
コロナ禍で大変な中、様々な工夫とオンライン授業などの迅速なご対応をありがとうございます。感謝しております。今後ともよろしくお願いいたします。
いつも丁寧にご指導くださりありがとうございます。色々な体験やチャレンジの機会を多く与えてくださり、6年間を個性に応じて伸び伸びと過ごせる環境に感謝しております。今後ともよろしくお願いいたします。

いつもご丁寧なご指導ありがとうございます。現在中3生ですが、来年度からのコース(GとS)選択がわかりにくく、子供たちもよく把握できていないようで若干心配です。また、コロナ禍で今の中3生は海外研修が全て中止になり、せっかくグローバルコースにはいったものの海外に目がいかなくなっている気がします。積極的なお子さんは留学など視野にいれていると思うのですが。
いつもお世話になり、ありがとうございます。冬休みの生物の課題が面白かったです。(中3)自主的に考えて、まとめることは、大切ですね。探究型の授業が増えると学習も楽しいかもしれません。どうぞ、これからもご指導よろしくお願いします。
いつもお世話になっております。本人がこの学校で良かったと口にした時にいい学校なんだと感じました。引き続きよろしくお願いします。
SNSの使用について、親子で認識の違いが生まれ、日々口論になります。発信をしなければアカウントを持つことが許されているのか等、約束は守って貰いたいと思うが故に明確ではないところを明確にして貰いたいと思いました。使用のルールが、いじめやSNSによるトラブルを防ぐ目的であることは十分に理解しております。最後になりますが、学校や先生方の日々の手厚い指導には感謝申し上げます。
*授業、学習時間をより確保できるようにしてほしい。コロナ影響での家庭学習日が入ると学習ペースが遅れているように感じます。 *高校入学願書や誓約書、Global Study Tourのコース希望調査など、最近重要な提出物が多くなっていますが、もう少し余裕を持った提出期限で配布していただきたいです。

「よりよい学校づくりのために」
令和4年度 学校評価アンケート
(高1保護者による5段階評価)

*1 下記数字の5段階表記以外は%を示す。
*2 優先度指数＝(重要度平均評価)－(達成度平均評価)

学年	中1	中2	中3	高1	高2	中1～高2 合計	高3
在籍数(留学除く)	243	221	255	192	219	1130	199
回答数	181	163	169	124	98	735	75
回答率(%)	74.5	73.8	66.3	64.6	44.7	65.0	37.7

★「重要度」の評価		重要度					重要度 平均 評価	達成度					達成度 平均 評価	優先度 指数 (＊2)
★「達成度」の評価		重 要 ←	普 通	→ 非重要	達 成 ← 普 通 → 未達成									
[5]…大変重要 [4]…やや重要 [3]…普通 [2]…あまり重要でない [1]…重要でない [5]…ほぼ達成 [4]…おおよそ達成 [3]…普通 [2]…あまり達成していない [1]…ほとんど達成していない					5	4		3	2	1				
項目	教育方針と大妻中野生について	5	4	3	2	1		5	4	3	2	1		
1	学校の年間達成目標を策定し、学校経営計画として毎年5月保護者に配付し、HPに公開し、その達成のために全職員で取り組み、検証・改善を行うこと	58.1	27.4	9.3	0.7	0.0	4.29	8.9	46.8	36.9	3.5	0.0	3.49	0.80
3	生徒・保護者に冊子「保護者シラバス(はばたき)」「学習シラバス」「わかば」「よりよい学校生活のために」を作成し指導すること、保護者との連携を深めること	50.8	31.5	8.6	4.5	0.0	4.15	12.1	38.2	33.3	9.9	0.6	3.34	0.81
5	大妻コタカ先生の教え(校訓「恥を知れ」)に基づく教育を行うこと	28.5	38.8	23.4	2.5	1.4	3.74	9.8	33.6	45.0	5.9	2.4	3.33	0.42
7	「自分の子供が大妻中野に入学してよかった」と思うこと	71.5	20.3	4.1	1.4	0.0	4.54	25.2	44.2	19.3	4.9	2.2	3.72	0.82
9	生徒がクラブ活動や文化祭・体育祭などの学校行事に楽しく参加し、積極的に活動すること	78.0	13.8	5.0	0.0	0.0	4.60	32.5	41.5	16.7	3.6	0.0	3.66	0.75
項目	生徒指導について	5	4	3	2	1		5	4	3	2	1		
11	学校が「いじめ」に対して厳しく対応すること、生徒が毎日楽しい学校生活を過ごすこと	87.0	8.1	2.4	0.8	0.0	4.76	26.6	48.4	18.6	1.7	0.0	3.86	0.90
13	生徒が学校の校則を守り、交通ルールなど社会のきまりを守ること	66.9	24.2	5.8	0.0	0.0	4.49	28.5	48.8	16.5	1.7	0.0	3.90	0.58
15	模範教育の一環として清掃指導が行われ、校舎内がいつも綺麗であること	71.0	21.8	3.8	1.4	0.0	4.55	47.5	36.1	10.0	1.9	0.0	4.16	0.40
17	生徒が他人(ひと)に対して尊重する言動ができること	88.6	8.9	1.4	0.0	0.0	4.83	18.9	53.7	20.7	2.3	0.7	3.77	1.06
19	生徒が礼儀正しく、目上の人を敬うこと	78.0	17.1	2.5	0.7	0.0	4.67	19.5	50.4	21.1	4.0	0.0	3.70	0.97
21	先生が親身になって、生徒の相談に応じること	85.4	12.2	1.4	0.0	0.0	4.80	22.8	48.3	15.4	7.1	2.2	3.70	1.10
23	先生が生徒に対して同じ基準で、平等に注意や指導をすること	80.5	13.0	3.9	0.0	0.0	4.66	17.9	36.4	30.9	7.1	3.4	3.46	1.21
項目	進路指導について	5	4	3	2	1		5	4	3	2	1		
25	生徒が進路を考える上で役立つ進路ガイダンスや進路に関する行事を行うこと	83.1	15.3	1.0	0.0	0.0	4.80	16.1	56.5	20.0	3.3	0.0	3.73	1.06
27	生徒が自分の将来の夢や目標を実現するために積極的に学習すること	78.2	16.9	2.5	0.7	0.0	4.68	12.1	41.8	32.8	7.3	1.3	3.42	1.26
29	生徒が家族の人と将来(進路)についてしっかり話し合うこと	75.0	20.2	2.0	1.4	0.0	4.64	20.3	38.8	27.6	6.3	1.3	3.54	1.11
31	学校は、大学受験対応のカリキュラムや補習・講習などの進学指導体制を整えること	79.8	16.1	2.5	0.0	0.0	4.71	11.3	43.8	31.7	7.3	2.0	3.43	1.28
項目	学習指導について	5	4	3	2	1		5	4	3	2	1		
33	毎日の授業について、生徒が興味や喜びを感じて、取り組むこと	78.2	17.7	2.5	0.0	0.0	4.70	8.1	36.4	38.0	11.4	1.9	3.24	1.45
35	学校が授業時数を十分に確保していること	69.1	24.4	4.2	0.0	0.0	4.56	23.4	46.7	19.5	4.2	2.9	3.73	0.82
37	生徒が家庭で自主的に学習をする習慣が身に付くこと	87.1	10.5	1.4	0.0	0.0	4.82	12.1	39.3	27.9	12.8	4.8	3.32	1.50
39	先生が教科指導に熱心であること、質問に対して丁寧に対応すること	81.5	14.5	1.9	0.7	0.0	4.73	9.7	43.4	34.2	7.3	1.3	3.40	1.32
41	学校がコース別のクラス編成を行うこと	37.1	46.3	8.7	3.5	0.8	4.05	21.0	42.7	30.4	0.6	0.0	3.68	0.37
43	学習の評価が、考査・単元テスト・実習・作品・レポート・発表など多角的な評価資料に基づき、総合的かつ公平に「目標到達度」として、10点法で数値化されること	44.7	35.0	12.5	2.5	0.0	4.06	17.9	43.4	30.7	2.4	0.7	3.61	0.45
45	学校が考査・科目説明・履修と修得・進級と卒業などに関する説明が充実すること	71.9	18.2	6.2	0.0	0.0	4.51	21.1	41.0	30.7	1.2	0.7	3.65	0.86

自由記述欄

理系の受験について考えて欲しいです。教科によって進度、教え方を検討して頂きたいです。中学生から数学を映像だけに頼らず生徒の理解度を確認しながら進めて頂きたいです。早い時期から諦めたり、無関心に生徒さんたちになって欲しいです。
娘はGの学習難易度に苦戦しながらも先生方のご指導により学習意欲が高まり感謝致しております。またG在籍ながらも学校行事、部活動への貢献意欲も引き続き高く、率先して活動提案、後輩指導など高校生活も充実させていると頼もしく思っております。先の甲子園優勝監督がおっしゃった通り高校生活は非常に“密”であると思います。学業に邁進しつつ、学校生活への積極的な貢献も忘れない生徒たちの充実した成果を先生方にも広い視野で拾い上げていただけると、後顧の憂いなく取り組むことができ、全校生徒の学校生活がより充実した素晴らしい青春の思い出になっていくのではないかと願っております。
毎年変化を遂げている大学入試に関する情報を、親も入手に努めますが、是非教えていただきたくよろしくお願いいたします。
文化祭はSDGsをテーマにしたものと限定せずに、子供たちがテーマを考え、自分たちの想いを自由に表現できる場であっても良いのではないかと思います。
登下校中のコンビニなどへの立ち寄り、寄り道禁止などの校則は高校生にとって厳しすぎるのではと思う。一度帰宅して着替えて出掛けるのは手間と時間がかかるうえ、家族にも負担がかかっています。厳しい校則も必要だが、時代と生活スタイルの変化を鑑み柔軟に合わせていく必要があるのでは。
長男が私立中に入学し、改めていかに丁寧にご指導いただいているかを実感しております。学年便りでの月間予定や下校時間の通知、保護者会の回数、スコープ活用のためのご指導、電車遅延の際のメール連絡、コロナ感染の通知等、きめ細やかなご対応に感謝申し上げます。また進路指導や、キャリアアブランの授業などありがたく思います。子どもとしては、担当の先生により毎回平均点に大きく差がつく(試験を作成した先生のクラスの平均点が常に高い)教科があり、何か原因があるのか対策していただくか公平の為に全クラス同じ先生に受け持っていていただきたいと感じるそうです。他のクラスのお子様と情報交換すると、同じ教科でも担当の先生により評価に差が出てしまうように感じる事が多々あるようです。また、体育の実技テストの際に種目によっては個人ではなく、ペアでテストを受けるそうですが、ペアのお相手との習熟度の差により不利、有利があるようでペアを作る時からグループ内でせめぎ合いがあるそうです。公平に評価を受けられるよう、全員が対先生でテストを受ける等していただきたいそうです。子ども達も先生方の熱心なご指導に応えるべく日々懸命に過ごしております。子ども達が前向きに学習出来るよう、よりオープンに公平に評価していただけるようにご配慮いただけましたら幸いです。部活動に関しても休日を返上して熱心にご指導いただき心から感謝申し上げます。第一希望の学校ではなかったのですが、今ではこちらの学校にお世話になって本当に良かったそうです。
丁寧な保護者への説明や生徒への支援をいただき、大変感謝しております。今年度は、保護者会が平日に行われることがあり、参加が難しい日がありました。土曜日ですと父親も参加しやすいため、土曜日に設定していただけると大変ありがたいです。受験があるため、なかなか難しいとは思いますが、高校3年生でも最後の学校生活を楽しめる行事や集大成となる部活動の大会参加があると良いと思います。現在の大学受験システムが複雑になっており、保護者も生徒も理解するのが、とても難しい時代になっています。より具体的に分かりやすく説明していただき、適切な進路指導をお願いいたします。
担任の質にムラがある。個々への関心度、分析が弱いように思える。
大変お世話になっております。留学中は学費は全免除にして頂けたらと思います。またエアコンの設定温度や使用できる日が決まっているようですが近年非常に暑い日や寒い日等もあります。施設費を納めている以上適切な空調の使用をお願いしたくより娘たちが快適な学習環境になりますようにご配慮お願い致します。
大会出場を含む部活動にもっと真剣に取り組んでほしい。生徒主体であることは大切だが、顧問や外部コーチの関わり方や練習内容に不足があると感じる。部員のモチベーションを上げさせ、適切な指導により習熟度を上げ、成果として自信や評価につながるような体験をさせて欲しいし、その様子を部の保護者会等で連携して欲しい。
先生方が、生徒の質問に職員室等で個々に懇切丁寧に対応して下さいことを有難く思う。
進路相談や高2での受験準備について個別相談をさせていただきたい。
職業体験などが出来ると良いと思います。
情報を沢山提供していただき感謝しておりますが、保護者側の精査の仕方が悪く活かしていない事が多いです。これからしっかり見ていこうと思いますが提供側のポリシーもブラッシュアップしていただけたらと思います。進路については本人と家族がしっかり話し合って決めていくことが基本だと思いますが、先生によって生徒との向き合い方に少しバラツキを感じます。
常に子供達のために考え、教え、見守ってくださりありがとうございます。今後も学校生活において子供達が有意義な時間を過ごせる事を願っております。
上履きの少々の汚れ痛みによる買い替えを指導されることがありますが、勿体無いと思います。紺色にして穴の補修可にしてはどうでしょうか。また通学の革靴は走りにくく長距離歩けないため、犯罪や災害時には不利です。制服のボロシャツ、スラックス追加は大変良いことだと思いますので、靴のほうもご検討お願いします。
塾に行くことができない、あるいは行きにくい生徒に対して個別指導の機会を設けていただけるとありがたいです。
授業内のテストと課題の提出が同日に何教科も重なることがあるので、出来れば学年の先生方で連携して頂いて、テストは1日2科目まで、課題とプレゼンの時期をずらすなど、ひとつひとつのテスト・課題に丁寧に取り組める環境を作って頂けると有り難いです。また常に検定試験が控えている状況なので、休み明けに検定試験を控えている場合は長期休みの課題の量に配慮して頂くなど、自分の日々の目標のために費やす時間を残して頂けると大変有り難いです。よろしくお願い致します。
授業や先生に対する質問は、それぞれによると思うので答えるのが難しかった。
授業がカットされても補講がないようなので、ロスタイムが多い気がします。気象などがむを得ないかもしれませんが、勉強時間は確保して欲しい。
自身が目標をもって、努力して達成していくことで、成長していくのだとかがえています。可能性をさまたげることないような学校の体制作りを期待しております。
妻中の生徒さんは、挨拶がきちんとできる人が多いと思います。
高2でのクラス替えに心配がありつつも、学校生活を楽しく充実した毎日にして欲しいと願っています。宜しくお願いいたします。
現在はコロナでどの程度行われているのか不明ですが、消極的な学生が参加できるようきつかけ、制度を構築していただくと、よいと思います。積極的な生徒は、自ら参加できますが、そうでない学生もいるので、ご検討お願いいたします。また、父母後援会においては、バス旅行の企画があったり、他校にない希少なイベントに満足しております。ありがとうございます。
気持ちに寄り添った温かいご指導賜り、大変充実した学校生活を送ることが出来ましたこと心より感謝申し上げます。特に進路やコース選択等において娘のことを理解して下さった的確なご助言頂き、しっかりと考える事が出来ました。実現の為に日々積極的に取り組んでおります。
感染症が流行し始めてこの3年間、通常の授業や行事が実施できない中、臨機応変に対応いただきありがとうございます。ICT教育の素地がありオンライン授業への動きが速かったことがとても心強く、また、大学受験の分析や情報もとても参考になります。
学校生活について概ね満足しています。ご指導頂き有難うございます。残念に思うことが一つあります。クラブ活動が先生不在、生徒が集まらない等の理由で行われないことが多かったです。活動日にクラブが行われず帰宅することが多々ありました。今後は、活発な活動があることを願います。これからもご指導よろしくお願い致します。
学校生活において、規律は大切だが、あまりにも厳しい部分があり、そこを掻い潜って行動してしまう周りのお嬢さまで多いことが心配です。また、色々先生のご尽力による課題の提供かと思いますが、あまりの課題の多さに、丁寧にやることや意義を見出せず、こなすだけで、身になっていないと思います。もう過ごし自由度を色々な面で与えてあげてほしいです。ガチガチで息が切れそうです。
パソコンを使用する学習は大賛成であるが、授業中に遊びの道具として使っている、授業に関係のないサイトが閲覧できるなど課題があると認識している。個人の課題だと片付けることなく、学校としての対策(利用制限する仕組みの導入など)も考えていただきたいと強く要望します。
とても熱心に指導してくださっていると思います。
いつも熱心に指導して下さい、ありがとうございます。より良い学校生活を送れるよう努力して下さいに感謝申し上げるとともに、今後どうぞよろしくお願い申し上げます。

いつも大変お世話になり、感謝いたします。担任の先生、副担任の先生との連携もよく、生徒の気持ちをくみ取ってくれる対応に、とてもありがたかった経験を致しました。いつもあたたかい見守り、ある意味危機場面での即対応に、先生と生徒間できちんと対応していただいている信頼感、安心感を持っています。
いつもご指導ありがとうございます。英語のテストの単語書き直し百回は苦痛があるだけで理解している(使えるようになる)とは思えず、別の方法での指導をお願いしく存じます。毎回学習していない娘に問題があるのは事実ですが...
いつもお世話になってます。保護者会等で様々な情報を提供いただけることに感謝してます。一つだけ残念なのは、入学前に期待していた海外研修がコロナ禍の為にない学年にあたってしまったことです。
いつもお世話になっております。今後ともよろしくお願いいたします。
いつも、ご指導ありがとうございます。 もっとがんばって、という声かけも大事かもしれませんが、がんばってるね、という声かけも大事な、と思います。
SDGsにしばられすぎて、在校生にとっても受験生にとっても文化祭が全く面白みがなく魅力がない。文化祭くらいもう少し自由にさせてあげて欲しい。高校生のYシャツをノーアイロンの素材にして欲しい。紺色ハインソックスのゴムが緩すぎて、すぐずり下がり、みっともない。要改善。
JR中野駅から学校までの道のりで、特に飲食店街(居酒屋付近)で不衛生な場所が多々あるようです。学校の敷地外の事で申し訳ないのですが、通学路を変更する等、少しでも改善されるとありがたいです。
・勉強についてですが、先生達に「勉強しなさい」と常日頃言われてやる気なくなると子供が言っており、以前よりも勉強に対してやる気がなく心配しております。クラス同士を比べる事も嫌だと言っております。勉強を促す事に対し、どう伝えていくのが良いかを工夫してくださると助かります。(高校になり勉強の難易度も量も増えたストレスや、思春期のモヤモヤした気持ちもあると思います。) ・宿題についてですが、毎度多いと感じています。子供達ができる量を出していただきたいです。あと、長期休みの宿題は習ってないところが出ていますと聞くのですが、これは後日授業でされるのですか?それとも自力で理解する必要があるのでしょうか?予習のところは予習と教えてほしいです。
・GLCの英語授業について α と β の授業内容に差があります。 α だと日本の大学受験内容とかけ離れていて、特に文法に弱くなってしまうし、 β だとリーディングやプレゼンテーションを含むスピーキングなどが簡単過ぎてしまいます。 ・教科によっては解説が不十分で、塾で学習していることが前提のような進め方があると感じています。 ・グローバル教育を特色としているが、外部活動を積極的にしたくても本格的に指導できる先生がいらつしやらないのが残念です。
中学時に引き続き、勉強面、精神面において先生方や、カウンセラーの先生に大変お世話になっております。子供はもちろん母親の私が大変救われましたことに感謝の気持ちでいっぱいです。本当に、先生方の援助の力に甘えることができて救われております。充実した高校生活を送れるよう今後も親子共々よろしくお願いいたします。

「よりよい学校づくりのために」
令和4年度 学校評価アンケート
(高2保護者による5段階評価)

*1 下記数字の5段階表記以外は%を示す。
*2 優先度指数=(重要度平均評価)-(達成度平均評価)

学年	中1	中2	中3	高1	高2	中1～高2 合計	高3
在籍数(留学除く)	243	221	255	192	219	1130	199
回答数	181	163	168	124	98	734	75
回答率(%)	74.5	73.8	65.9	64.6	44.7	65.0	37.7

★「重要度」の評価		重要度					重要度 平均 評価	達成度					達成度 平均 評価	優先度 指数 (※2)		
★「達成度」の評価		重 要 ← 普 通 → 非重要						達 成 ← 普 通 → 未達成								
[5]…大変重要 [4]…やや重要 [3]…普通 [2]…あまり重要でない [1]…重要でない [5]…ほぼ達成 [4]…おおそ達成 [3]…普通 [2]…あまり達成していない [1]…ほとんど達成していない																
項目	教育方針と大妻中野生について	5	4	3	2	1		5	4	3	2	1				
1	学校の年間達成目標を策定し、学校経営計画として毎年5月保護者に配付し、HPに公開し、その達成のために全職員で取り組み、検証・改善を行うこと	52.0	34.7	11.2	1.0	1.0	4.36	8.2	52.0	38.8	0.0	1.0	3.66	0.69		
3	生徒・保護者に冊子「保護者シラバス(はばたき)」「学習シラバス」「わかば」「よりよい学校生活のために」を作成し指導すること、保護者との連携を深めること	44.9	38.8	13.3	2.0	1.0	4.24	12.2	45.9	38.8	1.0	2.0	3.65	0.59		
5	大妻コタカ先生の教え(校則「恥を知れ」)に基づく教育を行うこと	28.6	37.8	28.6	3.1	2.0	3.88	10.2	33.7	43.9	9.2	3.1	3.39	0.49		
7	「自分の子供が大妻中野に入学してよかった」と思うこと	75.5	19.4	4.1	0.0	1.0	4.68	22.4	55.1	15.3	6.1	1.0	3.92	0.77		
9	生徒がクラブ活動や文化祭・体育祭などの学校行事に楽しく参加し、積極的に活動すること	73.5	20.4	4.1	2.0	0.0	4.65	29.6	42.9	21.4	6.1	0.0	3.96	0.69		
項目	生徒指導について	5	4	3	2	1		5	4	3	2	1				
11	学校が「いじめ」に対して厳しく対応すること、生徒が毎日楽しい学校生活を過ごすこと	89.8	9.2	1.0	0.0	0.0	4.89	33.7	37.8	26.5	1.0	1.0	4.02	0.87		
13	生徒が学校の校則を守り、交通ルールなど社会のきまりを守ること	65.3	26.5	5.1	2.0	1.0	4.53	24.5	46.9	24.5	3.1	1.0	3.91	0.62		
15	継続教育の一環として清掃指導が行われ、校舎内がいつも綺麗であること	65.3	29.6	5.1	0.0	0.0	4.60	37.8	45.9	13.3	2.0	1.0	4.17	0.43		
17	生徒が他人(ひと)に対して尊重する言動ができること	87.8	10.2	2.0	0.0	0.0	4.86	17.3	43.9	36.7	2.0	0.0	3.77	1.09		
19	生徒が礼儀正しく、目上の人を敬うこと	77.6	17.3	5.1	0.0	0.0	4.72	18.4	40.8	39.8	0.0	1.0	3.76	0.97		
21	先生が親身になって、生徒の相談に応じること	80.6	16.3	3.1	0.0	0.0	4.78	22.4	44.9	26.5	4.1	2.0	3.82	0.96		
23	先生が生徒に対して同じ基準で、平等に注意や指導をすること	68.4	23.5	8.2	0.0	0.0	4.60	20.4	42.9	28.6	3.1	5.1	3.70	0.90		
項目	進路指導について	5	4	3	2	1		5	4	3	2	1				
25	生徒が進路を考える上で役立つ進路ガイダンスや進路に関する行事を行うこと	79.6	18.4	2.0	0.0	0.0	4.78	21.4	44.9	30.6	2.0	1.0	3.84	0.94		
27	生徒が自分の将来の夢や目標を実現するために積極的に学習すること	83.7	14.3	2.0	0.0	0.0	4.82	12.2	32.7	45.9	8.2	1.0	3.47	1.35		
29	生徒が家族の人と将来(進路)についてしっかり話し合うこと	76.5	19.4	4.1	0.0	0.0	4.72	12.2	50.0	30.6	6.1	1.0	3.66	1.06		
31	学校は、大学受験対応のカリキュラムや補習・講習などの進学指導体制を整えること	64.3	31.6	3.1	1.0	0.0	4.59	10.2	38.8	38.8	11.2	1.0	3.46	1.13		
項目	学習指導について	5	4	3	2	1		5	4	3	2	1				
35	毎日の授業について、生徒が興味や喜びを感じて、取り組むこと	75.5	20.4	4.1	0.0	0.0	4.71	8.2	38.8	43.9	7.1	2.0	3.44	1.28		
37	学校が授業時数を十分に確保していること	66.0	27.8	5.2	1.0	0.0	4.59	25.8	40.2	27.8	5.2	1.0	3.85	0.74		
39	生徒が家庭で自主的に学習をする習慣が身に付くこと	83.7	15.3	1.0	0.0	0.0	4.83	14.3	32.7	33.7	17.3	2.0	3.40	1.43		
41	先生が教科指導に熱心であること、質問に対して丁寧に対応すること	73.5	21.4	5.1	0.0	0.0	4.68	14.3	42.9	40.8	1.0	1.0	3.68	1.00		
43	学校がコース別のクラス編成を行うこと	35.1	47.4	11.3	6.2	0.0	4.11	20.4	43.9	34.7	1.0	0.0	3.84	0.28		
45	学習の評価が、考査・単元テスト・実習・作品・レポート・発表など多角的な評価資料に基づき、総合的かつ公平に「目標到達度」として、10点法で数値化されること	45.9	36.7	17.3	0.0	0.0	4.29	19.4	42.9	36.7	1.0	0.0	3.81	0.48		
47	学校が考査・科目説明・履修と修得・進級と卒業などに関する説明が充実すること	72.2	21.6	6.2	0.0	0.0	4.66	23.5	43.9	31.6	1.0	0.0	3.90	0.76		

自由記述欄

留学や外部研修など多くのプログラムがありやる気のある生徒なら十分に活用でき魅力があると思う。親がいくら進めても子供のやる気と意識次第だと思います。
娘が通学するのがとにかく楽しそうで、学力方面も向上しているので、入学して良かったと思っています。
娘が、学校でどのような生徒であるかは見えない部分なので仕方ないのかもしれませんが、先生方の生徒への対応は平等ではないように思います。
本年度は、担任の先生が尊敬しやすくもある先生だったようで、進言にも素直に耳を傾け、勉強にも進学の情報収集にも積極的に取り組んでいるようです。前年度以上に忙しくなっているはずのところ、部活動の方も過去最高に熱心に取り組んでおりました。このような姿勢をととても頼もしく感じ、先生方のご指導には大変感謝しております。担任の先生には、次年度も持ち上がりでご指導いただけそうなので安心しております。
部活の中で顧問、先輩間で確執が生じている事をお伝えしていましたが改善されず、理不尽な対応を多々受けたようです。
部活は密室な環境になりやすいのでオープンな環境作りをお願い致します。
達成度について、わからないものについては「3.普通」とさせていただきます。
大変充実した学校生活を送らせていただいておりますことを感謝いたしております。先生方の熱心なご指導のもと将来の目標も見えてまいりました。引き続き、どうぞよろしくお願いいたします。
先生方にはいつも大変お世話になっております。この度のアンケートは直感的に選択いたしました。どうぞ宜しくお願い申し上げます。
先生方には、いつも熱心にご指導頂きありがとうございます。引き続き大学への進学について、アドバイスよろしくお願い致します。
推薦についての話がもっと具体的に聞けると良いと思う。
子供達のために日々ご尽力くださりありがとうございます
今年度も大変お世話になりました。日々の会話からも、娘の先生方への信頼度は非常に高いと感じます。 授業でわからない事も授業後に熱心に教えてくださり、進路の事や課外活動の相談にも沢山の先生方に親身にご指導頂いたとの事で、とても感謝しております。大妻中野での5年間、勉強だけでなく、勉強以外にも情熱を持って取り組み成長している姿を見る事ができ、大妻中野に入学して本当に良かったと思っています。
学校の授業だけでは大学受験に太刀打ちできないと思います
家庭環境が良いお嬢様が多く楽しく生活している様に見えます。ようやく出来た体育祭では校長先生と先生方が仲良く生徒達と過ごしている姿が印象的でした。コロナ禍で色々出来なかった行事を少しでも安全に出来る様に考えて頂いた事は、生徒達が1番よく見ていると実感した1年でした。 学習面では、高校2年で進路の分析など具体的に頂き感謝しております。高校1年から本格的に意識をさせるともっといい結果が出るではないでしょうか。
英語教育への取り組みが素晴らしいと思います。
スマートフォンの校内での使用について、取り締まっていただきたいと思います
ご指導いただきありがとうございます。高校3年になってからのことですが、同じクラスに推薦で決まる人、受験を控えている人が混在することで生徒間の関係がどのようになるか少し心配しております。
いつも娘たちに対し、丁寧な関わりとご指導、感謝しております。扱いのむずかしい年頃の子供達かと思いますが、一生懸命な先生方の姿勢に、この学校に入学させて本当に良かったと思いました。
いつも大変お世話になっております。子供が毎日喜んで登校している様子を見るのは嬉しいものです。お弁当もつくりがいがあります。小テストなどで学習していく積み重ねが、中間や期末テストに繋がりが、それがいつの間にか受験勉強として身に付いていく仕組みは有難いですね。夢を達成するにはまだまだ山をいくつも乗り越えないといけない状況ですが、引き続きご指導よろしくお願いします。
いつも大変お世話になっております。未だに収束の見えないコロナ禍に、丁寧に指導いただき感謝を申し上げます。この学校に入学してよかったと、娘はもちろん、私達も思っております。残り一年となりましたが、今後もよろしくお願いいたします。
いつもご指導いただきありがとうございます。

「よりよい学校づくりのために」
令和4年度 学校評価アンケート
(高3保護者による5段階評価)

在籍数	199
回答数	75
回答率(%)	37.7

★「重要度」の評価		重要度					重要度 平均 評価	達成度					達成度 平均 評価	優先 度 指 数
★「達成度」の評価		重 要 ← 普通 → 非重要						達 成 ← 普通 → 未達成						
[5]・・・大変重要 [4]・・・やや重要 [3]・・・普通 [2]・・・あまり重要でない [1]・・・重要でない [5]・・・ほぼ達成 [4]・・・おおよそ達成 [3]・・・普通 [2]・・・あまり達成していない [1]・・・ほとんど達成していない		5	4	3	2	1		5	4	3	2	1		
項目	教育方針と大妻中野生について	5	4	3	2	1		5	4	3	2	1		
1	学校の年間達成目標(学校経営計画・5月配付及びHPに掲載)を提示すること	33.3	41.3	24.0	1.3	0.0	4.07	17.3	50.7	30.7	1.3	0.0	3.84	0.23
3	生徒・保護者に冊子(保護者シラバス(はばたき)・学習シラバス・わかば・よりよき学校生活のために・等)を作成して指導すること、保護者との連携を深めること	38.7	41.3	20.0	0.0	0.0	4.19	18.7	40.0	37.3	4.0	0.0	3.73	0.45
5	大妻コタカ先生の教え(校訓「恥を知れ」)に基づく教育を行うこと	34.7	46.7	18.7	0.0	0.0	4.16	12.0	54.7	30.7	2.7	0.0	3.76	0.40
7	卒業生が「大妻中野を卒業してよかった」と思える学校であること	69.3	25.3	5.3	0.0	0.0	4.64	33.3	46.7	18.7	1.3	0.0	4.12	0.52
9	学校が「いじめ」に対して厳しく対応しすること、生徒が毎日楽しい学校生活を過ごせること	85.3	13.3	1.3	0.0	0.0	4.84	40.0	41.3	17.3	1.3	0.0	4.20	0.64
11	先生が親身になって生徒の相談に応じること	89.3	9.3	1.3	0.0	0.0	4.88	37.3	40.0	16.0	6.7	0.0	4.08	0.80
13	充実した進路ガイダンスや学校行事を行うこと	74.3	24.3	1.4	0.0	0.0	4.73	29.3	44.0	24.0	2.7	0.0	4.00	0.73
15	大妻中野の生徒は、他人(ひと)を尊重する言動ができること。	73.3	21.3	5.3	0.0	0.0	4.68	24.0	46.7	28.0	1.3	0.0	3.93	0.75
項目	進路の学習について	5	4	3	2	1		5	4	3	2	1		
17	生徒が将来の夢や目標を実現するために積極的に学習すること	80.0	16.0	4.0	0.0	0.0	4.76	25.3	45.3	24.0	5.3	0.0	3.91	0.85
19	学校が進学対応のためにカリキュラムや補習・講習などの進学体制を整えること	73.3	25.3	1.3	0.0	0.0	4.72	22.7	50.7	25.3	1.3	0.0	3.95	0.77
項目	授業・評価について	5	4	3	2	1		5	4	3	2	1		
21	学校がコース別クラス編成や科目選択による少人数授業を行うこと	41.3	46.7	9.3	2.7	0.0	4.27	20.0	56.0	22.7	1.3	0.0	3.95	0.32
23	先生が教科指導に熱心であること、質問に対して丁寧に対応すること	84.0	12.0	2.7	1.3	0.0	4.79	34.7	41.3	21.3	2.7	0.0	4.08	0.71
25	学習評価が到達度評価(テスト・実習・提出物・課題など)により総合的かつ公平に行うこと	62.7	32.0	5.3	0.0	0.0	4.57	30.7	44.0	25.3	0.0	0.0	4.05	0.52
項目	卒業後について	5	4	3	2	1		5	4	3	2	1		
27	大妻コタカ先生の教えが身に付くこと	28.0	49.3	20.0	2.7	0.0	4.03	13.3	37.3	44.0	5.3	0.0	3.59	0.44
29	大妻中野の授業に満足すること	66.7	29.3	4.0	0.0	0.0	4.63	14.7	46.7	33.3	5.3	0.0	3.71	0.92
31	大妻中野の進路指導に満足すること	66.7	26.7	6.7	0.0	0.0	4.60	25.3	54.7	18.7	1.3	0.0	4.04	0.56
33	大妻中野で良き人間関係が構築できたことに満足すること	72.0	24.0	4.0	0.0	0.0	4.68	38.7	49.3	10.7	1.3	0.0	4.25	0.43
35	大妻中野の先生方の対応に満足すること	63.5	29.7	6.8	0.0	0.0	4.57	25.7	50.0	20.3	4.1	0.0	3.97	0.59
37	大妻中野の学校行事に満足すること	55.4	33.8	10.8	0.0	0.0	4.45	17.6	36.5	35.1	10.8	0.0	3.61	0.84
39	大妻中野の諸活動(生徒会・委員会・クラブ等)に満足すること	44.6	39.2	16.2	0.0	0.0	4.28	21.6	40.5	31.1	4.1	2.7	3.74	0.54

自由記述欄

成績の順位が出るのは、自己肯定感の低い子には劣等感を植え付けるだけ、そこからの学びの意欲が削がれる場合があると思います。自分の達成度は自分がテストの点数や評価でわかればよく、クラスで何番目かということを知る必要があるのかずっと疑問でした。
先生方には6年間大変お世話になりました。娘は妻中に愛着をもって卒業を迎える予定ですので、進学してよかったと思っています。コロナ禍で部活動や修学旅行、体育祭、文化祭などがノーマルに行えず、密な青春が満身に送れなかったのがかわいそうに思いますが、そんな中たくましく成長してくれたと思っています。苦しくても逃げ出さずに頑張る力を養い、主体的に考え行動する基礎ができたと思っています。12歳から18歳へ、気がつけばすっかり大人に成長しておりました。ありがとうございました。
6年間お世話になりました。娘にとっては大変貴重な6年間を過ごせたと思います。
6年間、無事に通えた事、先生方や事務員の方々に感謝しています。
コロナと共存する生活になりつつなる中で、高三最後の部活動、皆が休部するからと早々に休部になり、ずっと応援していた親としては、とてもさみしい一年でした。勉強もちろん大事なのですが、文化系運動部系で同じ高三生が最後の集大成として活躍し、涙している姿を見るたびに、同じ景色を見たかったと残念に思います。娘本人は高三が残ったら高二が舞台に立っていないから、と言いますが、高三が主役になるのが本来の姿だと思いますので、今後の大妻中野が、高三の最後の大会まで頑張っても、子供たちの行きたい進路に進めるような指導をしていただけることを期待しています。6年間、大変お世話になりました。あと3か月、どうぞよろしく願いいたします。
6年間、大変お世話になりました。娘も充実した6年を過ごす事が出来ていた様に思います。
入学以降、年次を重ねるごとに、学校運営が落ち着き、生徒を取り巻く環境改善が図られていることを実感しています。引き続き、より魅力ある大妻中野に向け、教職員の皆様方、それぞれの役割発揮に期待しています。あと僅かで卒業となりますが、子が6年間、充実した学校生活を送れたことに感謝申し上げます。ありがとうございました。
これまで6年間、大変お世話になりました。娘が強く望んで入学した学校での日々は、くいのない、充実したものになっています。勉強については娘の場合、本人の能力や家庭環境により満足のいく結果ではありませんでしたが、友達との関係やクラブ活動、進路の決定については思い残すことはないかと思われます。なお、親の世代には果たせなかったことのひとつですが、英語の勉強法が少し旧態依然としているように感じました。娘の能力不足は認めますが、古い世代と同じように「書く」「読む」ことばかりに時間を費やし、英語でのコミュニケーションを身近に感じるような様子は見られず、それだけが残念です。いずれにせよ、6年間という貴重な日々を貴校で過ごすことができたことを大変うれしく思います。ありがとうございました。
6年間本当にお世話になりました。大妻中野中学校、高校に入学したこと、本当によかったと思っています。素晴らしい先生方に指導していただき、幸せに感じております。保護の私としても、卒業するのが悲しい気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。
何の心配もなく安心して学校に娘をお任せする事ができた6年間でした。良い環境にも多くのお友達にも恵まれ、たくさんの学びをいただきました。全て先生方のご尽力のおかげと深く感謝しております。今後ともよろしく願いいたします。
担任の先生には大学入試で迷っていた学部を本人と話し合いの末、導き出してくださったようです。それによって希望する大学も決まっていきました。授業でも進路指導でもとても親身になってご指導してくださり大変感謝しております。
先生方と生徒の距離が近く、分からないことや知りたいことを質問しやすい環境であると思います。
昨今の社会情勢やコロナ禍での制約にも関わらず、出来ることを精一杯対応いただいた先生方には感謝しかございません。卒業まで残り少ない期間ですがよろしくお願いいたします。
新型コロナウイルスのため、留学と修学旅行が中止になってしまったことは残念でしたが、大妻中野で過ごした6年間はとても充実した良い経験になったと思います。先生や友人にも恵まれ学習にも意欲的に取り組むことができ、将来の夢に向かって努力を惜しまない忍耐力も身に付けることが出来たようです。これから、大学受験に入りますが、実力を発揮して良い結果を出し、大妻中野生で良かったと心から思えるようにして欲しいと思います。6年間大変お世話になりました。
この学校評価アンケートの結果とそれを踏まえた対応状況について、保護者に還元、見える可しいいただくのが重要かと思います。よろしくお願い致します。6年間大変お世話になりました。
いつも大変お世話になっております。先生方の親身な進路指導に大変感謝しております。卒業まであと少しになりますが、引き続きご指導のほどよろしくお願い致します。
娘は大妻中野に入学できて本当に良かったと言っていますし、希望通りの大学学部に進学も決まり、夫婦で入学させてよかったと思っています
コロナ禍で従来と違う経験をしたことが糧となるよう今後に期待しています。ありがとうございました。